

# Trinitron® Color Video Monitor

取扱説明書	JP
Operating Instructions	GB
Bedienungsanleitung	DE
使用说明书	CS



安全のための注意事項を守らないと、  
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示してあります。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



## Multiformat

### PVM-D14L5J

### PVM-D20L5J

ソニーのモニターは正しく使用すれば事故が起きないように、安全には十分配慮して設計されています。しかし、内部に非常に高い電圧を使用しているため、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることもあり、危険です。

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

### 安全のための注意事項を守る

4～7ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の安全上の注意事項が記されています。

8ページの「使用上のご注意」もあわせてお読みください。

### 定期点検をする

5年に1度は、内部の点検を、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください(有料)。

### 故障したら使わない

すぐに、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

### 万一、異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- モニターを落としたり、キャビネットを破損したときは

- ➔
- ① 電源を切る。
  - ② 電源コードや接続ケーブルを抜く。
  - ③ お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡する。

#### 警告表示の意味

この取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください



**警告**

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながる可能性があります。



**注意**

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

#### 注意を促す記号



注意



火災



感電

#### 行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



水ぬれ禁止



ぬれ手禁止

#### 行為を指示する記号



指示



プラグをコンセントから抜く

△警告 .....	4 (JP)
△注意 .....	5 (JP)
使用上のご注意 .....	8 (JP)
特長 .....	8 (JP)
接続 .....	10 (JP)
電源コードの取り付けかた .....	10 (JP)
接続ケーブルの取り付けかた (BNC型端子の場合) .....	10 (JP)
各部の名称と働き .....	11 (JP)
操作パネル .....	11 (JP)
後面パネル .....	13 (JP)
メニュー表示言語の切り換え .....	16 (JP)
メニューの操作方法 .....	17 (JP)
表示画面一覧 .....	18 (JP)
設定状態メニュー .....	20 (JP)
ホワイトバランスメニュー .....	20 (JP)
ユーザーコントロール 1/2、2/2 メニュー .....	21 (JP)
ユーザー設定 1/2、2/2 メニュー .....	22 (JP)
リモート 1/2 パラレルメニュー .....	23 (JP)
リモート 2/2 シリアルメニュー .....	23 (JP)
オプション設定メニュー .....	24 (JP)
キーロックメニュー .....	25 (JP)
故障かな?と思ったら .....	25 (JP)
保証書とアフターサービス .....	25 (JP)
主な仕様 .....	26 (JP)

#### この取扱説明書について

本書は、以下のカラービデオモニターに共通のものです。

- PVM-D14L5J (14インチモニター)
- PVM-D20L5J (20インチモニター)

上記機種で説明が異なる場合は、別々に説明してありますので該当する部分をお読みください。

本書のイラストはPVM-D14L5Jを使用しています。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。



下記の注意を守らないと、火災や感電で  
大けがにつながる可能性があります。



分解禁止

### キャビネットをはずさない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットや裏ぶたなどをはずしたり、改造したりすると、火災や感電の原因となります。内部の調整や設定、点検、修理は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。



禁止

### 内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。  
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いて、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。



禁止

### 電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 設置時に、製品と壁やラック、棚などの間に、はさみ込まない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口に交換をご依頼ください。



指示

### 規定の電源電圧で使う

この取扱説明書に記されている電源電圧でお使いください（交流 100V）。  
規定外の電源電圧での使用は、火災や感電の原因となります。



禁止

### 油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所では設置・使用しない

上記のような場所に設置すると、火災や感電の原因となります。  
この取扱説明書に記されている仕様条件以外の環境での使用は、火災や感電の原因となります。



**注意**

下記の注意を守らないと、  
けがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。



**禁止**

### ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。



**注意**

### 接続の際は電源を切る

電源コードや接続ケーブルを接続するときは、電源を切ってください。感電や故障の原因となることがあります。



**注意**

### 指定された電源コード、接続ケーブルを使う

付属の、あるいは取扱説明書に記されている電源コード、接続ケーブルを使わないと、感電や故障の原因となることがあります。

他の電源コードや接続ケーブルを使用する場合は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。



**禁止**

### 通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 壁から10cm以上離して設置する。
- 密閉された狭い場所に押し込めない。
- 毛足の長い敷物(じゅうたんや布団など)の上に設置しない。
- 布などで包まない。
- あお向けや横倒し、逆さまにしない。



**水ぬれ禁止**

### 水のある場所に設置しない

水が入ったり、ぬれたりすると、火災や感電の原因となることがあります。雨天や降雪中、海岸や水辺での使用は特にご注意ください。



**禁止**

### 不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところなどに設置すると、モニターが落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。



**禁止**

### 直射日光の当たる場所や熱器具の近くに設置・保管しない

内部の温度が上がると、火災や故障の原因となることがあります。

真夏の、窓を閉め切った自動車内では50℃を越えることがありますので、ご注意ください。



**注意**

下記の注意を守らないと、  
けがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。



注意

### モニターは、2人以上で開梱・運搬する

モニターは見た目より重量があります。開梱や運搬は、けがや事故を防ぐため、必ず2人以上で行ってください。1人で行うと腰を痛めることがあります。



注意

### 転倒、移動防止の処置をする

モニターをラックに取り付け・取りはずしをするときは、転倒・移動防止の処置をしないと、倒れたり、動いたりして、けがの原因となることがあります。安定した姿勢で注意深く作業してください。

また、ラックの設置状況、強度を充分にお確かめください。



禁止

### モニターの上に乗らない、重いものを載せない

倒れたり、落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

### お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



注意

### 移動させるときは電源コード、接続ケーブルを抜く

接続したまま移動させると、電源コードや接続ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。



注意

### 定期的に内部の掃除を依頼する

長い間掃除をしないと内部にホコリがたまり、火災や感電の原因となることがあります。1年に1度は、内部の掃除をお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください(有料)

特に、湿気の多くなる梅雨の前に掃除をすると、より効果的です。



### 転倒、移動防止の処置をする

モニターをラックに取り付け・取りはずしをするときは、転倒・移動防止の処置をしないと、倒れたり、動いたりして、けがの原因となることがあります。安定した姿勢で注意深く作業してください。

また、ラックの設置状況、強度を充分にお確かめください。



ぬれ手禁止

### ぬれた手で電源プラグに触らない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。



指示

### 移動させるときは電源コード、接続ケーブルを抜く

接続したまま移動させると、電源コードや接続ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。



### 電源プラグは突きあたるまで差し込む

まっすぐに突きあたるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。

# 使用上のご注意

(モニターのパフォーマンスを維持するために)

## 磁気に対するご注意

- 磁石、スピーカー、電気時計、磁石を使用した機器やおもちゃ、磁気応用健康器具など、磁気を発生するものを近づけないでください。磁気の影響を受けて、画面が揺れたり、色が乱れたりすることがあります。
- モニターの設置の向きによっては、地磁気の影響を受けて、画面が傾いたり、色が乱れることがあります。故障ではありません。このときは、一度電源を切り、再び電源を入れてください。自動消磁されます。またはコントロールパネルのDEGAUSS(消磁)ボタンを押して消磁することもできます。

DEGAUSSボタンについて詳しくは、12 (JP) ページの② DEGAUSSボタンをご覧ください。

## ブラウン管について

- ブラウン管の表面は、光学PETフィルム処理を施してあります。管面を掃除するときは下記の方法に従い、管面に傷をつけないようご注意ください。
- 柔らかいきれいな布で軽く拭いてください。手の油や指紋などは水でうすめた中性洗剤溶液を含ませた柔らかい布で拭いてください。
- 表面は傷つきやすいので、硬いものでこすったり、たたいたり、ものをぶつけたりしないでください。研磨剤を含むもの、アルカリ系洗剤、アルコールやベンジン、シンナーなどを含んだ溶剤は、表面を傷める原因になる恐れがありますのでご使用にならないでください。

## クリーニングについて

- お手入れの際は、必ず電源を切って電源プラグを抜いてください。
- キャビネットの汚れがひどいときは、水で5~6倍に薄めた中性洗剤液に柔らかい布をひたし、かたくしぼってから汚れをふき取ります。このあと乾いた布でからぶきしてください。
- シンナーやベンジンなどの薬品類は、表面の仕上げをいためたり、表示が消えてしまうことがありますので、使用しないでください。

# 特長

本機は業務用トリニオンカラービデオモニターです。

## 画像

### 解像度

H R (High Resolution) トリニオン<sup>1)</sup> 管の採用により、中心部の解像度が800本以上の鮮明な画像が得られます。

### くし形フィルター

くし形フィルターの採用により、NTSC信号のクロスカラー妨害(文字のまわりの虹)やカラーノイズ(色のにじみ)をなくし、きめ細かで透明度の高い画像が得られます。

### ビームカレントフィードバック回路

この回路の採用により、長期間安定したホワイトバランスが得られます。

### 2カラー方式

NTSC、PALの2つのカラー方式に対応しており、切り換えは自動です。入力信号に合った方式で画像を再現します。

### オートクロマ・フェーズ機能を標準装備

デコーダーのクロマやフェーズを自動調整するオートクロマ・フェーズ機能を標準装備しています。

### ブルーオンリーモード

ブルーオンリーモードにすると、R/G/Bのカソードが3個とも青信号で動作し、これが白黒画像として表示されます。色の濃さ(クロマ)や色相(フェーズ)の調整、VTRノイズの監視に便利です。

## 入力

### アナログRGB/コンポーネント入力端子

ビデオ機器のアナログRGB、コンポーネント信号を入力できます。前面のRGB/COMP入力切り換えボタンでいずれかの信号を選びます。

### Y/C入力端子(S入力端子)

ビデオ機器などの映像信号を、輝度信号(Y)と色信号(C)の2つに分離したまま入力できます。これにより、従来のコンポジット信号にありがちだった信号間の干渉による色のにじみやちらつきが少ない、鮮明な画像が得られます。

1) "トリニオン" はソニー株式会社の登録商標です。



#### 拡張可能な入力機能

本機後面の入力オプションスロットに別売りの入力アダプターを装着することで、入力系統を容易に拡張できます。入力アダプターは1枚のみ装着できます。

#### 外部同期信号入力端子

外部同期信号発生器などからの同期信号を入力できます。EXT SYNCボタンを押すと、外部同期で動作します。

#### 自動終端解放 ( マークの付いた端子のみ )

後面の入力端子は、出力端子に何も接続していないときは、内部的に75 Ωで終端されています。出力端子にケーブルが接続されると、内部の終端が自動的に解放され、入力端子に入力された信号が出力端子に出力されます (ループスルー)。

## 機能

#### マルチフォーマット

従来のNTSC、PALに加え、デジタル放送の主要フォーマット (480I/480P/720P/1080I) など、水平周波数15 kHz ~ 45 kHzまでの多様な信号に幅広く対応しています。

#### アンダースキャンモード

通常、画面外に走査されている信号まで画面に表示し、画像全体をモニターすることができます。

### ご注意

アンダースキャン時に、画面上端に赤青緑の走査線が見えることがあります。これは本体内部の動作によるもので、入力信号とは関係ありません。ご了承ください。

#### 水平/垂直ディレイモード

水平/垂直ディレイモードにすると、水平、垂直同期信号を同時にモニターすることができます。

#### キャプションビジョン (クローズド・キャプション) デコーダー内蔵

キャプションビジョン信号が入った映像信号を入力すると、画面上に英語字幕をスーパーインポーズして表示します。キャプションのON/OFFとその種類の選択は、メニューで行います。

#### 自動/手動消磁機能

ブラウン管は、電源投入時に自動的に消磁されます。また、DEGAUSSボタンを押すと手動で消磁できます。

電源投入後から、自動的に消磁されるまでの時間をメニューで設定することもできます。

### ご注意

スクリーンメニューが表示されている状態では、DEGAUSSボタンは効きません。

手動で消磁を行う場合は、MENUボタンでスクリーンメニューを消してから行ってください。

#### スクリーンメニュー機能

画面にメニューを出して、接続するシステムに最適なモニターの設定や調整をすることができます。

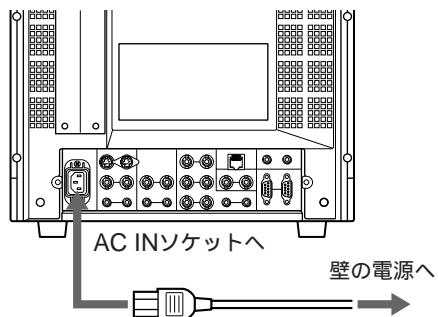
#### EIA規格の19インチラックに収納可能

別売りのMB-521マウンティングブラケット (PVM-D14L5J用) またはSLR-104スライドレール (PVM-D20L5J用) を使用すると、EIA19インチラックにマウントすることができます。マウント方法についてはマウンティングブラケットまたはスライドレールの取扱説明書をご覧ください。

# 接続

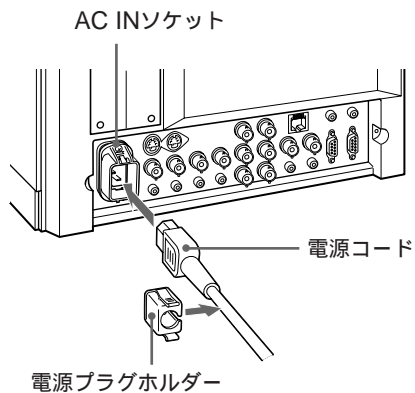
## 電源コードの取り付けかた

付属の電源コードを後面のAC INソケットに差し込み、電源コンセントに接続して使用してください。

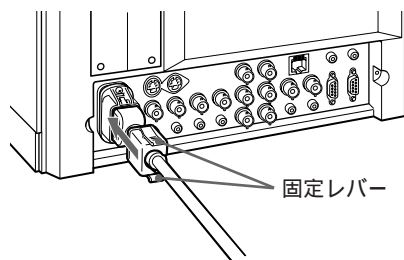


電源をつなぐには

- 1 電源コードを後面のAC INソケットに差し込み、電源プラグホルダーを電源コードに取り付けます。



- 2 電源プラグホルダーを本体側のホルダーに、固定レバーがロックするまで、はめこみます。

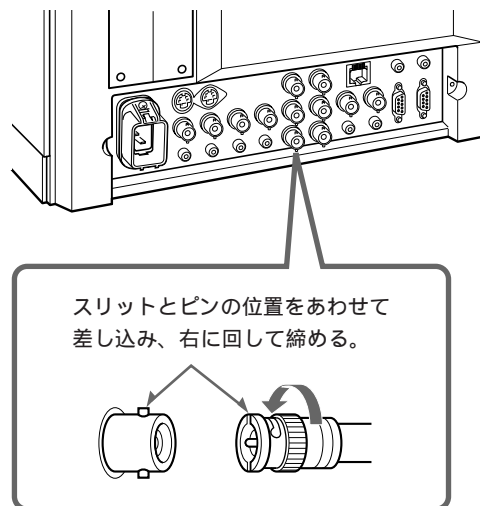


電源コードをはずすには

電源プラグホルダーの固定レバーを上下からはさんでロックを外し、引き抜きます。

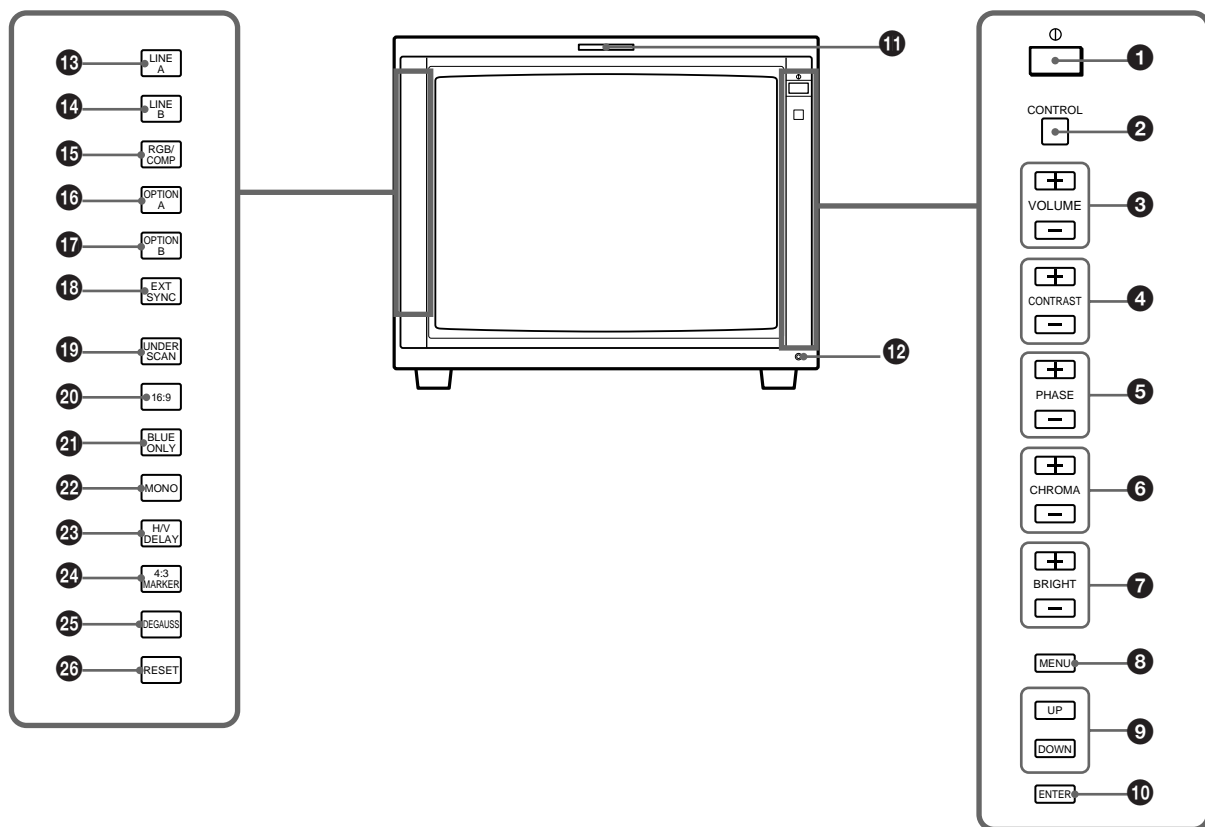
## 接続ケーブルの取り付けかた (BNC型端子の場合)

下図のように接続して使用してください。



# 各部の名称と働き

## 操作パネル



### ① パワー(電源)スイッチ(Ⓚ)

スイッチを押し込むと電源が入り、本体両側にある操作ボタンが点灯します。もう一度押すと、電源が切れます。

### ② CONTROLボタン

このボタンを押すと操作ボタンが点灯し、各ボタンの操作ができます。もう一度押すと、操作ボタンが消灯します。

操作ボタンの点灯時の明るさ調整は、UPまたはDOWNボタンで行います。

### ③ VOLUME(音量)調整ボタン

+ ボタンを押すと音量が大きくなり、- ボタンを押すと小さくなります。

### ④ CONTRAST調整ボタン

+ ボタンを押すとコントラストが強くなり、- ボタンを押すと弱くなります。

### ⑤ PHASE(色相)調整ボタン

+ ボタンを押すと肌色が緑がかり、- ボタンを押すと紫がかります。

### ⑥ CHROMA(色の濃さ)調整ボタン

+ ボタンを押すと色が濃くなり、- ボタンを押すと薄くなります。

### ⑦ BRIGHT(明るさ)調整ボタン

+ ボタンを押すと画面が明るくなり、- ボタンを押すと暗くなります。

### ご注意

- PHASE(⑤)、CHROMA(⑥)調整ボタンはRGB信号の映像には働きません。
- PHASE(⑤)調整ボタンはPAL信号、コンポーネント信号の映像には働きません。

### ⑧ MENUボタン

メニューを表示したり非表示にしたりするときに使います。

### ⑨ UP (カーソル上方向移動 / 調整) ボタン

DOWN (カーソル下方向移動 / 調整) ボタン

メニューで項目を選択したり、数値を調整したりするときに使います。またメニュー非表示のときは、操作パネルの照度調節に使用します。操作パネルの照度は5段階に調節できます。

### ⑩ ENTER ボタン

メニューで内容を決定するときに使います。

### ⑪ タリーランプ

本機に接続されているカメラの映像が選ばれると、ランプが点灯します。

タリーランプが点灯するようにするには、タリー制御の配線が必要です。詳しくは、28 (JP) ページをご覧ください。

### ⑫ パワーインジケータ

パワースイッチを押すとこのインジケータが緑色に点灯します。

### ⑬ LINE A (入力A) 切り換えボタン

LINE A 入力端子からの信号をモニターしたい時はこのボタンを押します。

### ⑭ LINE B (入力B) 切り換えボタン

LINE B 入力端子からの信号をモニターしたい時はこのボタンを押します。

### ⑮ RGB/COMP 切り換えボタン

RGB/COMPONENT 入力端子からの信号をモニターする時はこのボタンを押します。

RGB/COMPONENT の設定はメニュー画面で行えます。設定のしかたについて詳しくは、22 (JP) ページをご覧ください。

### ⑯ OPTION A ボタン

モニター後面のオプションスロットにオプションボードが装着されている時に使用します。オプションボード入力1からの映像信号や音声信号をモニターしたい時にこのボタンを押します。

### ⑰ OPTION B ボタン

モニター後面のオプションスロットにオプションボードが装着されている時に使用します。オプションボード入力2からの映像信号や音声信号をモニターしたい時にこのボタンを押します。

(BKM-129X、BKM-155DV 使用時は動作しません。)

### ⑱ EXT SYNC (外部同期) ボタン

EXT SYNC 入力端子から入力された外部同期信号で同期をとるときはこのボタンを押します。

### ⑲ UNDER SCAN ボタン

このボタンを押すとアンダースキャンモードになります。画面サイズが約5%縮小され、ラスタの四隅まで画面に表示されます。

### ⑳ 16:9 ボタン

このボタンを押すと、画面の垂直方向が圧縮され、16:9 の入力信号を正しい縦横比でモニターできます。

#### ご注意

アスペクト比4:3に対応していない信号フォーマットのとき、アスペクトは16:9に固定されます。

### ㉑ BLUE ONLY (ブルーオンリー) ボタン

メニュー表示中以外のときにこのボタンを押すと、赤と緑の信号がカットされ、青信号のみが白黒画像として表示されます。色の濃さ(クロマ)や色相(フェーズ)の調整、VTR ノイズの監視が容易に行えます。

### ㉒ MONO (白黒) ボタン

このボタンを押すと、画面が白黒になります。もう一度押すとカラーに戻ります。

### ㉓ H/V DELAY (水平 / 垂直ディレイ) ボタン

水平、垂直同期信号をモニターしたいときに押します。このとき、水平同期信号は画面の左から約1/4のところに見えます。垂直同期信号は画面のほぼ中央に見えます。

### ㉔ 4:3 MARKER ボタン

このボタンを押すと、4:3 エリアマーカーが表示されます。アスペクト比4:3 の場合のエリアを参考にすることができます。

#### ご注意

4:3 エリアマーカーはアスペクト比4:3 の信号をモニターしているときは表示されません。また、H/V デレイモードのときは表示されません。

### ㉕ DEGAUSS (消磁) ボタン

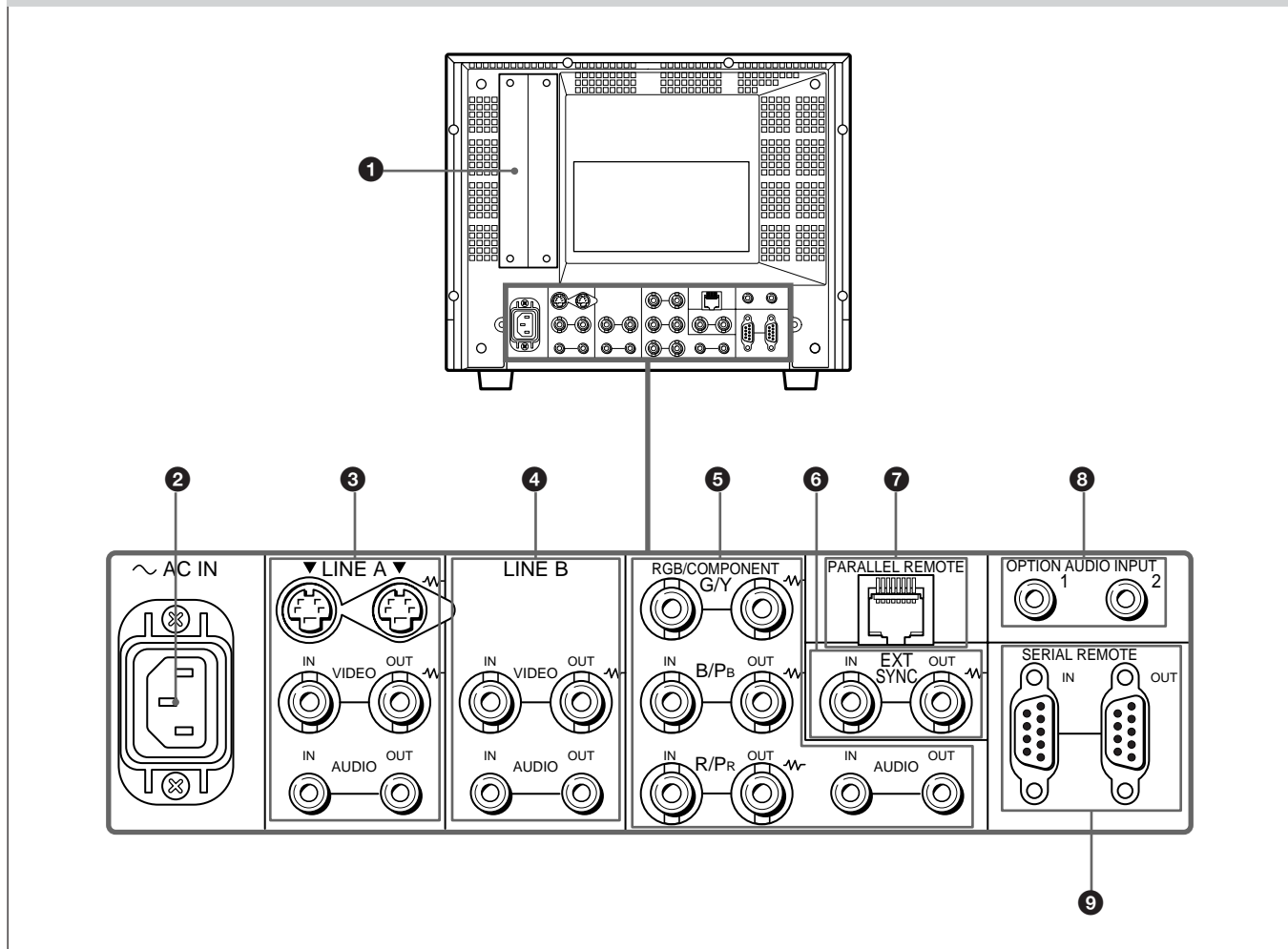
消磁したいとき、このボタンを1回押します。もう一度使用するときには10分以上間隔をおいてください。

### ㉖ RESET ボタン

メニュー調整中にこのボタンを押すと、調整値を調整前の値に戻します。

VOLUME 調整、CONTRAST 調整、PHASE 調整、CHROMA 調整およびBRIGHT 調整中にこのボタンを押すと、各調整値を標準値に戻します。

## 後面パネル



### ① オプションスロット

オプションボードを装着するときに使用するスロットです。使用するときは、オプションスロットカバーのネジを外し、使用します。

入力アダプターは1枚のみ装着できます。装着方法について詳しくは、オプションボードに付属の取扱説明書をご覧ください。

### ② AC INソケット

付属の電源コードをつなぎます。

### ③ LINE A入出力端子

Y/C分離入出力、コンポジットビデオ信号と音声信号のライン入力端子、およびそれぞれのループスルー端子です。

この端子に入力した信号をモニターするには、前面パネルのLINE A切り換えボタンを押します。Y/C入力とVIDEO入力を同時に接続した場合、Y/C入力が優先となります。

Y/C IN (映像入力)

VTRやビデオカメラなど、外部の機器のY/C分離出力端子と接続します。(4ピンミニDIN)

Y/C OUT (映像出力)

Y/C IN端子に接続したY/C信号を出力します(4ピンミニDIN、ループスルー)。VTRや他のモニターなど外部の機器のY/C分離入力端子と接続します。

この端子にケーブルをつなぐと、入力の75 終端が自動的に解放され、Y/C IN端子に入力された信号がこの端子から出力されます。

VIDEO IN (映像入力)

VTRやカラービデオカメラの映像出力端子と接続します。

(BNC型)

ブリッジ接続のときは、他のモニターの映像出力端子と接続します。

VIDEO OUT (映像出力)

VIDEO IN端子に接続した映像信号を出力します(BNC型、ループスルー)。VTRや他のモニターの映像入力端子と接続します。この端子にケーブルをつなぐと、入力の75 終端が自動的に解放され、VIDEO IN端子に入力された信号がこの端子から出力されます。

### AUDIO IN (音声入力)

VTRやマイクなどの音声出力端子と接続します(ピンジャック)。ブリッジ接続のときは、他のモニターの音声出力端子と接続します。

### AUDIO OUT (音声出力)

AUDIO IN 端子に接続した音声信号を出力します(ピンジャック、ループスルー)。VTRや他のモニターの音声入力端子と接続します。

### ④ LINE B 入出力端子

コンポジットビデオ信号と音声信号のライン入力端子、およびそれぞれのループスルー端子です。この端子に入力した信号をモニターするには、前面パネルのLINE B 切り換えボタンを押します。

### VIDEO IN (映像入力)

VTRやカラービデオカメラの映像出力端子と接続します(BNC型)。ブリッジ接続のときは、他のモニターの映像出力端子と接続します。

### VIDEO OUT (映像出力)

VIDEO IN 端子に接続した映像信号を出力します(BNC型、ループスルー)。VTRや他のモニターの映像入力端子と接続します。この端子にケーブルを接続すると、入力の75 終端が自動的に解放され、VIDEO IN 端子に入力された信号がこの端子から出力されます。

### AUDIO IN (音声入力)

VTRやマイクなどの音声出力端子と接続します(ピンジャック)。ブリッジ接続のときは、他のモニターの音声出力端子と接続します。

### AUDIO OUT (音声出力)

AUDIO IN 端子に接続した音声信号を出力します(ピンジャック、ループスルー)。VTRや他のモニターの音声入力端子と接続します。

### ⑤ RGB/COMPONENT 入出力端子

RGBまたはコンポーネント(G/Y、B/P<sub>B</sub>、R/P<sub>R</sub>)信号の入出力端子、およびそれぞれのループスルー出力端子です。この端子に入力した信号をモニターするには、前面パネルのRGB/COMP 切り換えボタンを押します。

### G/Y、B/P<sub>B</sub>、R/P<sub>R</sub> IN 端子

前面のEXT SYNC ボタンが押されていないとき(インジケータは緑色で点灯)には、G/Y 信号に含まれている同期信号で動作します。(BNC型)

アナログRGB信号をモニターするとき

ビデオカメラなどのアナログRGB 出力端子と接続します。

コンポーネント信号をモニターするとき

ソニーのベータカムビデオカメラなどのコンポーネント出力端子と接続します。

### G/Y、B/P<sub>B</sub>、R/P<sub>R</sub> OUT

それぞれ、G/Y、B/P<sub>B</sub>、R/P<sub>R</sub> IN 端子に接続した映像信号のループスルー出力端子です。(BNC型)

これらの端子にケーブルを接続すると、入力の75 終端が自動的に解放され、G/Y、B/P<sub>B</sub>、R/P<sub>R</sub> IN 端子に入力された信号が、これらの端子から出力されます。

アナログRGB信号を出力するとき

ビデオプリンターや他のモニターなどのアナログRGB入力端子と接続します。

コンポーネント信号を出力するとき

ソニーのベータカムビデオレコーダーなどのコンポーネント入力端子と接続します。

### AUDIO IN (音声入力)

アナログRGBまたはコンポーネント信号を入力するときに、VTRやビデオカメラなどの音声出力端子と接続します(ピンジャック)。

### AUDIO OUT (音声出力)

AUDIO IN 端子に接続した音声信号のループスルー出力端子です(ピンジャック)。

## ⑥ EXT SYNC (外部同期) 入出力端子

この入力端子からの同期信号を使う場合は前面のEXT SYNCボタンを押します(インジケータはアンバー色で点灯)。

### IN端子

本機を外部同期で動作させるときに外部同期信号発生器などからの基準信号を入力します。(BNC型)

### OUT端子

IN端子に接続した同期信号のループスルー出力端子です。本機と同期して動作させる他のビデオ機器の外部同期入力端子と接続します。(BNC型)

この端子にケーブルを接続すると、入力の75Ω 終端が自動的に解放され、IN端子に入力された信号が、この端子から出力されます。

## ⑦ PARALELL REMOTE (パラレルリモート) 端子 (モジュラーコネクター)

パラレルコントロールスイッチを構成してモニターを外部操作します。

ピン配置と出荷時の各ピンへの機能の割付については、28 (JP) ページをご覧ください。

## ⑧ OPTION AUDIO (オプションオーディオ) INPUT 1、2 入力端子

オプションスロットにオプションボードが装着されている場合、その音声入力に使用する入力端子です。VTRやマイクアンプなどの音声出力端子と接続します。2系統まで接続することができます。OPTION AUDIO INPUT 1または2端子から入力した音声信号をモニターする場合には、それぞれOPTION AまたはOPTION Bボタンを押します。

### ご注意

AUDIO内蔵のオプションボード(BKM-150CPなど)を使用する場合には、この端子の音声入力は無視されます。

## ⑨ SERIAL REMOTE (シリアルリモート) 端子 (D-sub 9ピン)

### SERIAL REMOTE IN

BVMシリーズのシリアルリモートコントロール端子に接続します。BVMから本機のコントロールパネルにあるメニュー以外の機能を制御する事が可能です。

### SERIAL REMOTE OUT

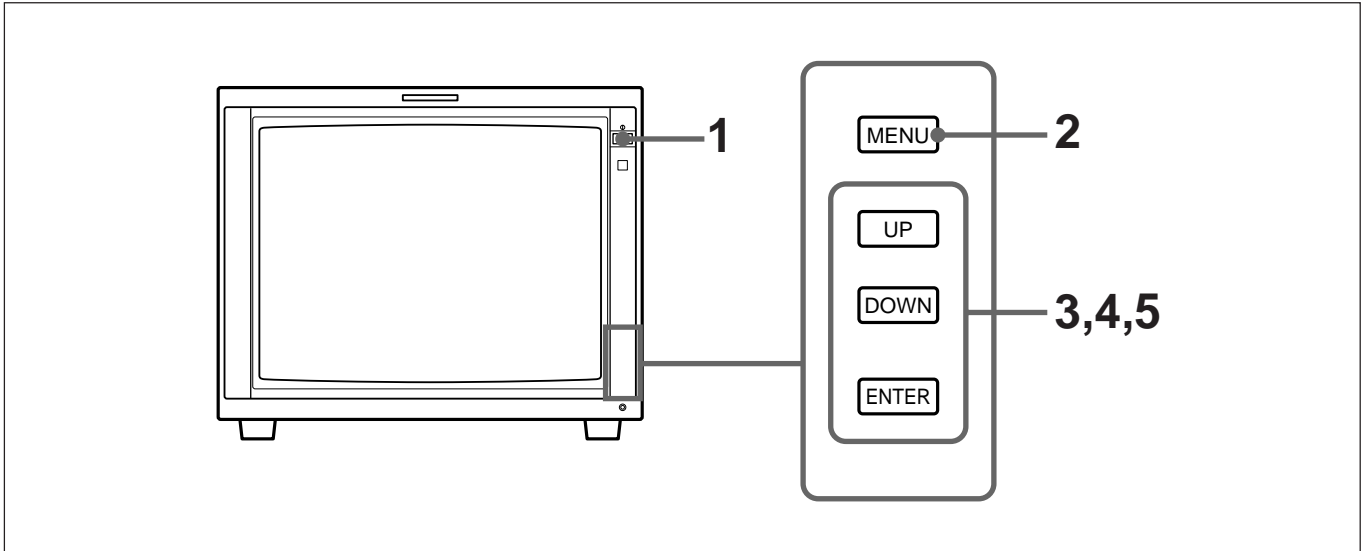
SERIAL REMOTE IN端子に接続したコントロールコマンドを出力します(ループスルー)



# メニュー表示言語の切り換え

メニュー画面やメッセージの表示言語を6言語( ENGLISH、DEUTSCH、FRANÇAIS、ITALIANO、ESPAÑOL、日本語 )の中から選ぶことができます。

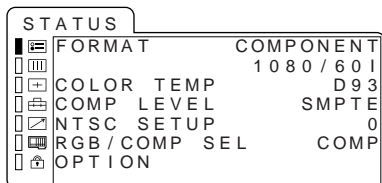
出荷時の設定は「ENGLISH」( 英語 )に設定されています。



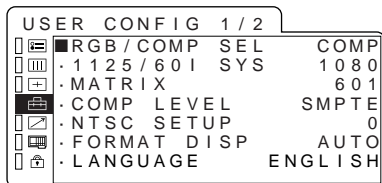
**1** パワースイッチを押し、電源を入れる。

**2** MENU ボタンを押す。  
メニュー画面が表示されます。

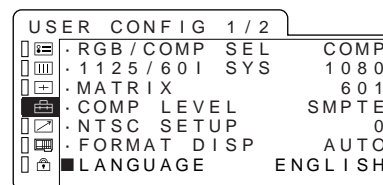
現在選択されているメニューが黄色いボタンで表示されます。



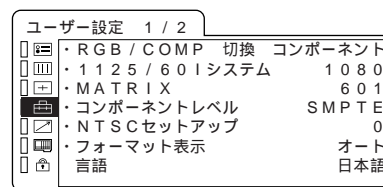
**3** UP ボタンまたは DOWN ボタンを押して USER CONFIG 1/2 (ユーザー設定 1/2) メニューを選び、ENTER ボタンを押す。  
選んだメニューの設定項目 (アイコン) が黄色で表示されます。



**4** UP ボタンまたは DOWN ボタンを押して「LANGUAGE」を選び、ENTER ボタンを押す。  
選んだ項目が黄色で表示されます。



**5** UP ボタンまたは DOWN ボタンを押して表示させたい言語を選び、ENTER ボタンを押す。  
画面表示が選んだ言語に切り換わります。



メニュー画面を消すには

MENU ボタンを押す。

約1分間操作をしないとメニューは自動的に消えます。

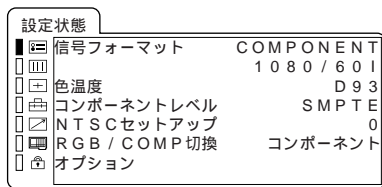


# メニューの操作方法

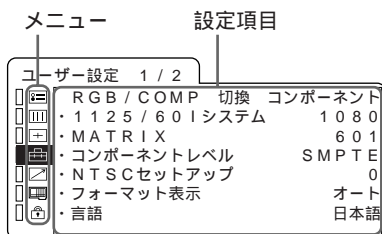
本機では、画質調整や入力信号の設定、初期設定の変更など、各種調整や設定をメニュー画面で行います。メニュー画面表示の言語を切り換えることもできます。

表示言語を変えるには、「メニュー表示言語の切り換え」(16(JP)ページ)をご覧ください。

- 1 MENU ボタンを押す。  
メニュー選択画面が表示されます。  
現在選択されているメニューが黄色いボタンで表示されます。



- 2 UP ボタンまたは DOWN ボタンを押してメニューを選び、ENTER ボタンを押す。  
選んだメニューのアイコンが黄色で表示され、設定項目が表示されます。



- 3 項目を選ぶ。  
UP ボタンまたは DOWN ボタンを押して設定項目を選び、ENTER ボタンを押す。  
変更する項目が黄色で表示されます。

## ご注意

項目が複数メニューページにおよぶ場合、UP ボタンまたは DOWN ボタンを押して必要なメニューページに入ります。

- 4 設定項目の調整や設定をする。

数値を変更する項目の場合：

数値を大きくするときは、UP ボタンを押す。

数値を小さくするときは、DOWN ボタンを押す。

ENTER ボタンを押すと確定され、元の画面に戻ります。

設定を選ぶ場合：

UP ボタンまたは DOWN ボタンを押して設定を選び、ENTER ボタンを押す。

## ご注意

- ・設定項目で青色表示の項目はアクセスできない状態を意味します。白色表示にかわるとアクセスが可能になります。
- ・キーロックがオンに設定されている場合、すべて設定項目が青色表示になります。設定変更が必要な場合は、キーロックをOFFに設定しなおしてから行ってください。

キーロックについて詳しくは、25 (JP) ページをご覧ください。

## メニュー画面を消す

MENU ボタンを押す。

約1分間操作をしないとメニューは自動的に消えます。

## 設定値の記憶について

設定値は自動的に本体に記憶されます。

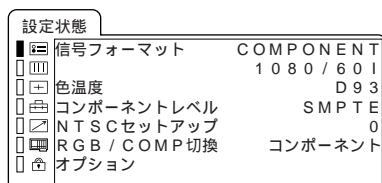
## 設定値をリセットする

操作パネルの VOLUME、CONTRAST、PHASE、CHROMA、BRIGHT のいずれかを調整中に RESET ボタンを押すと、標準値に戻ります。

メニュー内の項目を調整中に RESET ボタンを押すと調整前の値に戻ります。

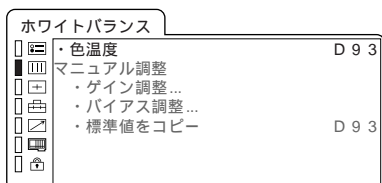
# 表示画面一覧

## 設定状態メニュー

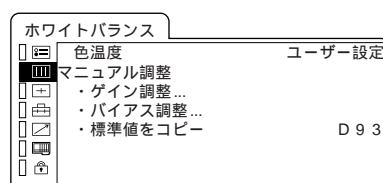


## ホワイトバランスメニュー

D65、D93選択時(画面はD93を選択)

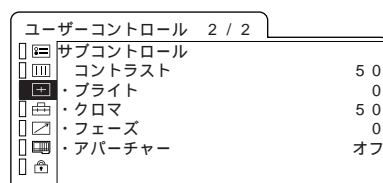
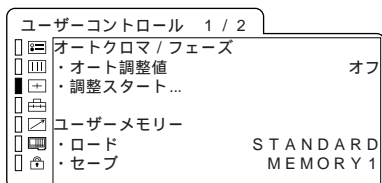


ユーザー設定選択時



## ユーザーコントロール 1/2、2/2 メニュー

(NTSC)



---

## ユーザー設定 1/2、2/2 メニュー

(ユーザー設定 1/2 メニュー)

ユーザー設定 1 / 2	
	・RGB / COMP 切換 コンポーネント
	・1125 / 601システム 1080
	・MATRIX 601
	・コンポーネントレベル SMPTE
	・NTSCセットアップ 0
	・フォーマット表示 オート
	・言語 日本語

(ユーザー設定 2/2 メニュー)

ユーザー設定 2 / 2	
	キャプションビジョン オフ
	・デガウスディレイ 0
	・マーカー位置 0
	・マーカー幅 0

---

## リモート 1/2 パラレルメニュー、2/2 シリアルメニュー

(リモート 1/2 パラレルメニュー)

リモート 1 / 2 パラレル	
	・1ピン LINE A
	・2ピン LINE B
	・3ピン タリ 赤
	・4ピン タリ 緑
	・6ピン 外部同期
	・7ピン アンダースキャン
	・8ピン 16 : 9

(リモート 2/2 シリアルメニュー)

リモート 2 / 2 シリアル	
	シングル アドレス 0
	・グループ アドレス 0
	・CH (1 - 4) 設定 CH1
	・入力 LINE A
	・アスペクト 4 : 3
	・スキャンサイズ ノーマル

---

## オプション設定メニュー

オプション設定メニューについてのメニュー画面および詳しい情報は、24 (JP) ページをご覧ください。

---

## キーロックメニュー

キー ロック	
	・キー ロック オフ

## 設定状態メニュー

本機の現在の設定状況を表示します。表示される項目は以下のとおりです。

- 信号フォーマット
- 色温度
- コンポーネントレベル
- NTSC セットアップ
- RGB/COMP 切り換え
- オプション

## ホワイトバランスメニュー

画質のホワイトバランスを調整するメニューです。ホワイトバランスの調整には測定器が必要です。

---

### 色温度

色温度を D65、D93、ユーザー設定から設定します。

---

### マニュアル調整

「色温度」をユーザー設定にしたとき、表示が青色から白色にかわり、調整できるようになります。

---

### ゲイン調整...

カラーバランス(ゲイン)を調整します。

「ゲイン調整...」を選択し、ゲイン調整画面に入ります。UPボタンまたはDOWNボタンを押して調整します。

---

### バイアス調整...

カラーバランス(バイアス)を調整します。

「バイアス調整...」を選択し、バイアス調整画面に入ります。UPボタンまたはDOWNボタンを押して調整します。

---

### 標準値をコピー

UPボタンまたはDOWNボタンを押して D65 または D93 を選択すると、選択された色温度のホワイトバランスデータが、ユーザー設定にコピーされます。

# ユーザーコントロール 1/2、2/2 メニュー

画質を調整するメニューです。

入力信号によって調整できない項目は青色で表示されます。

---

## オートクロマ / フェーズ

色の濃さ(クロマ)と色あい(フェーズ)を調整します。

---

## オート調整値

自動調整値のオン、オフの切り換えを設定します。オフに設定すると工場出荷値となり、オンに設定すると自動調整値になります。

---

## 調整スタート...

カラーバー信号(フル / SMPTE / EIA / HD)を画面に出して、ENTER ボタンを押すと、自動的にオート調整画面が始まります。調整終了後、MENU ボタンを押して戻ります。調整が正常終了した場合、オート調整値は自動的にオンになります。

### ご注意

フルカラーバーの場合、必ず8本カラーバーを入力してください。

---

## ユーザーメモリー

### セーブ

操作パネルの VOLUME、CONTRAST、PHASE、CHROMA、BRIGHT 調整の現在の値を保存することができます。保存領域は、MEMORY1、MEMORY2 の2領域から選択できます。

### ロード

操作パネルの VOLUME、CONTRAST、PHASE、CHROMA、BRIGHT 調整の値を上記セーブ機能で保存しておいた値に戻すことができます。標準を選択した場合は、それぞれの標準値に戻ります。

---

## サブコントロール

前面右側のCONTRAST、PHASE、CHROMA、BRIGHT調整ボタンの調整範囲を微調整します。

### コントラスト

コントラストを調整します。最小0 ~ 最大100まで調整できます。

### ブライト

明るさを調整します。最小 - 50 ~ 最大 + 50まで調整できます。

### クロマ

色の濃さを調整します。設定値が大きくなると濃くなり、小さくなると薄くなります。最小0 ~ 最大100まで調整できます。

### フェーズ

色相(色あい)を調整します。設定値が大きくなると緑がかり、小さくなると紫がかります。最小 - 50 ~ 最大 + 50まで調整できます。

### アパーチャー

シャープネスを調整します。設定値が大きくなるとくっきりします。最小OFF ~ 最大100まで調整できます。

# ユーザー設定 1/2、2/2 メニュー

言語の選択や、RGBやコンポーネントの切り換えなどを設定します。各項目の[ ]の表記は出荷時の設定です。

## RGB/COMP切換

RGB/COMPONENT入力端子からの信号をモニターするとき、このメニューでRGBまたはコンポーネントの設定を行います。UPボタンまたはDOWNボタンを押してRGBまたはコンポーネントの選択をします。

[コンポーネント]

## 1125/60iシステム

1125/60i信号入力時の有効走査線数を指定します。有効走査線数1080または1035を選択します。HD SDI入力時は自動判別されます。

[1080]

## マトリクス

通常の映像信号、15K、31Kのコンポーネント信号にのみに働きます。

UPボタンまたはDOWNボタンを押して709または601を選択します。

[601]

## コンポーネントレベル

以下の3種類のなかから、入力されているコンポーネント信号の種類を選択します。

N10/SMPTE : 100/0/100/0のコンポーネント信号のとき

BETA 7.5 : 100/7.5/75/7.5のコンポーネント信号のとき

BETA 0 : 100/0/75/0のコンポーネント信号のとき

[SMPTE]

## NTSCセットアップ

NTSC信号のセットアップのレベルを選択します。日本は0で、アメリカでは7.5で運用されています。このため輸入ソフトには7.5のものがあります。

[0]

## フォーマット表示

オン、オフ、オートから選択します。

[オート]

## 言語

メニュー表示やメッセージの表示言語を以下の6言語から選択できます。UPボタンまたはDOWNボタンを押して言語を選択し、ENTERボタンを押すと選択した言語表示に変わります。

日本語、ENGLISH(英語)、DEUTSCH(ドイツ語)、FRANÇAIS(フランス語)、ITALIANO(イタリア語)、ESPAÑOL(スペイン語)

[ENGLISH]

## キャプションビジョン

キャプションの表示モードを設定します。

オフ、キャプション1、キャプション2、テキスト1、テキスト2から選択します。

[オフ]

## デガウスディレイ

電源を入れてから自動消磁機能が働くまでの時間を、0から99秒の間で設定できます。

[0]

## ランディング調整

このメニューはPVM-D20L5Jでのみ調整できます。

DEGAUSSボタンを押してもブラウン管がきれいに消磁されず、色むらがあるときは、このメニューを使って色むらがなくなるように調整します。

[50]

このメニューを使って調整するには2つの方法があります。

画面上に水平線が表示されているときは(水平線信号入力時)

UPボタンまたはDOWNボタンを押して、水平線ができるだけ平行になるように調整します。0～100まで調整できます。

画面が白くなっているときは(白色信号入力時)

UPボタンまたはDOWNボタンを押して、画面の白さにできるだけ色むらがなくなるように調整します。0～100まで調整できます。

## マーカー位置

4:3マーカー位置を、-10～+10まで調整できます。

[0]

## マーカー幅

4:3マーカー幅を、-10～+10まで調整できます。

[0]

# リモート 1/2 パラレル メニュー

PARALLEL REMOTE 端子で機能を変更したいピンを選択します。

1～4、6～8ピンに各機能を割り付けられます。割り付け可能な機能は以下のとおりです。

- ・ -- (「--」は機能の割付なし。)
- ・ LINE A
- ・ LINE B
- ・ RGB/COMP
- ・ OPTION A
- ・ OPTION B
- ・ タリー赤
- ・ タリー緑
- ・ アンダースキャン
- ・ 16:9
- ・ 外部同期
- ・ HV デイレイ
- ・ ブルーオンリー
- ・ MONO
- ・ 4:3 マーカー
- ・ デガウス

## ご注意

パラレルリモートを使用する場合は、配線が必要です。詳しくは28 (JP) ページをご覧ください。

# リモート 2/2 シリアル メニュー

BVMシリーズからシリアルリモートコントロールする場合にモニターのシングルアドレスおよびグループアドレスを設定したり、割り付けたいチャンネル番号などを設定します。

## シングルアドレス

BVMシリーズからのシリアルリモートコマンドに対応可能な機能は、以下のとおりです。

- ・ CONTRAST 調整
- ・ BRIGHT 調整
- ・ CHROMA 調整
- ・ PHASE 調整
- ・ 数値ボタン1
- ・ 数値ボタン2
- ・ 数値ボタン3
- ・ 数値ボタン4
- ・ アンダースキャンボタン
- ・ H デイレイボタン\*
- ・ V デイレイボタン\*
- ・ 白黒ボタン
- ・ アパーチャーボタン
- ・ 16:9 ボタン
- ・ シンクボタン
- ・ ブルーオンリーボタン
- ・ セーフエリアボタン
- ・ デガウスボタン
- \* 本機での動作は H/V DELAY になります。

## グループアドレス

モニターのグループアドレス番号を設定します。0～99まで設定できます。

## CH (1-4) 設定

BVMシリーズのダイレクトキーに割り付けたいチャンネル番号(1～4まで)などを設定します。

CH1、CH2、CH3、CH4から選択します。

CH(チャンネル)設定できる項目は、入力/アスペクト/スキャンサイズです。

## 入力

選択したチャンネルに入力系を設定します。

LINE A、LINE B、RGB/COMP、OPTION A、OPTION Bから選択します。

## アスペクト

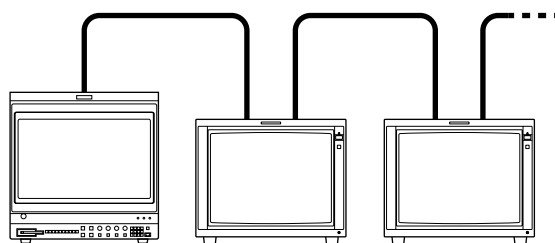
アスペクト比を設定します。

16:9あるいは4:3を選択します。

## スキャンサイズ

スキャンサイズを設定します。

アンダーあるいはノーマルを選択します。



BVMシリーズ PVM-D14L5J/  
D20L5J PVM-D14L5J/  
D20L5J

シリアルリモートコントロールのイメージ図

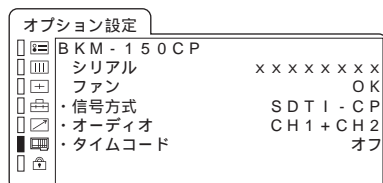
## ご注意

シリアルリモートでシングルコントロールを行う際、連続してコントロールを行うとリモートが効かなくなる場合があります。この場合は回復するまでコントロールを何回か行ってください。

# オプション設定メニュー

後面に装着されたオプションボードの設定をします。装着されたボードにより、表示される画面が異なります。なお、何も装着されていない場合は、項目設定は表示されません。入力信号を割り付けた後、モニターのオートクロマ/フェーズ調整を必ず行ってください。

## オプションボードBKM-150CP装着時



### 信号方式

信号方式を設定します。

SDTI-CPあるいはD1-SDIを選択します。

### オーディオ

オーディオチャンネルを設定します。

D1-SDIの場合：

CH1 + CH2 ~ CH15 + CH16、CH1 ~ CH16の中から選択できます。

SDTI-CPの場合：

CH1 + CH2 ~ CH7 + CH8、CH1 ~ CH8の中から選択できます。

OPTION AUDIO INPUT 1または2 入力端子からの信号は無効になります。

### タイムコード

タイムコード表示を選択します。

D1-SDIの場合：

VITC、RP188、オフの中から選択できます。

SDTI-CPの場合：

VITC、CP-TC1、CP-TC2、ES-TC1、ES-TC2、オフの中から選択できます。

メニュー上の略称は以下の規格に対応しています。

CP-TC1： SMPTE 331M System Item USER DATE/TIME STAMP

CP-TC2： SMPTE 331M System Item CREATION DATE/TIME STAMP

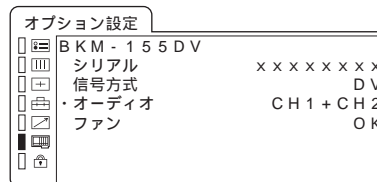
ES-TC1： SMPTE 328M MPEG ES Editing Information TIME CODE1

ES-TC2： SMPTE 328M MPEG ES Editing Information TIME CODE2

RP188： SMPTE RP188 Time Code

VITC： SMPTE 12M VITC、SMPTE 266M D-VITC

## オプションボードBKM-155DV装着時



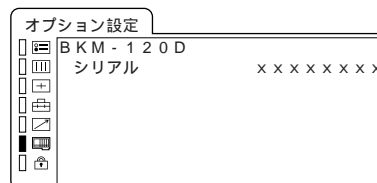
### オーディオ

オーディオチャンネルを設定します。

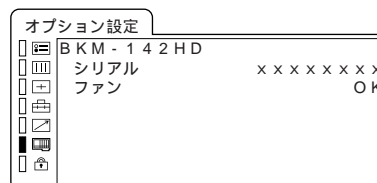
CH1 + CH2、CH3 + CH4、CH1/3、CH2/4、CH1/3 + CH2/4、CH1 ~ CH4の中から選択できます。

OPTION AUDIO INPUT 1または2 入力端子からの信号は無効になります。

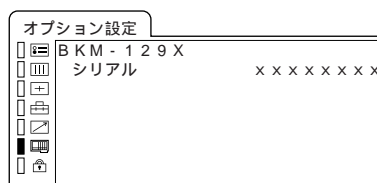
## オプションボードBKM-120D装着時



## オプションボードBKM-142HD装着時



## オプションボードBKM-129X装着時



BKM-142HD、BKM-150CP、BKM-155DV内蔵の冷却ファンが止まっている場合には、画面に常に「BKM-xxxxxファンエラー」と赤く表示され、オプションA、オプションBは選択できなくなります。



## キーロックメニュー

各種設定項目の変更が効かないように、キーロックを掛けることができます。

オフあるいはオンを選択します。

オンに設定した場合、他のメニューの設定項目はすべて青色表示となり、変更できなくなります。

## 故障かな？と思ったら

お買い上げ店などにご相談いただく前に、次の事項をご確認ください。

- 画面が緑色や紫色になる → 入力チャンネルボタンを押して、正しい入力を選んでください。
- 操作ボタンを押しても操作できない → キーロックが働いています。キーロックメニューでキーロックの設定をオフに切り換えてください。
- BKM-142HD、BKM-150CP、BKM-155DV 装着時に、「BKM-xxxxxファンエラー」と表示されオプションA、オプションBが選択できない。 BKM-xxxxxを修理に出してください。

## 保証書とアフターサービス

### 保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

### アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを  
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ  
お買い上げ店、または添付の「サービス窓口・ご相談窓口のご案内」にあるソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は  
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は  
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理をさせていただきます。

# 主な仕様

## 一般

### 信号方式

システム	総走査線数	有効走査線数	フレーム周波数 (Hz)	走査方式	アスペクト比	信号規格
575/50I (PAL)	625	575	25	2:1 インターレース	16:9/4:3	ITU 601
480/60I (NTSC)	525	483	30	2:1 インターレース	16:9/4:3	ITU 601
576/50P	625	576	50	プログレッシブ	16:9/4:3	
480/60P	525	483	60	プログレッシブ	16:9/4:3	SMPTE 293M
1080/50I	1125	1080	25	2:1 インターレース	16:9	SMPTE 294M
1035/60I	1125	1035	30	2:1 インターレース	16:9	BTA S-001B
1080/60I	1125	1080	30	2:1 インターレース	16:9	SMPTE 274M/BTA S-001B
720/60P	750	720	60	プログレッシブ	16:9	SMPTE 296M

### CRT

#### PVM-D14L5J

CRT: HRTリニオン、EBU規格蛍光体

電源: AC100 ~ 240V、50/60Hz

消費電流 / 電力:

最大 120W 1.2 ~ 0.6A (別売りのBKM-150CP装着時)

標準 110W 1.1 ~ 0.5A (オプションボードなし、720/60P入力の場合)

最大外形寸法 (幅 / 高さ / 奥行き):

約 346 × 280 × 424mm

質量: 約 17kg

#### PVM-D20L5J

CRT: HRTリニオン、EBU規格蛍光体

電源: AC100 ~ 240V、50/60Hz

消費電流 / 電力:

最大 140W 1.4 ~ 0.7A (別売りのBKM-150CP装着時)

標準 130W 1.3 ~ 0.6A (オプションボードなし、720/60P入力の場合)

最大外形寸法 (幅 / 高さ / 奥行き):

約 452 × 414 × 500mm

質量: 約 31kg

### 入出力

#### 入力

LINE A 入力端子

Y/C 入力

4ピンミニDIN (1)ピン配列参照

VIDEO 入力

BNC型 (1)1Vp-p ± 6dB 負同期

AUDIO 入力

ピンジャック (1) - 5dBu 47k

以上

LINE B 入力端子

VIDEO 入力

BNC型 (1)1Vp-p ± 6dB 負同期

AUDIO 入力

ピンジャック (1) - 5dBu 47k

以上

RGB/コンポーネント入力端子 BNC型 (3)

RGB 入力

0.7Vp-p ± 6dB (Sync On Green  
0.3Vp-p 負同期)

コンポーネント入力

0.7Vp-p ± 6dB (75%クロミナンス標準カラーバー信号時)

AUDIO 入力

ピンジャック (1) - 5dBu 47k

以上

外部同期入力

BNC型 (1)0.3 ~ 8Vp-p 正負両極性3値または負極性2値

オプション AUDIO 入力

ピンジャック (2)

- 5dBu 47k 以上

リモート入力

シリアルリモート D-Sub 9ピン (1)

パラレルリモート モジュラーコネクタ-8ピン (1)

## 出力

LINE A 出力端子	
Y/C 出力	4ピンミニDIN(1)ループスルー、 75 自動終端機能付き
VIDEO 出力	BNC型(1)ループスルー、75 自動終端機能付き
AUDIO 出力	ピンジャック(1)ループスルー
LINE B 出力端子	
VIDEO 出力	BNC型(1)ループスルー、75 自動終端機能付き
AUDIO 出力	ピンジャック(1)ループスルー
RGB/ コンポーネント出力端子	
	BNC型(3)
RGB / コンポーネント出力	
	ループスルー、75 自動終端機能 付き
AUDIO 出力	ピンジャック(1)ループスルー
外部同期出力	BNC型(1)ループスルー、75 自動終端機能付き
リモート出力	
シリアルリモート	D-Sub 9ピン(1)ループスルー
内蔵スピーカー出力	0.8W(モノラル)

## 映像信号系

周波数特性	575/50I、480/60Iのコンポーネント入力時 50Hz ~ 10MHz (0dB/ - 3dB) 上記以外、およびRGB入力時 48Hz ~ 24MHz (0dB/ - 3dB)
-------	--

### アバ - チャ - 補正量<sup>1)</sup>

OFF	: 0dB
ON	: 2 ~ 6dB
575/50I、480/60I 入力時	: 5MHz
上記以外の入力時	: 16MHz

## 画像系

ノーマルスキャン	CRT 有効画面の7% オバーズキャン
アンダースキャン	CRT 有効画面の5% アンダースキャン
直線性	PVM-D14L5J H: 4% 以下 V: 4% 以下

PVM-D20L5J

H: 5% 以下

V: 5% 以下

色温度	D65、D93/USER (調整可能色温度5000K ~ 10000K)
-----	---

## コンバージョンエラー

PVM-D14L5J

中心部: 0.4mm 以下

周辺部: 0.5mm 以下

PVM-D20L5J

中心部: 0.5mm 以下

周辺部: 0.7mm 以下

## ラスタサイズ安定度

H: 1.0%

V: 1.0%

解像度(中心部) 600TV本(16:9)

800TV本(4:3)

## 動作条件

温度	0 ~ 35
湿度	30 ~ 85% 以下(結露のないこと)
気圧	700 ~ 1060hPa

## 保存・輸送条件

温度	- 10 ~ 40
湿度	0 ~ 90%
気圧	700 ~ 1060hPa

## 付属品

AC電源コード(1)
ACプラグホルダー(1)
取扱説明書(1)
保証書(1)
サービス窓口・ご相談窓口のご案内(1)

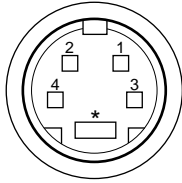
本機は「JIS C 61000-3-2 適合品」です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

1) RGB入力時はアバーチャーの補正は行えません。

ピン配列

Y/C IN端子 (4ピンミニDIN) のピン配列

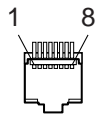


ピンNo.	信号	信号レベル
1	Y入力	1Vp-p、同期負、75
2	CHROMA入力 サブキャリア入力	286 mVp-p (NTSC)/ 300 mVp-p (PAL)、 バースト Y-C間遅延時間 0 ± 100 nsec、75
3	GND (Y入力用)	アース
4	GND (CHROMA入力用)	アース

PARALLEL REMOTE 端子

モジュラーコネクタ

(8ピン)



ピン番号	機能
1	入力信号LINE Aを指定
2	入力信号LINE Bを指定
3	タリランプ赤のON/OFF
4	タリランプ緑のON/OFF
5	GND
6	外部同期の選択
7	アンダースキャンの選択
8	アスペクト比16:9の選択

1 ~ 4、6 ~ 8ピンへの機能割り付けは、リモートメニューで変更できます。

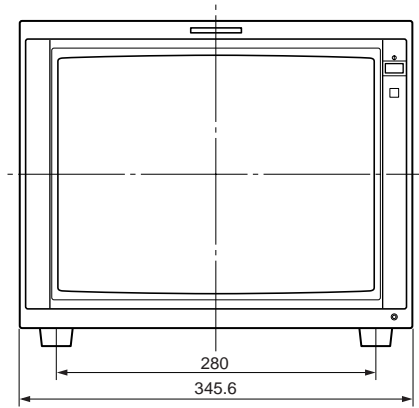
リモートコントロールを使用するための配線

リモートコントロールで使いたい機能をアース(5ピン)に接続します。

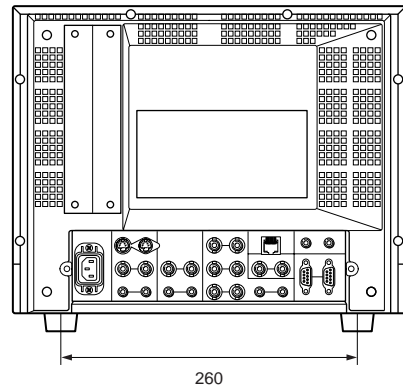
寸法図

PVM-D14L5J

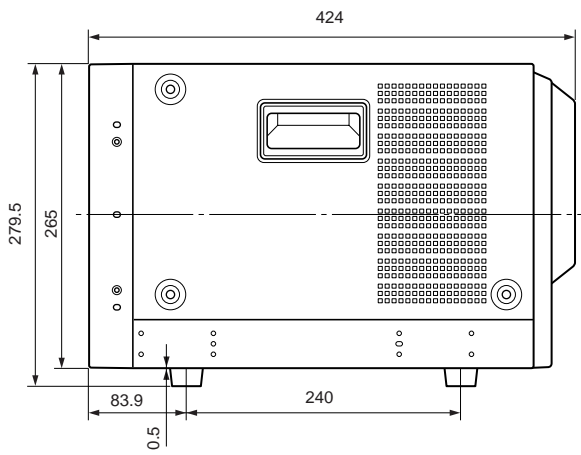
前面



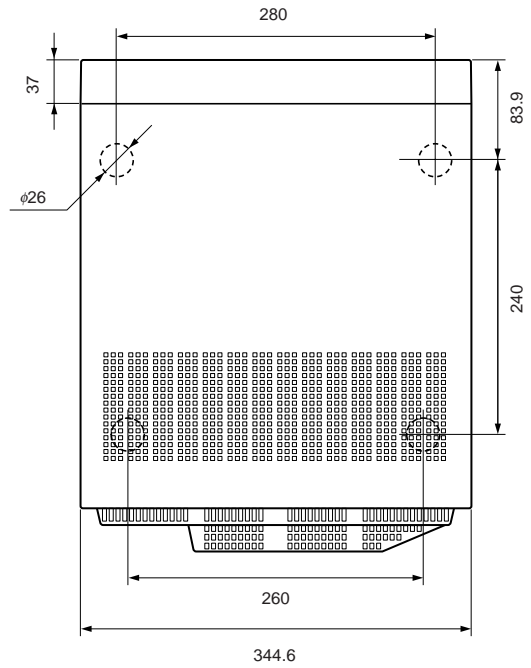
背面



側面



上面

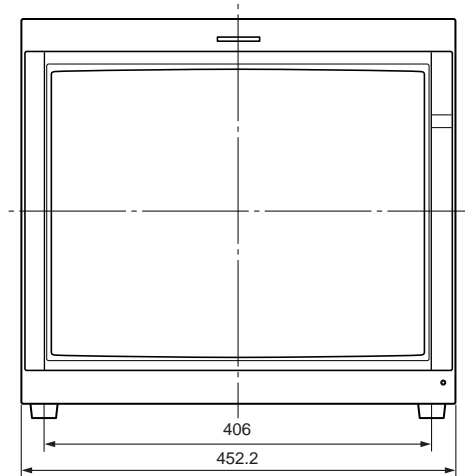


単位：mm

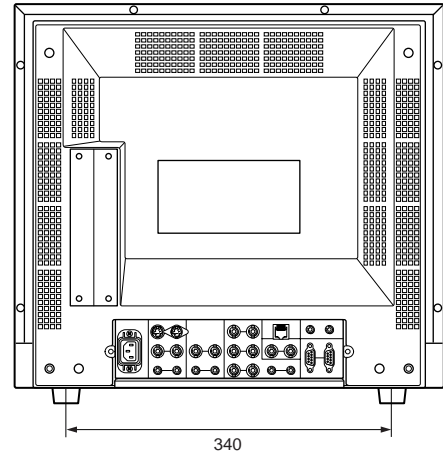
# 主な仕様

PVM-D20L5J

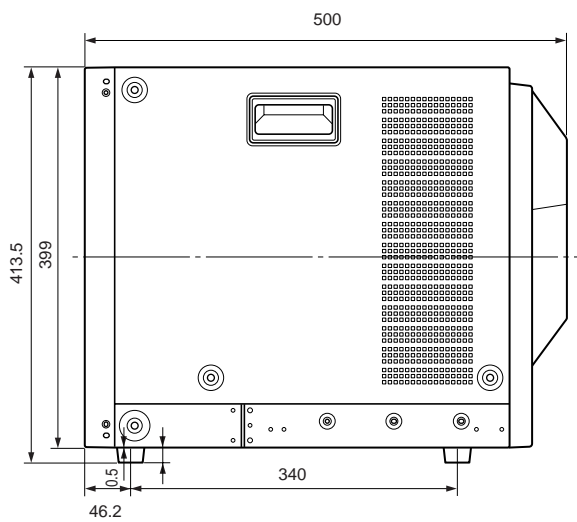
前面



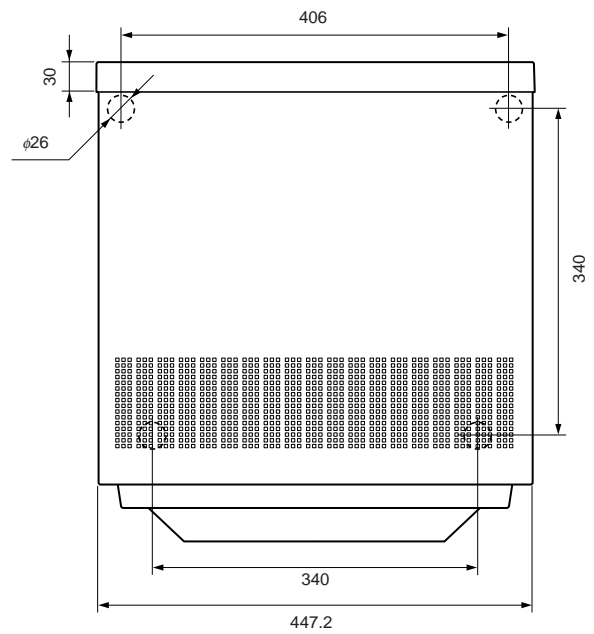
背面



側面



上面



単位 : mm



## Owner's Record

The model and serial numbers are located at the rear. Record these numbers in the spaces provided below. Refer to these numbers whenever you call upon your Sony dealer regarding this product.

Model No. \_\_\_\_\_

Serial No. \_\_\_\_\_

## WARNING

**To prevent fire or shock hazard, do not expose the unit to rain or moisture.**

**Dangerously high voltage are present inside the unit.**

**Do not open the cabinet. Refer servicing to qualified personnel only.**

In the event of a malfunction or when maintenance is necessary, consult an authorized Sony dealer.

### For the customers in the U.S.A.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment.

This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference in which case the user will be required to correct the interference at his own expense.

You are cautioned that any changes or modifications not expressly approved in this manual could void your authority to operate this equipment.

### For the customers in Canada

This Class A digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

### Pour les utilisateurs au Canada

Cet appareil numérique de la classe A est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

## ATTENTION – When the product is installed in a rack:

### a) Elevated operating ambient temperature

If installed in a closed or multi-unit rack assembly, the operating ambient temperature of the rack environment may be greater than room ambient. Therefore, consideration should be given to installing the equipment in an environment compatible with the manufacture's maximum rated ambient temperature (T<sub>mra</sub>: 0°C to 35°C (32°F to 95°F)).

### b) Reduced air flow

Installation of the equipment in a rack should be such that the amount of air flow required for safe operation of the equipment is not compromised.

### c) Mechanical loading

Mounting of the equipment in the rack should be such that a hazardous condition is not achieved due to uneven mechanical loading.

### d) Circuit overloading

Consideration should be given to the connection of the equipment to the supply circuit and the effect that overloading of circuits might have on overcurrent protection and supply wiring. Appropriate consideration of equipment nameplate ratings should be used when addressing this concern.

### e) Reliable earthing

Reliable earthing of rack-mounted equipment should be maintained. Particular attention should be given to supply connections other than direct connections to the branch circuit (e.g., use of power strips).

### f) Gap keeping

Upper and lower gap of rack-mounted equipment should be kept 44 mm (1 <sup>3</sup>/<sub>4</sub> inches).



---

## On safety

- Operate the unit only with a power source as specified in “Specifications” section.
- The nameplate indicating operating voltage, power consumption, etc., is located at the rear.
- Should any solid object or liquid fall into the cabinet, unplug the unit and have it checked by qualified personnel before operating it any further.
- Do not drop or place heavy objects on the power cord. If the power cord is damaged, turn off the power immediately. It is dangerous to use the unit with a damaged power cord.
- Unplug the unit from the wall outlet if it is not to be used for several days or more.
- Disconnect the power cord from the AC outlet by grasping the plug, not by pulling the cord.
- The socket-outlet shall be installed near the equipment and shall be easily accessible.

---

## On installation

- Allow adequate air circulation to prevent internal heat build-up.  
Do not place the unit on surfaces (rugs, blankets, etc.) or near materials (curtains, draperies) that may block the ventilation holes.
- Do not install the unit in a location near heat sources such as radiators or air ducts, or in a place subject to direct sunlight, excessive dust, mechanical vibration or shock.

---

## On cleaning of the CRT surface

- The surface of the CRT has an optional PET film treatment.  
Clean the CRT surface using the following method to avoid damaging the surface.
- Clean the CRT with a soft cloth.  
When the CRT is dirtied with oily hands or fingerprints, clean it with a soft cloth moistened with a mild detergent solution.
- Never use abrasive cleansers, alkaline soap, strong solvents such as alcohol, thinner or benzine, since they will damage the surface.
- Do not rub the surface of the CRT with a solid object or hit it.

---

## On cleaning

To keep the unit looking brand-new, periodically clean it with a mild detergent solution. Never use strong solvents such as thinner or benzine, or abrasive cleansers since they will damage the cabinet. As a safety precaution, unplug the unit before cleaning it.

---

## On repacking

Do not throw away the carton and packing materials. They make an ideal container which to transport the unit. When shipping the unit to another location, repack it as illustrated on the carton.

If you have any questions about this unit, contact your authorized Sony dealer.

# Table of contents

<b>Precaution .....</b>	<b>3 (GB)</b>
<b>Features .....</b>	<b>5 (GB)</b>
<b>Connections .....</b>	<b>7 (GB)</b>
How to Connect the AC Power Cord .....	7 (GB)
How to Connect a Cable to a BNC Connector .....	7 (GB)
<b>Location and Function of Parts and Controls .....</b>	<b>8 (GB)</b>
Control Panels .....	8 (GB)
Rear Panel .....	10 (GB)
<b>Selecting the Menu Language .....</b>	<b>13 (GB)</b>
<b>Using the Menu .....</b>	<b>14 (GB)</b>
<b>Display List .....</b>	<b>15 (GB)</b>
<b>STATUS Menu .....</b>	<b>17 (GB)</b>
<b>COLOR TEMP/BAL Menu .....</b>	<b>17 (GB)</b>
<b>USER CONTROL 1/2, 2/2 Menu .....</b>	<b>18 (GB)</b>
<b>USER CONFIG 1/2, 2/2 Menu .....</b>	<b>19 (GB)</b>
<b>REMOTE 1/2 PARALLEL Menu .....</b>	<b>20 (GB)</b>
<b>REMOTE 2/2 SERIAL Menu .....</b>	<b>20 (GB)</b>
<b>OPTION CONFIG Menu .....</b>	<b>21 (GB)</b>
<b>KEY PROTECT Menu .....</b>	<b>22 (GB)</b>
<b>Troubleshooting .....</b>	<b>22 (GB)</b>
<b>Specifications .....</b>	<b>23 (GB)</b>

The explanation given in this manual can be applied to the following models unless noted otherwise.

When explanation differs among models, this is clearly indicated in this manual.

- PVM-D14L5J (14-inch monitor)
- PVM-D20L5J (20-inch monitor)

Illustrations of the video monitor are of the PVM-D14L5J.

# Features

The PVM-D14L5J/PVM-D20L5J is a Trinitron color video monitor for professional use.

---

## Picture

### HR (High Resolution) Trinitron<sup>1)</sup> picture tube for PVM-D14L5J and PVM-D20L5J

HR Trinitron tube provides a high resolution picture. Horizontal resolution is more than 800 TV lines at the center of the picture.

### Comb filter

When NTSC video signals are received, a comb filter activates to make more accurate Y/C separation. This contributes to less of a decrease in resolution, cross color and cross luminance phenomena.

### Beam current feedback circuit

The built-in beam current feedback circuit assures stable white balance.

### Two color system available

The monitor can display NTSC and PAL signals. The appropriate color system is selected automatically.

### Auto chroma phase function

The chroma and phase of the decoder are automatically adjusted with the auto chroma phase function.

### Blue only mode

In the blue only mode, an apparent monochrome display is obtained with all three of the R/G/B cathodes driven with a blue signal. This facilitates color saturation and phase adjustments and observation of VCR noise.

---

## Input

### Analog RGB/component input connectors

Analog RGB or component (Y, R-Y and B-Y) signals from video equipment can be input through these connectors. Select either of two signals using the RGB/COMP input switch button.

### Y/C input connectors (S-input connector)

The video signal, split into the luminance signal (Y)

and the chrominance signal (C), can be input through this connector, eliminating the interference between the two signals, which tends to occur in a composite video signal, ensuring video quality.

### Expandable input capability

You can easily expand the input capability by installing an input adaptor (not supplied) in the input option slot in the rear of the monitor.

### External sync input

When the EXT SYNC selector is in the on position, the monitor can be operated on the sync signal supplied from an external sync generator.

### Automatic termination (connector with mark only)

The input connector is terminated at 75 ohms inside when nothing has been connected to the output connector. If a cable is connected to the output connector, the internal terminal is automatically released and the signals input to the input connector are output to the output connector (loop-through).

---

## Functions

### Multiformat

The monitor supports the principal formats (480I/480P/720P/1080I) for digital broadcasts as well as conventional NTSC and PAL color systems — a wide variety of signals whose horizontal frequency is between 15 kHz and 45 kHz.

### Underscan mode

The signal normally scanned outside of the screen can be monitored in the underscan mode.

### Note

When the monitor is in the underscan mode, the dark RGB scanning lines may appear on the top edge of the screen. These are caused by an internal test signal, rather than the input signal.

### Horizontal/vertical delay mode

The horizontal and vertical sync signals can be monitored simultaneously in the H/V delay mode.

---

1) "Trinitron" is a registered trademark of Sony Corporation.

## Features

---

### **Internal Caption Vision (Closed Caption) Decoder**

When the image signals with caption vision signals are input, the English subtitles are superimposed and displayed on the screen. You can select the caption ON/OFF and the caption type in the menu.

### **Auto/manual degaussing**

The CRT is automatically degaussed when the power is turned on. You can manually degauss the CRT by pressing the DEGAUSS button.

In the menu, you can set the time to automatically degauss after turning on the power.

#### **Note**

The DEGAUSS button is disabled when the screen menu is being displayed.

To manually degauss the CRT, exit the screen menu by pressing the MENU button.

### **On-screen menus**

You can set color temperature, CHROMA set up, and other settings by using the on-screen menus.

### **EIA 19-inch rack mount bracket available**

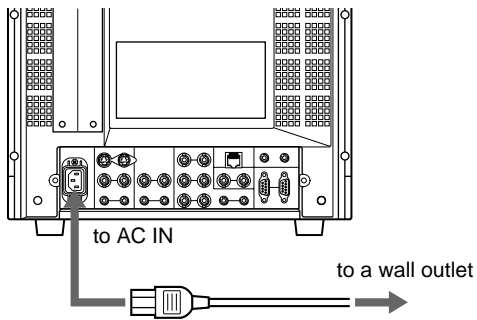
The monitor may be mounted on an EIA-standard 19-inch rack, using an optional mounting bracket MB-521 (for PVM-D14L5J) or slide rail SLR-104 (for PVM-D20L5J).

*For details on mounting the monitor on the rack, refer to the Operating Instructions of the mounting bracket or slide rail.*

# Connections

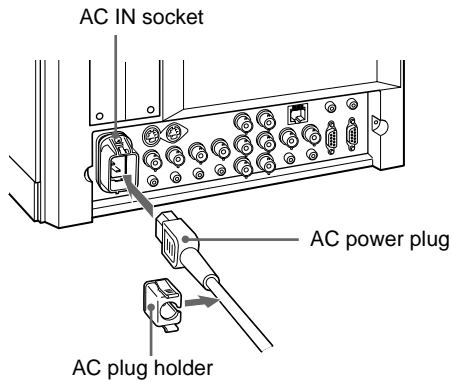
## How to Connect the AC Power Cord

Connect the AC power cord (supplied) to the AC IN socket on the rear panel and to a wall outlet.

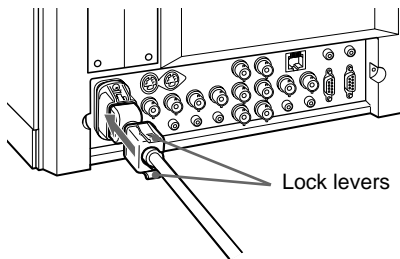


## To connect an AC power cord securely with AC plug holder

- 1 Plug the power cord into the AC IN socket. Then, attach the AC plug holder (supplied) on top of the AC power cord.



- 2 Slide the AC plug holder over the cord until it locks.

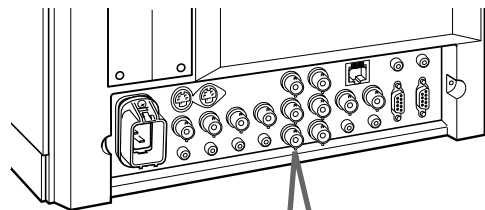


## To remove the AC power cord

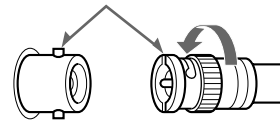
Pull out the AC plug holder while pressing the lock levers.

## How to Connect a Cable to a BNC Connector

Connect a coaxial cable with the BNC plugs to the BNC connectors on the rear panel as illustrated below.

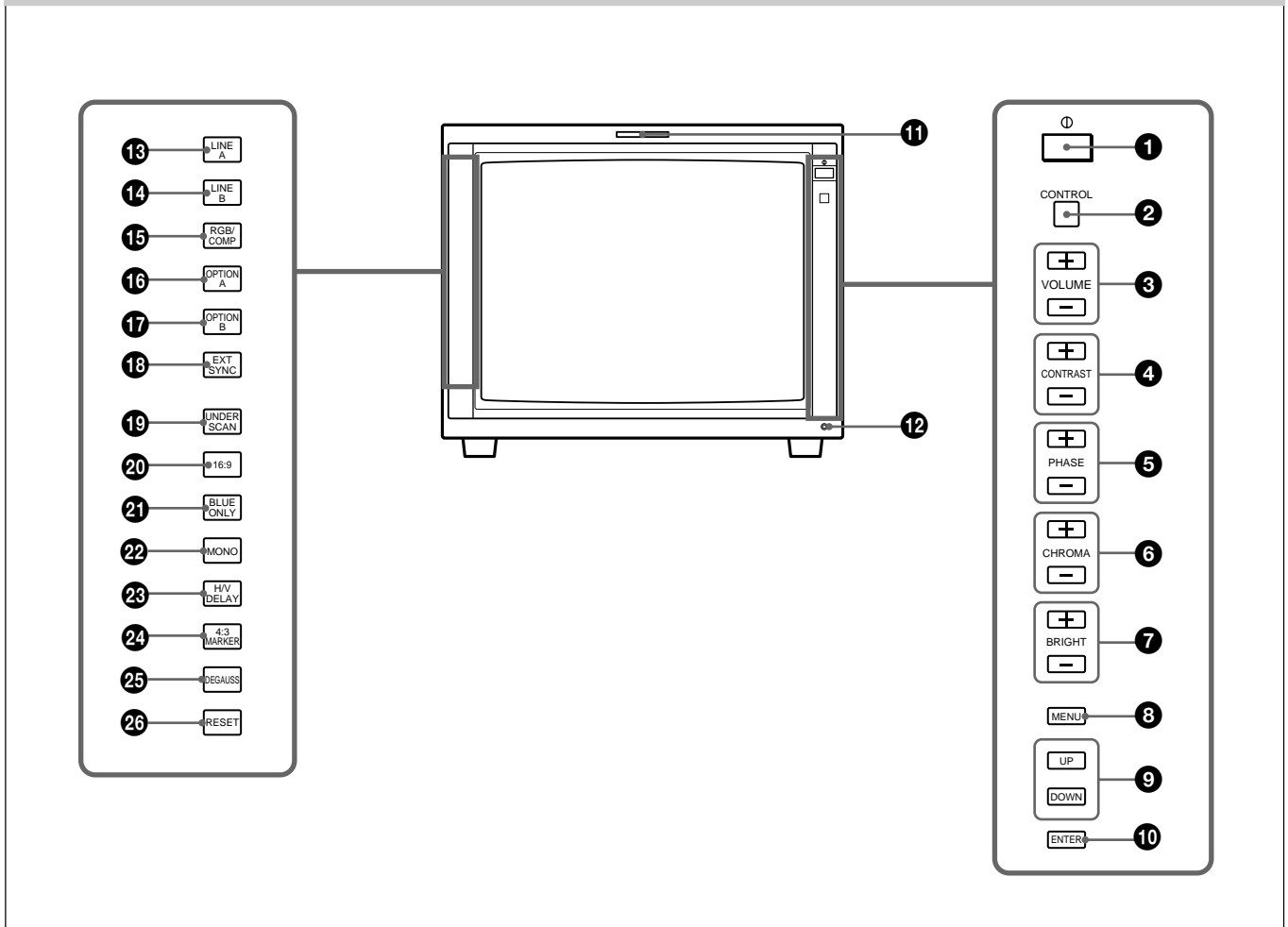


Insert the BNC plug into the connector on the rear panel, matching the slit and pin, and turn the BNC plug clockwise to secure the connection.



# Location and Function of Parts and Controls

## Control Panels



### ❶ POWER switch (⏻)

Press the switch to turn on the power. The operation buttons on both sides of the unit turn on. Press the switch again to turn off the power.

### ❷ CONTROL button

Press this button to turn on and enables the operation button. Press this button again to turn off and disables the operation buttons.

*You can adjust the brightness of the operation buttons by using the UP or DOWN buttons.*

### ❸ VOLUME control button

Press the + button to increase the volume or – button to decrease the volume.

### ❹ CONTRAST control button

Press the + button to make the contrast higher or the – button to make it lower.

### ❺ PHASE control button

Press the + button to make the complexion greenish or the – button to make it purplish.

### ❻ CHROMA control button

Press the + button to increase the color intensity or the – button to decrease it.

### ❼ BRIGHT (brightness) control button

Press the + button to increase the brightness or the – button to decrease it.

### Notes

- The PHASE (❺) and CHROMA (❻) control buttons have no effect on the pictures of RGB signals.
- The PHASE (❺) control button has no effect on the PAL signals and pictures of component signals.

### ❽ MENU button

Press this button to display or exit the main menu.

## 9 UP button

### Down button

Use these buttons to select an item from a menu or adjust the values. If the menu is not displayed, you can use these buttons to adjust the brightness for the control panels. You can adjust the brightness at 5 levels.

## 10 ENTER button

Press the button to confirm a selected item on the menu.

## 11 Tally lamp

Lights up when the video camera connected to this monitor is selected, indicating that the picture is being recorded.

*For details on how to light the tally lamp, see page 25 (GB).*

## 12 POWER indicator

Press the POWER switch, the indicator will light green.

## 13 LINE A (INPUT A) select button

Press this button to monitor the signal through the LINE A connector.

## 14 LINE B (INPUT B) select button

Press this button to monitor the signal through the LINE B connector.

## 15 RGB/COMP select button

Press this button to monitor the signal through the RGB/COMPONENT connectors.

You can set the RGB/COMPONENT in the menu screen. For details, see page 19 (GB).

## 16 OPTION A button

This button is used if an option board has been installed in the option slot in the monitor's rear. Press this button to monitor the image/audio signals from the option board input 1.

## 17 OPTION B button

This button is used if an option board has been installed in the option slot in the monitor's rear. Press this button to monitor the image/audio signals from the option board input 2.

(This button is disabled if BKM-129X or BKM-155DV is used.)

## 18 EXT SYNC (external sync) button

Press this button to operate the monitor on an external sync signal through the EXT SYNC IN connector.

## 19 UNDER SCAN button

Press this button (light on) for underscanning.

The display size is reduced by approximately 5% so that four corners of the raster are visible.

## 20 16:9 button

Press this button to monitor the signals of 16:9 picture.

### Note

The aspect ratio is fixed to 16:9 when the signal other than 4:3 signal format is input.

## 21 BLUE ONLY button

Press this button to eliminate the red and green signals. Only blue signal is displayed as an apparent monochrome picture on the screen. This facilitates "chroma" and "phase" adjustments and observation of VCR noise.

## 22 MONO button

Press this button to display a monochrome picture.

When the button is pressed again, the monitor switches automatically to color mode.

## 23 H/V DELAY button

Press this button to observe the horizontal and vertical sync signals at the same time.

The horizontal sync signal is displayed in the left quarter of the screen; the vertical sync signal is displayed near the center of the screen.

## 24 4:3 MARKER button

When this button is pressed, a 4:3 marker is displayed and it is possible to check the 4:3 aspect area.

### Note

The 4:3 marker is not displayed when the signals of the 4:3 aspect ratio are monitored or the monitor is in H/V delay mode.

## 25 DEGAUSS button

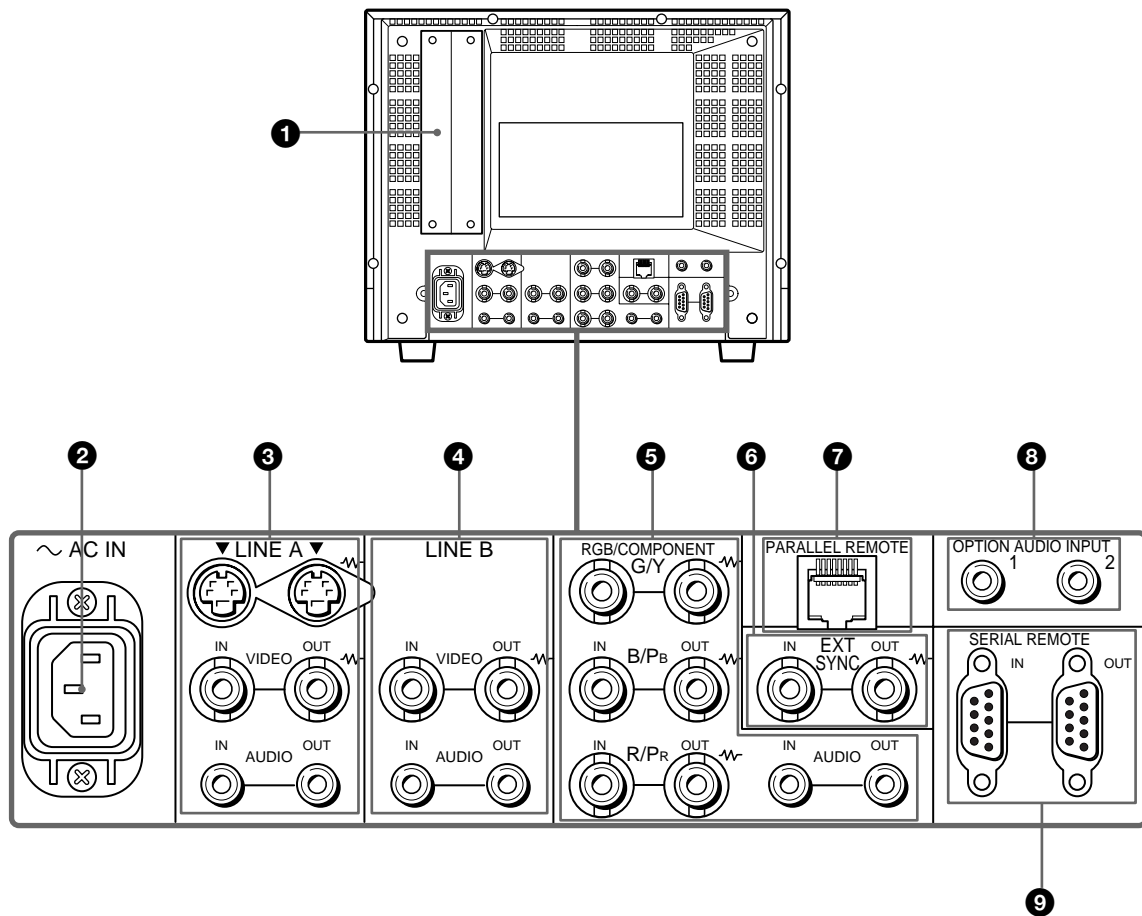
Press this button momentarily. The screen will be demagnetized. Wait for 10 minutes or more before using this button again.

## 26 RESET button

Pressing this button while changing the menu setting resets the menu to the previous setting. Pressing this button while changing VOLUME, PHASE, CHROMA or BRIGHT resets the respective setting to the default.

# Location and Function of Parts and Controls

## Rear Panel



### ❶ Option slot

You can insert an option board into this option slot. To use this slot, remove the slot cover by removing the screws.

*You can install only one option board. For details on how to install a board, refer to the Operating Instructions supplied with the option board.*

### ❷ AC IN socket

Connect the supplied AC power cord to this socket and to a wall outlet.

### ❸ LINE A connectors

Line input connectors for the Y/C separate input/output of a VCR, composite video and audio signals and their loop-through output connectors.

To monitor the input signal through these connectors, press the LINE A select button on the front panel.

If you connect the Y/C input and video input simultaneously, the Y/C input is selected first.

### Y/C IN (4-pin mini-DIN)

Connect to the Y/C separate output of a VCR, video camera or other video equipment.

### Y/C OUT (4-pin mini-DIN)

Loop-through output of the Y/C IN connector. Connect to the Y/C separate input of a VCR or another monitor.

When the cable is connected to this connector, the 75-ohm termination of the input is automatically released, and the signal input to the Y/C IN connector is output from this connector.

### VIDEO IN (BNC)

Connect to the video output of video equipment, such as a VCR or a color video camera.

For a loop-through connection, connect to the video output of another monitor.



#### **VIDEO OUT (BNC)**

Loop-through output of the VIDEO IN connector. Connect to the video input of a VCR or another monitor.

When the cable is connected to this connector, the 75-ohm termination of the input is automatically released, and the signal input to the VIDEO IN connector is output from this connector.

#### **AUDIO IN (phono jack)**

Connect to the audio output of a VCR or to a microphone via a suitable microphone amplifier. For a loop-through connection, connect to the audio output of another monitor.

#### **AUDIO OUT (phono jack)**

Loop-through output of the AUDIO IN connector. Connect to the audio input of a VCR or another monitor.

### **4 LINE B connectors**

Line input connectors for the composite video and audio signals and their loop-through output connectors. To monitor the input signal through these connectors, press the LINE B select button on the front panel.

#### **VIDEO IN (BNC)**

Connect to the video output of video equipment, such as a VCR or a color video camera. For a loop-through connection, connect to the video output of another monitor.

#### **VIDEO OUT (BNC)**

Loop-through output of the VIDEO IN connector. Connect to the video input of a VCR or another monitor.

When the cable is connected to this connector, the 75-ohm termination of the input is automatically released, and the signal input to the VIDEO IN connector is output from this connector.

#### **AUDIO IN (phono jack)**

Connect to the audio output of a VCR or to a microphone via a suitable microphone amplifier. For a loop-through connection, connect to the audio output of another monitor.

#### **AUDIO OUT (phono jack)**

Loop-through output of the AUDIO IN connector. Connect to the audio input of a VCR or another monitor.

### **5 RGB/COMPONENT connectors**

RGB signal or component (G/Y, B/P<sub>B</sub>, R/P<sub>R</sub>) signal input/output connectors and their loop-through output connectors.

To monitor the input signal through these connectors, press the RGB/COMP select button on the front panel.

#### **G/Y, B/P<sub>B</sub>, R/P<sub>R</sub> IN (BNC)**

When the EXT SYNC button on the front panel is not pressed (the indicator lights in green), the monitor operates on the sync signal from the G/Y signal.

#### **To monitor the RGB signal**

Connect to the analog RGB signal outputs of a video camera, etc.

#### **To monitor the component signal**

Connect to the component signal outputs of a Sony Betacam video camera, etc.

#### **G/Y, B/P<sub>B</sub>, R/P<sub>R</sub> OUT (BNC)**

Loop-through outputs of the G/Y, B/P<sub>B</sub>, R/P<sub>R</sub> IN connectors.

When the cables are connected to these connectors, the 75-ohm termination of the inputs is automatically released, and the signal inputs to G/Y, B/P<sub>B</sub>, R/P<sub>R</sub> IN connectors are output from these connectors.

#### **To output the RGB signal**

Connect to the analog RGB signal inputs of a video printer or another monitor.

#### **To output the component signal**

Connect to the component signal inputs of a Betacam video recorder, etc.

#### **AUDIO IN (phono jack)**

Connect to the audio output of video equipment when the analog RGB or component signal is input.

#### **AUDIO OUT (phono jack)**

Loop-through output of the AUDIO IN connector.

## Location and Function of Parts and Controls

---

### ⑥ EXT SYNC (external sync) connectors

Press the EXT SYNC button on the front panel (the indicator lights in amber) to use the sync signal through this connector.

#### IN (BNC)

When this monitor operates on an external sync signal, connect the reference signal from a sync generator to this connector.

#### OUT (BNC)

Loop-through output of the IN connector. Connect to the external sync input of video equipment to be synchronized with this monitor.

When the cable is connected to this connector, the 75-ohm termination of the input is automatically released, and the signal input to the IN connector is output from this connector.

### ⑦ PARALLEL REMOTE terminal (modular connector)

Form a parallel switch and controls the monitor externally.

*For details on the pin assignment and factory setting function assigned to each pin, see page 25 (GB).*

### ⑧ OPTION AUDIO INPUT 1, 2 input connectors

If an option board has been installed in the option slot, input the audio into these connectors. Connect to the audio output of a VCR or to a microphone amplifier. You can connect up to 2 systems. To monitor the audio signals input from the OPTION AUDIO INPUT 1/2, press either the OPTION A or OPTION B buttons.

#### Note

If you use an optional board (e.g. BKM-150CP) with the audio capability, the audio input into this connector is ignored.

### ⑨ SERIAL REMOTE connector (D-sub 9 pins)

#### SERIAL REMOTE IN

Connect this connector to the Serial Remote Control connector on the BVM series unit.

You can control the functions except the menu in the control panel of the unit from the BVM.

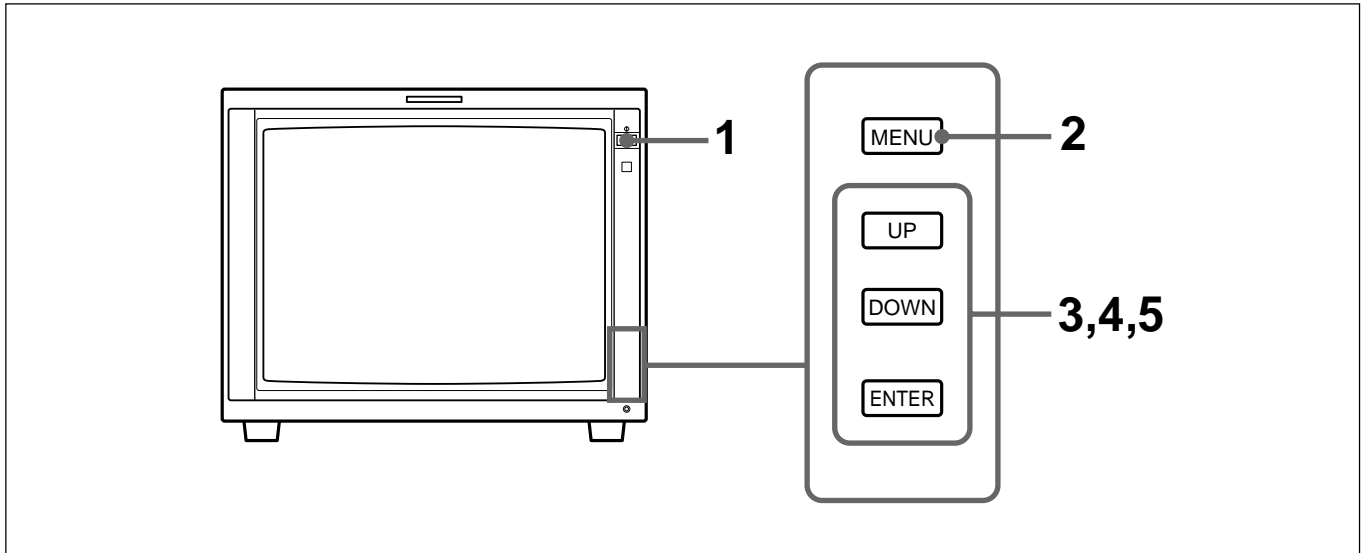
#### SERIAL REMOTE OUT

Loop-through output of the SERIAL REMOTE IN connector.

# Selecting the Menu Language

You can select one of six languages (English, German, French, Italian, Spanish, Japanese) for displaying the menu and other on-screen displays.

The factory setting is ENGLISH (English).

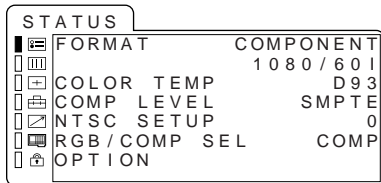


**1** Press the POWER switch to turn on the monitor.

**2** Press the MENU button.

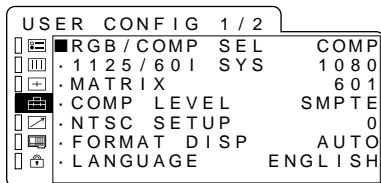
The menu appears.

The menu presently selected is shown as a yellow button.

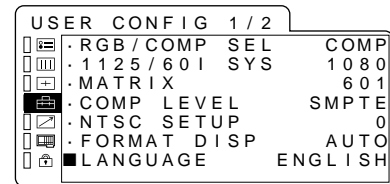


**3** Press the UP or DOWN button to select the USER CONFIG 1/2 (User Configuration 1/2) menu, then press the ENTER button.

The setting items (icons) in the selected menu are displayed in yellow.



**4** Press the UP or DOWN button to select "LANGUAGE," then press the ENTER button. The selected item is displayed in yellow.



**5** Press the UP or DOWN button to select a language, then press the ENTER button. The menu changes to the selected language.

## To clear the menu

Press the MENU button.

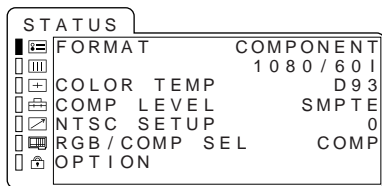
The menu disappears automatically if a button is not pressed for one minute.

# Using the Menu

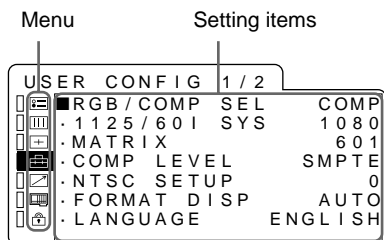
The monitor is equipped with an on-screen menu for making various adjustments and settings such as picture control, input setting, set setting change, etc. You can also change the menu language displayed in the on-screen menu.

To change the menu language, see “Selecting the Menu Language” on page 13 (GB).

- 1 Press the MENU button.  
The menu appears.  
The menu presently selected is shown as a yellow button.



- 2 Use the UP or DOWN button to select a menu, then press the ENTER button.  
The menu icon presently selected is shown in yellow and setting items are displayed.



- 3 Select an item.  
Use the UP or DOWN button to select the item, then press the ENTER button.  
The item to be changed is displayed in yellow.

## Note

If the menu consists of multiple pages, press UP/DOWN to go to the desired menu page.

- 4 Make the setting or adjustment on an item.

When changing the adjustment level:  
To increase the number, press the UP button.  
To decrease the number, press the DOWN button.  
Press the ENTER button to confirm the number, then restore the original screen.

When changing the setting:

Press the UP or DOWN button to change the setting.

Press the ENTER button to confirm the setting.

## Notes

- An item displayed in blue cannot be accessed. You can access the item if it is displayed in white.
- If the key protect has been turned on, all items are displayed in blue. To change any of the items, turn the key protect to OFF first.

For details on the key protect, see page 22 (GB).

## To clear the menu

Press the MENU button.

The menu disappears automatically if a button is not pressed for one minute.

## About the memory of the settings

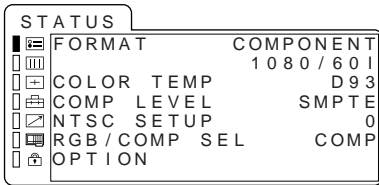
The settings are automatically stored in the monitor memory.

## To reset items that have been adjusted

Pressing the RESET button while you are adjusting the VOLUME, CONTRAST, PHASE, CHROMA or BRIGHT buttons on the control panels resets the level to the standard. Pressing the RESET button while you are adjusting any of the menu items resets the menu item to the previous setting.

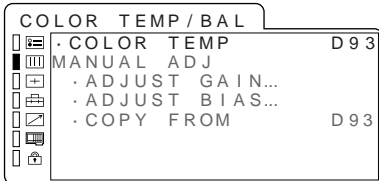
# Display List

## STATUS menu

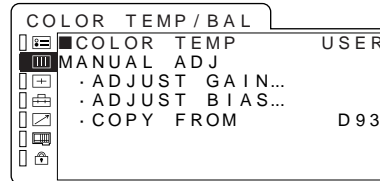


## COLOR TEMP/BAL menu

When D65 or D93 is selected. (In the illustration, D65 is selected.)

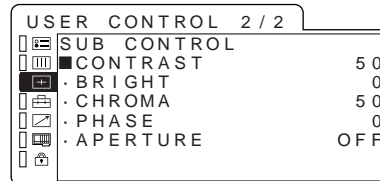
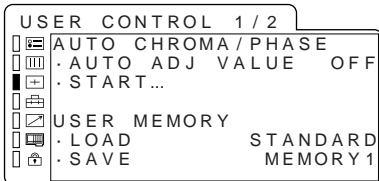


When USER is selected.



## USER CONTROL 1/2, 2/2 menu

(NTSC)



# Display List

---

## USER CONFIG 1/2, 2/2 menu

(USER CONFIG 1/2 menu)

USER CONFIG 1 / 2		
	. RGB / COMP SEL	COMP
	. 1125 / 601 SYS	1080
	. MATRIX	601
	. COMP LEVEL	SMPTE
	. NTSC SETUP	0
	. FORMAT DISP	AUTO
	. LANGUAGE	ENGLISH

(USER CONFIG 2/2 menu)

USER CONFIG 2 / 2		
	. CAPTION	OFF
	. DEGAUSS DELAY	0
	. MARKER PHASE	0
	. MARKER WIDTH	0

## REMOTE 1/2 PARALLEL menu, 2/2 SERIAL menu

(REMOTE 1/2 PARALLEL menu)

REMOTE 1 / 2 PARALLEL		
	. 1 PIN	LINE A
	. 2 PIN	LINE B
	. 3 PIN	TALLY R
	. 4 PIN	TALLY G
	. 6 PIN	EXT SYNC
	. 7 PIN	UNDERSCAN
	. 8 PIN	16 : 9

(REMOTE 2/2 SERIAL menu)

REMOTE 2 / 2 SERIAL		
	. SINGLE ADDRESS	0
	. GROUP ADDRESS	0
	. CH (1-4) CONFIG	CH1
	. INPUT	LINE A
	. ASPECT	4 : 3
	. SCAN SIZE	NORMAL

## OPTION CONFIG menu

For details on the OPTION CONFIG menu screens, see page 21 (GB).

## KEY PROTECT menu

KEY PROTECT		
	. KEY PROTECT	OFF

## STATUS Menu

The STATUS menu is used to display the current status of the monitor. The following items are displayed:

- Signal format
- Color temperature
- Component level
- NTSC setup
- RGB/COMP select
- Option

## COLOR TEMP/BAL Menu

The COLOR TEMP/BAL menu is used for adjusting the picture white balance.

You need to use the measurement instrument to adjust the white balance.

---

### COLOR TEMP

Select the color temperature from among D65, D93 and USER setting.

---

### MANUAL ADJ

If you set the [COLOR TEMP] to USER setting, the item displayed is changed from blue to white, which means you can adjust the color temperature.

---

### ADJUST GAIN...

Adjust the color balance (GAIN).  
Select [ADJUST GAIN...]. The [ADJUST GAIN...] screen appears. Adjust the gain by pressing the UP or DOWN button.

---

### ADJUST BIAS...

Adjust the color balance (BIAS).  
Select [ADJUST BIAS...]. The [ADJUST BIAS...] screen appears. Adjust the bias by pressing the UP or DOWN button.

---

### COPY FROM

If you select D65 or D93 with the UP or DOWN button, the white balance data for the selected color temperature will be copied in the user setting.

# USER CONTROL 1/2, 2/2 Menu

The USER CONTROL 1/2, 2/2 menu is used for adjusting the picture.

Items that cannot be adjusted depending on the input signal are displayed in blue.

---

## AUTO CHROMA/PHASE

Adjusts color intensity (CHROMA) and tones (PHASE).

---

## AUTO ADJ VALUE

Selects ON or OFF of the Auto adjustment. When set to OFF, this parameter is reset to the factory setting. When set to ON the automatically adjusted value is enabled.

---

## START...

Display the color bar signals (Full/SMPTE/EIA/HD) on the screen and press ENTER. The AUTO ADJUSTMENT screen starts. Exit from the AUTO ADJUSTMENT screen using the MENU button after finishing adjustment. When the adjustment is done correctly, the AUTO ADJ VALUE is automatically enabled.

### Note

If you have selected the full color bars, enter eight color bars.

---

## USER MEMORY

### SAVE

Saves the current VOLUME, CONTRAST, PHASE, CHROMA or BRIGHT settings on the control panels. You can select MEMORY1 or MEMORY2 area to save the data.

### LOAD

Loads the VOLUME, CONTRAST, PHASE, CHROMA or BRIGHT setting of the control panels from the setting saved in a memory described above. If you select Standard, the settings are reset to the standards.

---

## SUB CONTROL

You can finely adjust the adjustment range of buttons on the right-side of the front panel; CONTRAST, PHASE, CHROMA and BRIGHT buttons.

### CONTRAST

Adjusts the picture contrast. You can adjust the contrast from 0 to 100.

### BRIGHT

Adjusts the picture brightness. You can adjust the brightness from -50 to +50.

### CHROMA

Adjusts color intensity. The higher the setting, the greater the intensity. The lower the setting, the lower the intensity. You can adjust the color intensity from 0 to 100.

### PHASE

Adjusts color tones. The higher the setting, the complexion becomes greenish. The lower the setting, the picture becomes purplish. You can adjust the color tones from -50 to +50.

### APERTURE

Adjusts the picture sharpness. The higher the setting, the sharper the picture. You can adjust the color sharpness from OFF to 100.



# USER CONFIG 1/2, 2/2 Menu

You can select a language, RGB and component.  
The settings in parentheses [ ] are factory settings.

---

## RGB/COMP SEL

To monitor the signal fed through the RGB/  
COMPONENT connectors, set the RGB or COMP  
(component) signal in this menu. Press the UP or  
DOWN button to select the RGB or COMP signal.  
[COMP]

---

## 1125/60I SYS

Select the effective scanning lines for the 1125/60I  
signal input. Select 1080 or 1035 of the scanning lines.  
If the HD SDI is input, the system automatically  
selects the scanning line type.  
[1080]

---

## MATRIX

Applied to normal image signal, 15K or 31K  
component signals.  
Press the UP or DOWN button to select 709 or 601.  
[601]

---

## COMP LEVEL

Select the component level from among three modes.  
**N10/SMPTE** for 100/0/100/0 signal  
**BETA 7.5** for 100/7.5/75/7.5 signal  
**BETA 0** for 100/0/75/0 signal  
[SMPTE]

---

## NTSC SETUP

Select the NTSC setup level from two modes.  
The 7.5 setup level is mainly used in North America.  
The 0 setup level is mainly used in Japan.  
[0]

---

## FORMAT DISP

Select the display mode of the signal format from  
among ON, OFF and AUTO.  
[AUTO]

---

## LANGUAGE

You can select the menu or message language from  
among six languages (Japanese, English, German,  
French, Italian, Spanish).  
Select a language by pressing the UP or DOWN  
button, then press the ENTER button. The selected  
language is displayed.  
[ENGLISH]

---

## CAPTION

Select the caption display mode from among the  
followings:  
OFF, CAPTION 1, CAPTION 2, TEXT 1 and TEXT 2.  
[OFF]

---

## DEGAUSS DELAY

Set the delay time of auto degaussing to start working  
after the power is turned on. The delay time can be set  
within 0 to 99 seconds.  
[0]

---

## LANDING

This menu is provided only for PVM-D20L5J.  
If the color is not uniform even after you press the  
DEGAUSS button, you can adjust the landing so as to  
obtain color uniformity on this screen. [50]  
The following two methods are available to adjust the  
landing.

### When the signals of the horizontal lines are input and displayed:

Press the UP or DOWN button until the lines are  
displayed on the screen as horizontally as possible.  
The horizontal lines can be adjusted within 0 to 100.

### When the signals of the white color are input and displayed:

Press the UP or DOWN button until the white color on  
the screen become as uniform as possible. The level of  
the white color signals can be adjusted within 0 to 100.

---

## MARKER PHASE

You can adjust the 4:3 marker position within -10 to  
+10.  
[0]

---

## MARKER WIDTH

You can adjust the 4:3 marker width within -10 to  
+10.  
[0]

# REMOTE 1/2 PARALLEL Menu

Select the PARALLEL REMOTE connector pins for which you want to change the function.

You can assign various functions to 1 to 4 pins and 6 to 8 pins. The following lists the functions you can assign to the pins.

- -- (“--”: No function is assigned.)
- LINE A
- LINE B
- RGB/COMP
- OPTION A
- OPTION B
- TALLY RED
- TALLY GREEN
- UNDERSCAN
- 16:9
- EXT SYNC
- H/V DELAY
- BLUE ONLY
- MONO
- 4:3 MARKER
- DEGAUSS

### Note

If you use the PARALLEL REMOTE function, you need to connect cables. For more details, see page 25 (GB).

# REMOTE 2/2 SERIAL Menu

When you control this unit by using the serial remote mode from the BVM series unit, set the monitor single address and group address, or the channel number you want to assign in this menu.

## SINGLE ADDRESS

The following lists the functions that can be performed by a serial remote command from a BVM series unit:

- CONTRAST adjustment
- BRIGHT adjustment
- CHROMA adjustment
- PHASE adjustment
- Numeric keypad 1 button
- Numeric keypad 2 button
- Numeric keypad 3 button
- Numeric keypad 4 button
- Underscan button
- Horizontal delay button\*
- Vertical delay button\*
- Monochrome button
- Aperture button
- 16:9 button
- SYNC button
- Blue only button
- Safe area button
- Degauss button
- \* The system of this unit functions in the H/V DELAY mode.

## GROUP ADDRESS

Set the monitor group address number. You can set within 0 to 99.

## CH(1-4) CONFIG

Set the channel numbers (1 to 4) that have been assigned to the direct keys in the BVM series unit. Select from among CH1, CH2, CH3 and CH4. You can set the channel for INPUT, ASPECT and SCAN SIZE.

### INPUT

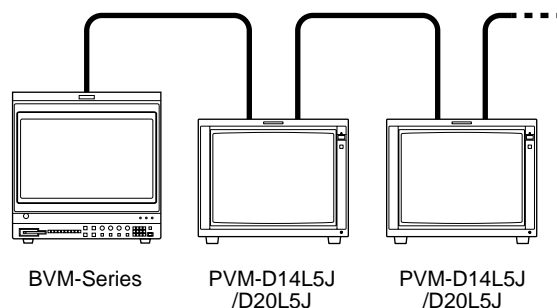
Sets the input system to the selected channels. Select from among LINE A, LINE B, RGB/COMP, OPTION A and OPTION B.

### ASPECT

Sets the aspect ratio of the picture. Select 16:9 or 4:3.

### SCAN SIZE

Sets the size of a picture which is displayed by scanning the input signal. Select UNDER or NORMAL.



Serial Remote Control Configuration Example

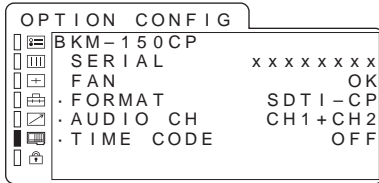
### Note

If you perform a single control multiple times continuously in the serial mode, the remote state may be disabled. In this case, execute the same control command several times until the remote state is recovered.

# OPTION CONFIG Menu

Sets the option boards installed in the rear. Depending on the installed board, the displayed screen may differ. If no board is installed, the item settings are not displayed. After assigning the input signal, adjust the monitor's AUTO CHROMA/PHASE.

## When installing the optional board BKM-150CP:



### FORMAT

Sets the signal type.  
Select SDTI-CP or SDI.

### AUDIO

Selects an audio channel.

#### D1-SDI:

Select from among CH1+CH2 through CH15+CH16, or CH1 through CH16.

#### SDTI-CP:

Select from among CH1+CH2 through CH7+CH8, or CH1 through CH8.

The audio signal input to the OPTION AUDIO INPUT 1/2 jack is ignored.

### TIME CODE

Selects the time code display.

#### D1-SDI:

Select VITC, RP188 or OFF.

#### SDTI-CP:

Select VITC, CP-TC1, CP-TC2, ES-TC1, ES-TC2 or OFF.

The following lists the abbreviations in the menu and their full names:

CP-TC1: SMPTE 331M System Item USER DATE/TIME STAMP

CP-TC2: SMPTE331M System Item CREATION DATE/TIME STAMP

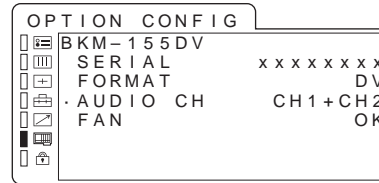
ES-TC1: SMPTE 328M MPEG ES Editing Information TIME CODE1

ES-TC2: SMPTE 328M MPEG ES Editing Information TIME CODE2

PR188: SMPTE RP188 Time Code

VITC: SMPTE 12M VITC, SMPTE 266M D-VITC

## When installing the optional board BKM-155DV:



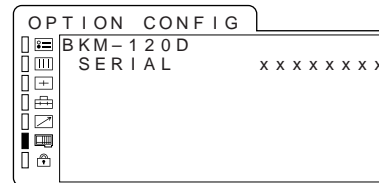
### AUDIO

Selects an audio channel.

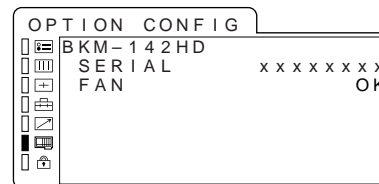
Select from among CH1+CH2, CH3+CH4, CH1/3, CH2/4, CH1/3+CH2/4, or CH1 through CH4.

The audio signal input to the OPTION AUDIO INPUT 1/2 jack is ignored.

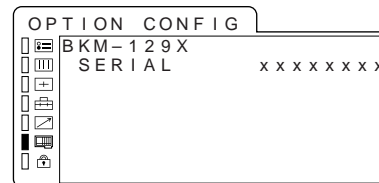
## When installing the optional board BKM-120D:



## When installing the optional board BKM-142HD:



## When installing the optional board BKM-129X:



If the cooling fan in the BKM-142HD, BKM-150CP or BKM-155DV is stopped, the screen shows the following message in red "BKM-xxxxx FAN ERROR". In this case, you cannot select Option A or Option B.

## KEY PROTECT Menu

You can lock the settings so that they cannot be changed by an unauthorized user.

Select OFF or ON.

If you set ON, all items are displayed in blue, indicating the items are locked.

## Troubleshooting

This section may help you isolate the cause of a problem and as a result, eliminate the need to contact technical support.

- **The display is colored in green or purple.** → Select the correct input by pressing one of the buttons related to input.
- **The unit cannot be operated.** → The key protection function works. Set the KEY PROTECT setting to OFF in the KEY PROTECT menu.
- **The BKM-142HD, BKM-150CP or BKM-155DV has been installed. The error message “BKM-xxxxx FAN ERROR” is displayed and you cannot select Option A or Option B.** → Repair the BKM-xxxxx.

# Specifications

## General

### System

System	Total lines per frame	Active lines per frame	Frame rate (Hz)	Scanning format	Aspect ratio	Standard
575/50I (PAL)	625	575	25	2:1 Interlace	16:9/4:3	ITU 601
480/60I (NTSC)	525	483	30	2:1 Interlace	16:9/4:3	ITU 601
576/50P	625	576	50	Progressive	16:9/4:3	—
480/60P	525	483	60	Progressive	16:9/4:3	SMPTE 293M
1080/50I	1125	1080	25	2:1 Interlace	16:9	SMPTE 294M
1035/60I	1125	1035	30	2:1 Interlace	16:9	BTA S-001B
1080/60I	1125	1080	30	2:1 Interlace	16:9	SMPTE 274M/BTA S-001B
720/60P	750	720	60	Progressive	16:9	SMPTE 296M

### PVM-D14L5J

**CRT:** HR Trinitron, SMPTE-C standard luminescent material

**Power:** AC100 to 240V, 50/60Hz

**Power consumption:**  
Maximum 120W, 1.2 to 0.6A  
(when the optional BKM-150CP has been installed)  
Standard: 110W, 1.1 to 0.5A  
(Without optional board, 720/60P input)

#### Dimensions (max.):

Approx. 346 × 280 × 424mm  
(13 <sup>5</sup>/<sub>8</sub> × 11 <sup>1</sup>/<sub>8</sub> × 16 <sup>3</sup>/<sub>4</sub> inches)  
(w/h/d)

**Mass:** Approx. 17kg (37 lb 8 oz)

### PVM-D20L5J

**CRT:** HR Trinitron, SMPTE-C standard luminescent material

**Power:** AC100 to 240V, 50/60Hz

**Power consumption:**  
Maximum 140W, 1.4 to 0.7A  
(when the optional BKM-150CP has been installed)  
Standard: 130W, 1.3 to 0.6A  
(Without optional board, 720/60P input)

#### Dimensions (max.):

Approx. 452 × 414 × 500mm  
(17 <sup>7</sup>/<sub>8</sub> × 16 <sup>3</sup>/<sub>8</sub> × 19 <sup>3</sup>/<sub>4</sub> inches)  
(w/h/d)

**Mass:** Approx. 31kg (68 lb 5 oz)

## Input/output connectors

### Input

#### LINE A input connector

**Y/C input** 4-pin mini-DIN (1)  
See the pin assignment

#### VIDEO input

BNC type (1) 1Vp-p ± 6dB  
negative synchronization

#### AUDIO input

Pin jack (1) -5dBu 47 kΩ or higher

#### LINE B input connector

#### VIDEO input

BNC type (1) 1Vp-p ± 6dB  
negative synchronization

#### AUDIO input

Pin jack (1) -5dBu 47 kΩ or higher

#### RGB/Component input connector

BNC type (3)

**RGB input** 0.7Vp-p ± 6dB (Sync On Green,  
0.3Vp-p negative sync.)

#### Component input

0.7Vp-p ± 6dB (75% chrominance  
standard color bar signal)

#### AUDIO input

Pin jack (1) -5dBu 47 kΩ or higher

#### Externally synchronized input

BNC type (1) 0.3 to 8Vp-p  
± bipolarity ternary or negative  
polarity binary

# Specifications

---

Optional AUDIO input	Pin jack (2) -5dBu 47 k $\Omega$ or higher
Remote input	
Serial remote	D-Sub 9-pin (1)
Parallel remote	Modular connector 8-pin (1)
Output	
LINE A output connector	
Y/C output	4-pin mini-DIN (1) Loop-through, with 75 $\Omega$ automatic terminal function
VIDEO output	BNC type (1) Loop-through, with 75 $\Omega$ automatic terminal function
AUDIO output	Pin jack (1) Loop-through
LINE B output connector	
VIDEO output	BNC type (1) Loop-through, with 75 $\Omega$ automatic terminal function
AUDIO output	Pin jack (1) Loop-through
RGB/Component output connector	
BNC type (3) RGB/Component output	Loop-through, with 75 $\Omega$ automatic terminal function
AUDIO output	Pin jack (1) Loop-through
Externally synchronized output	
BNC type (1) Loop-through, with 75 $\Omega$ automatic terminal function	
Remote output	
Serial remote	D-Sub 9-pin (1) Loop-through
Built-in speaker output	0.8W (monaural)

---

## Video signal

Frequency response	575/50I, 480/60I component inputs 50 Hz to 10 MHz (0 dB/-3 dB) Models other than the above or RGB inputs 48 Hz to 24 MHz, (0 dB/ -3 dB)
Aperture compensation <sup>1)</sup>	OFF: 0 dB ON: 2 dB to 6 dB 575/50I, 480/60I inputs: 5 MHz Input other than the above: 16 MHz

---

## Picture performance

Normal scan	7% overscan of CRT effective screen area
Underscan	5% underscan of CRT effective screen area
Linearity	PVM-D14L5J H: 4% or less V: 4% or less PVM-D20L5J H: 5% or less V: 5% or less
Color temperature	D65, D93/USER (Adjustable color temperature: 5000K to 10000K)
Convergence error	PVM-D14L5J Center: 0.4mm ( <sup>1</sup> / <sub>32</sub> inch) or less Peripheral: 0.5mm ( <sup>1</sup> / <sub>32</sub> inch) or less PVM-D20L5J Center: 0.5mm ( <sup>1</sup> / <sub>32</sub> inch) or less Peripheral: 0.7mm ( <sup>1</sup> / <sub>32</sub> inch) or less

---

1) The aperture cannot be compensated for RGB input signals.

### Raster size stability

H: 1.0%

V: 1.0%

### Resolution (at screen center)

600 TV lines (16:9)

800 TV lines (4:3)

## Operating conditions

Temperature 0 °C to 35 °C (32 °F to 95 °F)

Humidity 30% to 85% (no condensation)

Pressure 700 hPa to 1060 hPa

## Storage and transport conditions

Temperature -10 °C to 40 °C (14 °F to 104 °F)

Humidity 0% to 90%

Pressure 700 hPa to 1060 hPa

## Accessories supplied

AC power cord (1)

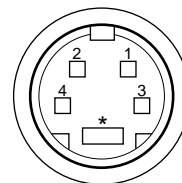
AC plug holder (1)

Operating Instructions (1)

Design and specifications are subject to change without notice.

## Pin assignment

Y/C IN connector (4-pin mini-DIN)

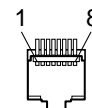


Pin No.	Signal	Description
1	Y-input	1 Vp-p, sync negative, 75 ohms
2	CHROMA-input Subcarrier-input	286 mVp-p (NTSC)/ 300 mVp-p (PAL) , burst Delay time between Y and C: within 0 ±100 nsec., 75 ohms
3	GND for Y-input	GND
4	GND for CHROMA-input	GND

PARALLEL REMOTE terminal

Modular connector

(8-pin)



Pin number	Functions
1	Set input signal LINE A
2	Set input signal LINE B
3	Set red tally lamp on or off
4	Set green tally lamp on or off
5	GND
6	Select EXT sync
7	Select underscan
8	Select aspect ratio 16:9

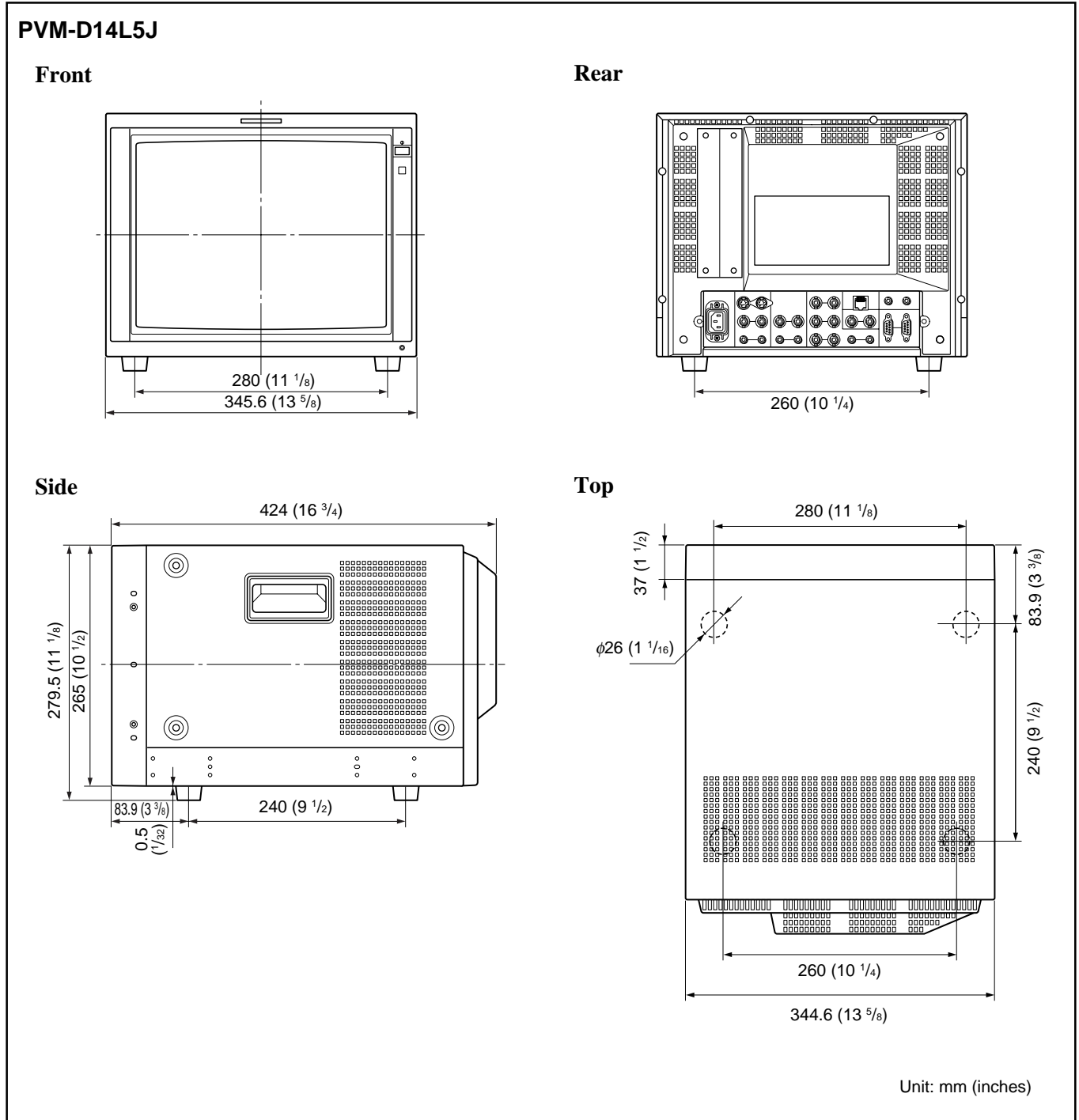
You can allocate functions to 1 to 4 pins or 1 to 8 pins in the Remote menu.

Wiring required to use the Remote Control

Connect the function you want to use in remote to the Ground (Pin 5).

# Specifications

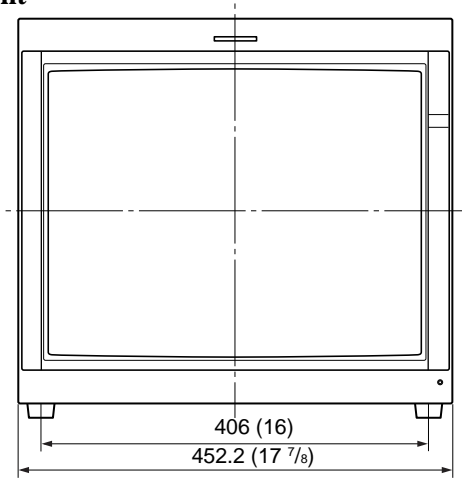
## Dimensions



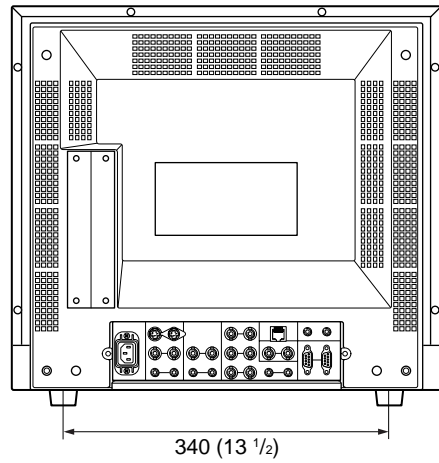


# PVM-D20L5J

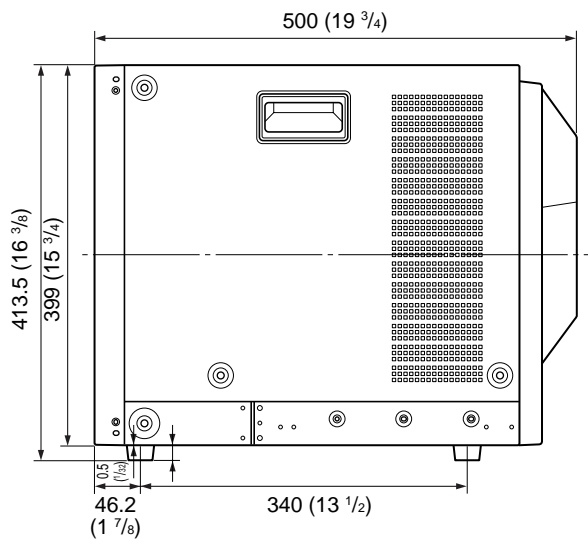
**Front**



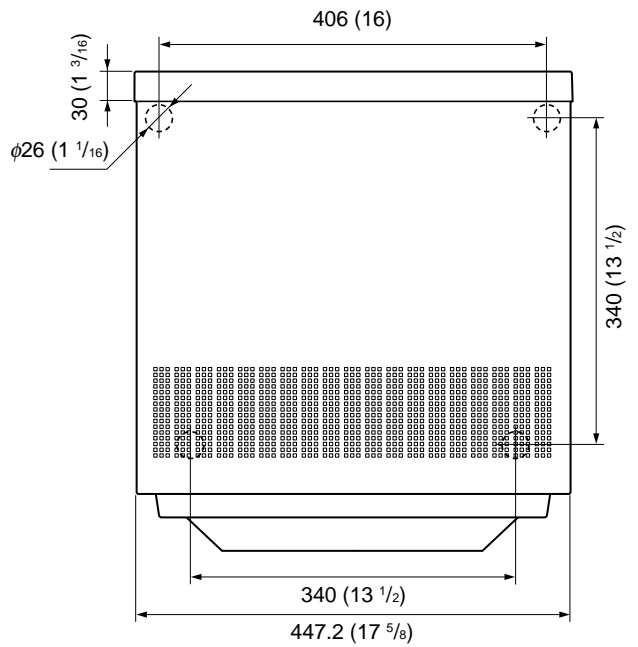
**Rear**



**Side**



**Top**



Unit: mm (inches)

## VORSICHT

Um Feuergefahr und die Gefahr eines elektrischen Schlages zu vermeiden, darf das Gerät weder Regen noch Feuchtigkeit ausgesetzt werden.

Im Inneren des Geräts liegt gefährliche Hochspannung an. Öffnen Sie niemals das Gehäuse, und überlassen Sie Wartungsarbeiten stets nur qualifiziertem Fachpersonal.

Sollten am Gerät Probleme auftreten oder Wartungsarbeiten erforderlich werden, wenden Sie sich an einen autorisierten Sony-Händler.

## ACHTUNG – bei Installation des Geräts in einem Gestell:

- a) **Erhöhte Umgebungstemperatur bei Betrieb**  
Wird das Gerät in einem geschlossenen Gestell oder einem Gestell mit mehreren anderen Geräten installiert, kann die Umgebungstemperatur um das Gestell höher sein als die normale Umgebungstemperatur im Raum. Achten Sie daher bitte besonders darauf, das Gerät in einer Umgebung zu installieren, in der die Temperatur nicht über die vom Hersteller angegebene Umgebungstemperatur von 0 bis +35 °C ansteigt.
- b) **Reduzierte Belüftung**  
Das Gerät muß so im Gestell installiert werden, daß eine Belüftung gewährleistet ist, die für den sicheren Betrieb des Geräts erforderlich ist.
- c) **Mechanische Belastung**  
Das Gerät muß so im Gestell installiert werden, daß nicht durch eine ungleichmäßige mechanische Belastung Unfallgefahr entsteht.
- d) **Überlastung der Stromkreise**  
Der Anschluß des Geräts an das Versorgungsnetz erfordert sorgfältige Planung. Bitte beachten Sie insbesondere die Auswirkungen, die eine Überlastung der Stromkreise im Hinblick auf den Überspannungsschutz und die physischen Komponenten des Versorgungsnetzes haben kann. Beachten Sie in diesem Zusammenhang unbedingt die Angaben auf dem Typenschild am Gerät.
- e) **Zuverlässige Erdung**  
Geräte, die in einem Gestell installiert werden, benötigen eine zuverlässige Erdung. Achten Sie insbesondere auf Anschlüsse an das Versorgungsnetz, die nicht direkt an einen Abzweigstromkreis, sondern indirekt, zum Beispiel über Steckerleisten, erfolgen.
- f) **Erforderliche Abstände**  
Halten Sie zur Ober- und Unterseite eines in einem Gestell installierten Geräts einen Abstand von 44 mm ein.

---

## Sicherheit

- Betreiben Sie das Gerät ausschließlich an einer im Abschnitt "Technische Daten" angegebenen Stromquelle.
- Das Typenschild mit Betriebsspannung, Leistungsaufnahme usw. befindet sich an der Geräterückseite.
- Sollten Fremdkörper oder Flüssigkeiten in das Gehäuse gelangen, trennen Sie das Gerät von der Netzsteckdose. Lassen Sie das Gerät von qualifiziertem Fachpersonal überprüfen, bevor Sie es wieder benutzen.
- Lassen Sie nichts auf das Netzkabel fallen und stellen Sie keine schweren Gegenstände darauf. Schalten Sie das Gerät sofort aus, wenn das Netzkabel beschädigt wurde. Es ist gefährlich, das Gerät mit einem beschädigten Netzkabel weiter zu betreiben.
- Wollen Sie das Gerät einige Tage oder länger nicht benutzen, ziehen Sie den Netzstecker aus der Steckdose.
- Ziehen Sie immer am Stecker, wenn Sie das Netzkabel lösen möchten, nie am Kabel selbst.
- Die Netzsteckdose muss sich in der Nähe des Geräts befinden und leicht zugänglich sein.

---

## Aufstellung

- Achten Sie auf ausreichende Luftzufuhr, damit sich im Gerät kein Wärmestau bildet. Stellen Sie das Gerät nicht auf Oberflächen wie Teppichen oder Decken oder in der Nähe von Materialien wie Gardinen und Wandbehängen auf, die die Lüftungsöffnungen blockieren könnten.
- Stellen Sie das Gerät nicht in der Nähe von Wärmequellen wie Heizkörpern oder Warmluftauslässen oder an Orten auf, an denen es direktem Sonnenlicht, außergewöhnlich viel Staub, mechanischen Vibrationen oder Stößen ausgesetzt ist.

---

## Reinigen der Oberfläche der Kathodenstrahlröhre

- Die Oberfläche der Kathodenstrahlröhre hat eine zusätzliche Beschichtung aus PET-Folie. Reinigen Sie die Oberfläche der Kathodenstrahlröhre folgendermaßen, um eine Beschädigung dieser Oberfläche zu vermeiden.
- Verwenden Sie zum Reinigen der Kathodenstrahlröhre ein weiches Tuch. Wenn die Kathodenstrahlröhre durch Fettspuren oder Fingerabdrücke verunreinigt ist, reinigen Sie sie mit einem weichen Tuch, das Sie leicht mit einer milden Reinigungslösung angefeuchtet haben.
- Verwenden Sie keine Scheuermittel, keine alkalischen Seifen und keine starken Lösungsmittel wie Alkohol, Verdünner oder Benzin, da diese die Oberfläche angreifen.
- Reiben Sie nicht mit einem harten Gegenstand über die Oberfläche der Kathodenstrahlröhre, und stoßen Sie nicht dagegen.

---

## Reinigung

Damit das Gerät immer wie neu aussieht, reinigen Sie es regelmäßig mit einer milden Reinigungslösung. Verwenden Sie keine Lösungsmittel wie Verdünner oder Benzin und keine Scheuermittel, da sie die Gehäuseoberfläche angreifen. Trennen Sie zur Sicherheit das Gerät vor dem Reinigen von der Stromversorgung.

---

## Verpacken

Werfen Sie den Karton und die Verpackungsmaterialien nicht weg. Sie sind ideal für den Transport des Geräts geeignet. Wenn Sie das Gerät transportieren müssen, verpacken Sie es wie auf dem Karton abgebildet.

Wenn Sie Fragen zu dem Gerät haben, wenden Sie sich bitte an einen autorisierten Sony-Händler.

<b>Achtung .....</b>	<b>3 (DE)</b>
<b>Merkmale und Funktionen .....</b>	<b>5 (DE)</b>
<b>Anschlüsse .....</b>	<b>7 (DE)</b>
So schließen Sie das Netzkabel an .....	7 (DE)
So schließen Sie ein Kabel an einen BNC-Anschluss an .....	7 (DE)
<b>Lage und Funktion der Teile und Bedienelemente .....</b>	<b>8 (DE)</b>
Bedienfelder .....	8 (DE)
Rückseite .....	10 (DE)
<b>Auswählen der Sprache für die Menüs .....</b>	<b>13 (DE)</b>
<b>Das Menüsystem .....</b>	<b>14 (DE)</b>
<b>Übersicht über die Menüoptionen .....</b>	<b>15 (DE)</b>
<b>Menü STATUS .....</b>	<b>17 (DE)</b>
<b>Menü FARBTEMP./BALANCE .....</b>	<b>17 (DE)</b>
<b>Menü BENUTZERSTRG 1/2, 2/2 .....</b>	<b>18 (DE)</b>
<b>Menü BENUTZERKONFIG. 1/2, 2/2 .....</b>	<b>19 (DE)</b>
<b>Menü FERN 1/2 PARALLEL .....</b>	<b>20 (DE)</b>
<b>Menü FERN 2/2 SERIELL .....</b>	<b>20 (DE)</b>
<b>Menü OPTIONSKONFIGURATION .....</b>	<b>21 (DE)</b>
<b>Menü TASTENSPERRE .....</b>	<b>22 (DE)</b>
<b>Störungsbehebung .....</b>	<b>22 (DE)</b>
<b>Technische Daten .....</b>	<b>23 (DE)</b>

Sofern nicht anders angegeben, beziehen Sie die Erläuterungen in dieser Anleitung auf die folgenden Modelle.

Wenn es zwischen den Modellen Unterschiede gibt, wird in dieser Anleitung ausdrücklich darauf hingewiesen.

- PVM-D14L5J (14-Zoll-Monitor)
- PVM-D20L5J (20-Zoll-Monitor)

Die Abbildungen zeigen den Videomonitor PVM-D14L5J.

# Merkmale und Funktionen

Der PVM-D14L5J/PVM-D20L5J ist ein Trinitron-Farbvideomonitor für den professionellen Gebrauch.

---

## Bild

### R-Trinitron<sup>1)</sup>-Bildröhre (High Resolution) für PVM-D14L5J und PVM-D20L5J

Die HR-Trinitron-Bildröhre ermöglicht ein hochauflösendes Bild. In der Bildmitte beträgt die Horizontalauflösung über 800 Fernsehzeilen.

### Kammfilter

Wenn NTSC-Videosignale eingespeist werden, wird ein Kammfilter aktiviert, um eine bessere Trennung der Y/C-Signale zu erzielen. Dies trägt zu einer geringeren Verschlechterung der Auflösung sowie zur Unterdrückung von Farbfeuern und Luminanzübersprechen bei.

### Strahlstrom-Rückführschaltung

Die integrierte Strahlstrom-Rückführschaltung gewährleistet einen stabilen Weißwert.

### Zwei Farbsysteme werden unterstützt

Mit diesem Monitor können NTSC- und PAL-Signale angezeigt werden. Das jeweils geeignete Farbsystem wird automatisch ausgewählt.

### Automatische Einstellung von Chroma/Phase

Chroma und Phase des Decoders lassen sich mittels einer entsprechenden Funktion automatisch einstellen.

### Modus "Nur Blau"

Im Modus "Nur Blau" wird eine scheinbar monochrome Anzeige erzielt, indem alle drei R/G/B-Kathoden mit einem Blausignal angesteuert werden. Dies vereinfacht die Einstellung von Farbsättigung und Phase sowie die Überprüfung von Videostöruschen.

---

## Eingänge

### Analoge RGB-/Farbdifferenzsignaleingänge

Über diese Anschlüsse können analoge RGB- bzw. Farbdifferenzsignale (Y, R-Y und B-Y) von Videogeräten eingespeist werden. Mit dem Eingangswählschalter RGB/COMP können Sie einen der beiden Signaltypen auswählen.

### Y/C-Eingänge (S-Eingang)

Über diese Anschlüsse kann ein in ein Luminanz- (Y) und ein Chrominanzsignal (C) getrenntes Videosignal eingespeist werden. Interferenzen zwischen den Signalen, wie sie bei einem FBAS-Signal auftreten können, werden so vermieden und es lässt sich eine höhere Bildqualität erzielen.

### Weitere Eingangsoptionen installierbar

Sie können den Monitor problemlos mit weiteren Eingangsoptionen ausrüsten, indem Sie im Erweiterungssteckplatz an der Rückseite einen Eingangsadapter (nicht mitgeliefert) installieren.

### Externer Synchronisationssignaleingang

Wenn der Wählschalter EXT SYNC eingeschaltet ist, kann der Monitor mit einem Synchronisationssignal von einem externen Synchronisationsgenerator betrieben werden.

### Automatischer Abschluss (nur Anschluss mit Markierung )

Der Eingang ist intern mit 75 Ohm abgeschlossen, sofern nichts an den Ausgang angeschlossen ist. Wenn Sie ein Kabel an den Ausgang anschließen, wird der interne Anschluss automatisch freigeschaltet und die am Eingang eingespeisten Signale werden über den Ausgang ausgegeben (Durchschleifverbindung).

---

## Funktionen

### Unterstützung für mehrere Formate

Der Monitor unterstützt die wichtigsten Formate (480I/480P/720P/1080I) für digitale Sendungen sowie die herkömmlichen Farbsysteme NTSC und PAL, also eine Vielzahl von Signalen mit einer Horizontalfrequenz zwischen 15 kHz und 45 kHz.

### Verkleinerungsmodus

Im Verkleinerungsmodus können auch solche Signale angezeigt werden, die eigentlich außerhalb des sichtbaren Bildbereichs liegen.

### Hinweis

Wenn sich der Monitor im Verkleinerungsmodus befindet, sind möglicherweise am oberen Bildschirmrand dunkle RGB-Abtastzeilen zu sehen. Diese werden durch ein internes Testsignal, nicht durch das Eingangssignal verursacht.

---

1) "Trinitron" ist ein eingetragenes Warenzeichen der Sony Corporation.

# Merkmale und Funktionen

---

## **Modus für horizontale/vertikale Verzögerung**

Im Modus für horizontale/vertikale Verzögerung können Sie das horizontale und vertikale Synchronisationssignal gleichzeitig prüfen.

## **Integrierter Untertitel-Decoder**

Wenn Bildsignale mit Untertitelsignalen eingespeist werden, werden die englischen Untertitel auf dem Bildschirm eingeblendet. Im Menü können Sie die Untertitel ein- und ausschalten sowie den Untertiteltyp wählen.

## **Automatisches/manuelles Entmagnetisieren**

Die Kathodenstrahlröhre wird automatisch entmagnetisiert, wenn das Gerät eingeschaltet wird. Sie können die Kathodenstrahlröhre auch manuell entmagnetisieren. Drücken Sie dazu die Taste DEGAUSS.

Im Menü können Sie einstellen, wie viele Sekunden nach dem Einschalten des Geräts die automatische Entmagnetisierung erfolgen soll.

### **Hinweis**

Die Taste DEGAUSS ist deaktiviert, solange das Bildschirmmenü angezeigt wird.

Wenn Sie die Kathodenstrahlröhre manuell entmagnetisieren wollen, blenden Sie zunächst mit der Taste MENU das Menü aus.

## **Bildschirmmenüs**

Über die Bildschirmmenüs können Sie die Farbtemperatur, CHROMA und weitere Optionen einstellen.

## **Halterung für Montage im 19-Zoll-EIA-Gestell erhältlich**

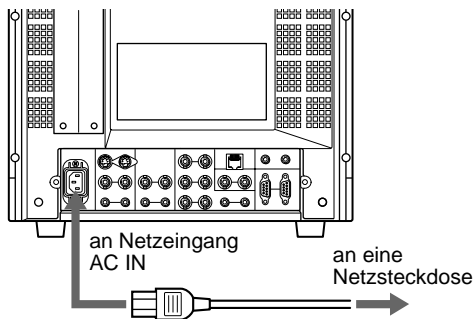
Mit der gesondert erhältlichen Montagehalterung MB-521 (für PVM-D14L5J) oder der gesondert erhältlichen Gleitschiene SLR-104 (für PVM-D20L5J) können Sie den Monitor in einem 19-Zoll-EIA-Standardgestell montieren.

*Einzelheiten zur Gestellmontage des Monitors finden Sie in der Bedienungsanleitung zur Montagehalterung bzw. Gleitschiene.*

# Anschlüsse

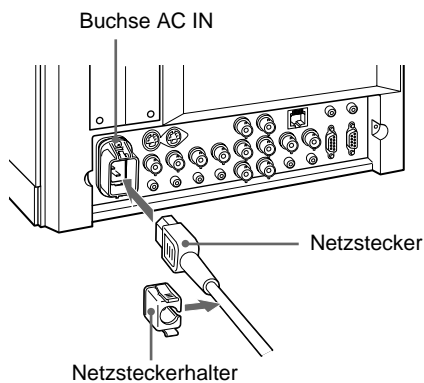
## So schließen Sie das Netzkabel an

Schließen Sie das Netzkabel (mitgeliefert) an die Netzeingangsbuchse AC IN an der Rückseite des Geräts und an eine Netzsteckdose an.

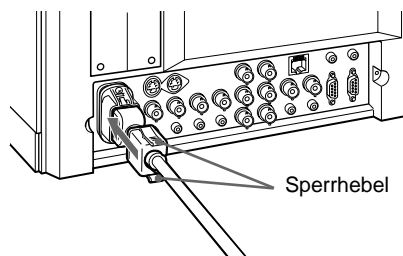


## So sichern Sie das Netzkabel mit dem Netzsteckerhalter

- 1 Schließen Sie das Netzkabel an die Buchse AC IN an. Bringen Sie dann den Netzsteckerhalter (mitgeliefert) am Netzkabel an.



- 2 Schieben Sie den Netzsteckerhalter über das Kabel, bis er einrastet.

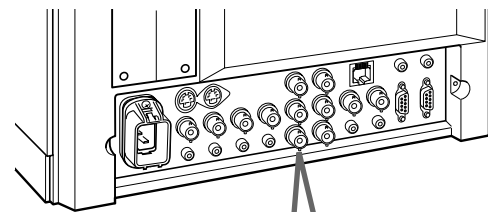


## So nehmen Sie das Netzkabel ab

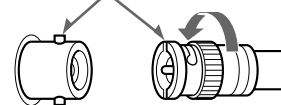
Halten Sie die Sperrhebel gedrückt und ziehen Sie den Netzsteckerhalter heraus.

## So schließen Sie ein Kabel an einen BNC-Anschluss an

Schließen Sie wie unten abgebildet ein Koaxialkabel mit BNC-Steckern an die BNC-Anschlüsse an der Rückseite an.

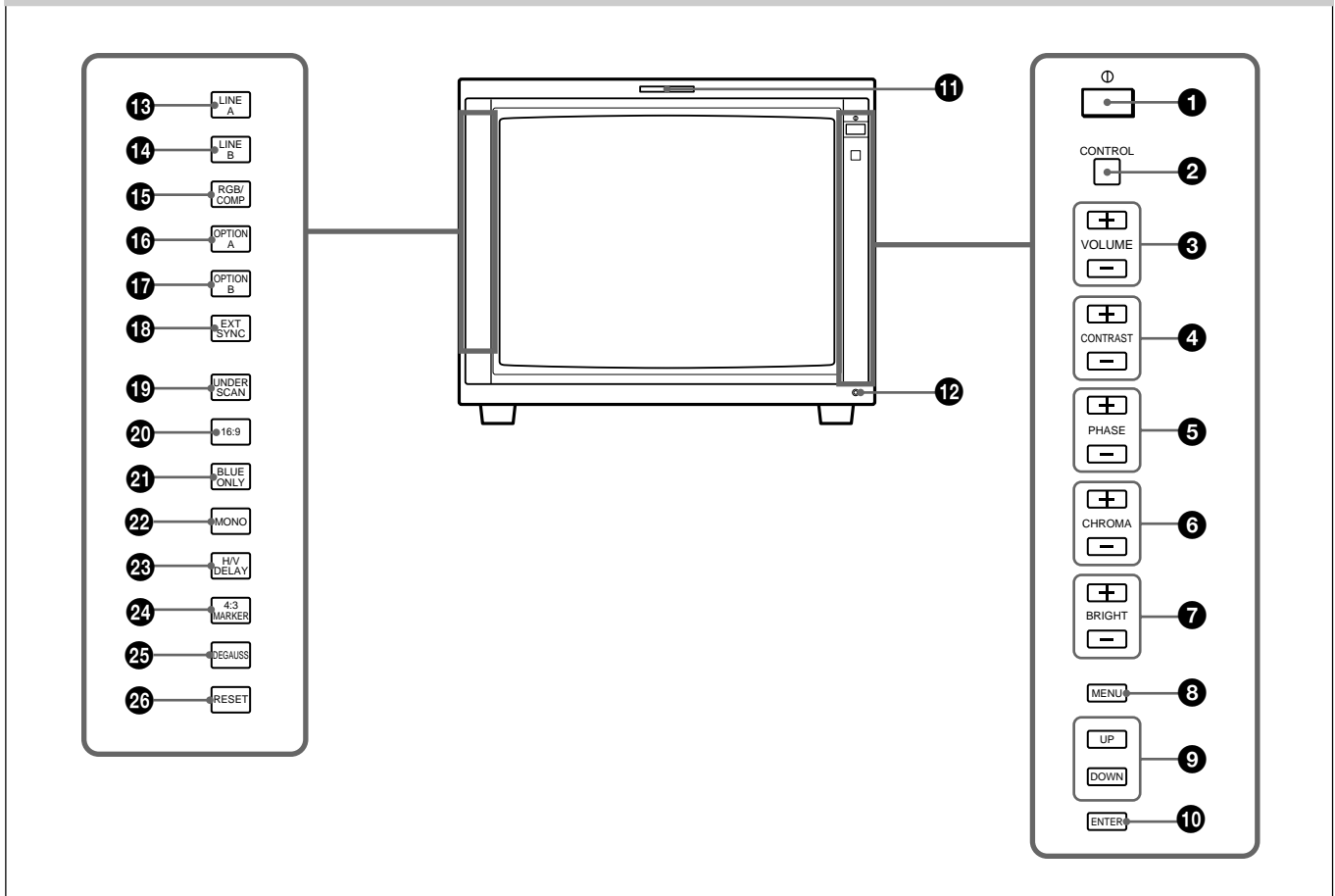


Achten Sie beim Anschließen eines BNC-Steckers darauf, die Aussparung und den Stift aneinander auszurichten, und drehen Sie dann den BNC-Stecker im Uhrzeigersinn, um die Verbindung zu sichern.



# Lage und Funktion der Teile und Bedienelemente

## Bedienfelder



### 1 Netzschalter POWER (Ⓢ)

Mit dem Netzschalter schalten Sie den Monitor ein. Die Funktionstasten an beiden Seiten des Geräts werden eingeschaltet. Zum Ausschalten des Monitors drücken Sie den Schalter erneut.

### 2 Taste CONTROL

Mit dieser Taste können Sie die Funktionstasten einschalten und aktivieren. Drücken Sie die Taste erneut, wenn Sie die Funktionstasten ausschalten und deaktivieren wollen.

Mit den Tasten UP und DOWN können Sie die Helligkeit der Funktionstasten einstellen.

### 3 Lautstärketaste VOLUME

Mit der Taste + erhöhen Sie die Lautstärke, mit der Taste – verringern Sie sie.

### 4 Steuertaste CONTRAST

Mit der Taste + verstärken Sie den Kontrast, mit der Taste – schwächen Sie ihn ab.

### 5 Steuertaste PHASE

Mit der Taste + verstärken Sie die Grüntöne, mit der Taste – die Rottöne.

### 6 Steuertaste CHROMA

Mit der Taste + erhöhen Sie die Farbintensität, mit der Taste – verringern Sie sie.

### 7 Steuertaste BRIGHT (Helligkeit)

Mit der Taste + erhöhen Sie die Helligkeit, mit der Taste – verringern Sie sie.

### Hinweise

- Die Steuertasten PHASE (5) und CHROMA (6) haben keinen Einfluss auf die Anzeige von RGB-Signalen.
- Die Steuertaste PHASE (5) hat keinen Einfluss auf die Anzeige von PAL-Signalen und Farbdifferenzsignalen.

### 8 Taste MENU

Mit dieser Taste rufen Sie das Hauptmenü auf bzw. blenden es aus.



## **9 Taste UP**

### **Taste DOWN**

Diese Taste dienen zum Auswählen von Optionen im Menü bzw. zum Einstellen von Werten. Wenn das Menü nicht angezeigt wird, können Sie mit diesen Tasten die Helligkeit der Bedienfelder einstellen. Zum Einstellen der Helligkeit stehen 5 Helligkeitswerte zur Verfügung.

## **10 Taste ENTER**

Diese Taste dient zum Bestätigen der ausgewählten Option im Menü.

## **11 Kontrollanzeige**

Diese Anzeige leuchtet, wenn eine an den Monitor angeschlossene Videokamera ausgewählt ist. Sie zeigt an, dass das Bild aufgezeichnet wird.

*Einzelheiten zum Aktivieren der Kontrollanzeige finden Sie auf Seite 25 (DE).*

## **12 Netzanzeige POWER**

Wenn Sie den Schalter POWER drücken, leuchtet diese Anzeige grün.

## **13 Auswahltaste LINE A (INPUT A)**

Drücken Sie diese Taste, wenn das Signal von den LINE A-Anschlüssen angezeigt werden soll.

## **14 Auswahltaste LINE B (INPUT B)**

Drücken Sie diese Taste, wenn das Signal von den LINE B-Anschlüssen angezeigt werden soll.

## **15 Auswahltaste RGB/COMP**

Drücken Sie diese Taste, wenn das Signal von den RGB/COMPONENT-Anschlüssen angezeigt werden soll.

Sie können im Menü einstellen, ob das RGB- oder das Farbdifferenzsignal angezeigt werden soll.

Einzelheiten dazu finden Sie auf Seite 19 (DE).

## **16 Taste OPTION A**

Diese Taste wird verwendet, wenn im Erweiterungssteckplatz an der Rückseite des Monitors eine Zusatzkarte installiert ist. Drücken Sie diese Taste, wenn die Bild-/Audiosignale von Eingang 1 der Zusatzkarte ausgegeben werden sollen.

## **17 Taste OPTION B**

Diese Taste wird verwendet, wenn im Erweiterungssteckplatz an der Rückseite des Monitors eine Zusatzkarte installiert ist. Drücken Sie diese Taste, wenn die Bild-/Audiosignale von Eingang 2 der

Zusatzkarte ausgegeben werden sollen.

Diese Taste ist deaktiviert, wenn die BKM-129X oder die BKM-155DV verwendet wird.

## **18 Taste EXT SYNC (externe Synchronisation)**

Drücken Sie diese Taste, wenn Sie den Monitor mit einem externen Synchronisationssignal vom Anschluss EXT SYNC IN betreiben wollen.

## **19 Taste UNDER SCAN**

Drücken Sie diese Taste, so dass sie aufleuchtet, um in den Verkleinerungsmodus zu schalten.

In diesem Modus wird die Anzeigegröße des Bildes um etwa 5 % verkleinert, so dass das gesamte Raster einschließlich aller vier Ecken zu sehen ist.

## **20 Taste 16:9**

Drücken Sie diese Taste, wenn das Signal für ein 16:9-Bild angezeigt werden soll.

### **Hinweis**

Das Bildseitenverhältnis wird fest auf 16:9 eingestellt, wenn ein anderes als ein Signal im Format 4:3 eingespeist wird.

## **21 Taste BLUE ONLY**

Drücken Sie diese Taste, um das Rot- und Grünsignal zu unterdrücken. Nur das Blausignal wird als scheinbar monochromes Bild auf dem Bildschirm angezeigt. Dies vereinfacht die Einstellung von Chroma und Phase sowie die Überprüfung von Videostörrauschen.

## **22 Taste MONO**

Drücken Sie diese Taste, um ein Monochrombild anzuzeigen. Wenn Sie die Taste erneut drücken, wechselt der Monitor automatisch wieder in den Farbmodus.

## **23 Taste H/V DELAY**

Drücken Sie diese Taste, wenn Sie das horizontale und vertikale Synchronisationssignal gleichzeitig prüfen wollen.

Das horizontale Synchronisationssignal wird im linken Viertel des Bildschirms, das vertikale Synchronisationssignal fast in der Mitte des Bildschirms angezeigt.

## Lage und Funktion der Teile und Bedienelemente

### 24 Taste 4:3 MARKER

Wenn Sie diese Taste drücken, wird eine 4:3-Markierung angezeigt, so dass Sie den Anzeigebereich des 4:3-Formats prüfen können.

#### Hinweis

Die 4:3-Markierung wird nicht angezeigt, wenn Signale mit einem Bildseitenverhältnis von 4:3 angezeigt werden oder sich der Monitor im Modus für horizontale/vertikale Verzögerung befindet.

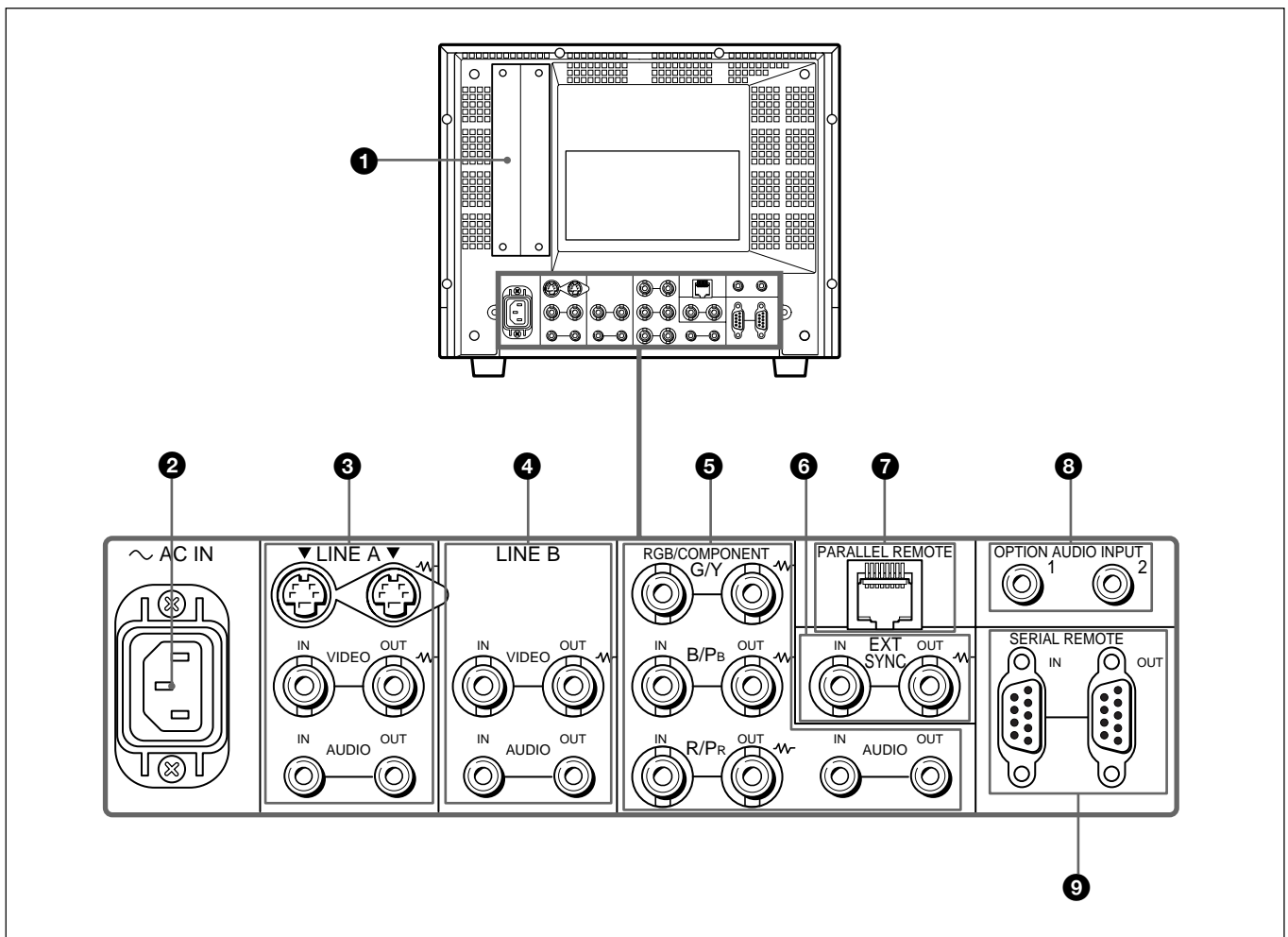
### 25 Taste DEGAUSS

Drücken Sie kurz diese Taste. Der Bildschirm wird entmagnetisiert. Warten Sie mindestens 10 Minuten, bevor Sie diese Taste nochmals drücken.

### 26 Taste RESET

Wenn Sie diese Taste gedrückt halten, während Sie die Menüeinstellung ändern, wird das Menü auf die vorherige Einstellung zurückgesetzt. Wenn Sie diese Taste gedrückt halten, während Sie LAUTSTÄRKE, PHASE, CHROMA oder HELLIGKEIT ändern, wird die entsprechende Einstellung auf den Standardwert zurückgesetzt.

## Rückseite



### 1 Erweiterungssteckplatz

In diesem Steckplatz können Sie eine Zusatzkarte installieren. Wenn Sie diesen Steckplatz verwenden wollen, müssen Sie zunächst die Schrauben lösen und die Steckplatzabdeckung entfernen.

*Sie können hier nur 1 Zusatzkarte installieren. Einzelheiten zum Installieren einer Karte finden Sie in der mit der Zusatzkarte gelieferten Bedienungsanleitung.*

### 2 Netzbuchse AC IN

Schließen Sie das mitgelieferte Netzkabel an diese Buchse und an eine Netzsteckdose an.

### ③ LINE A-Anschlüsse

Line-Eingänge für die getrennten Y/C-Ausgangssignale eines Videorecorders, FBAS-Signale und Audiosignale sowie entsprechende Durchschleifausgänge.

Wenn das über diese Anschlüsse eingespeiste Signal angezeigt werden soll, drücken Sie die Auswahl-taste LINE A an der Vorderseite.

Wenn Sie am Y/C- und am Videoeingang gleichzeitig ein Signal einspeisen, hat der Y/C-Eingang Priorität.

#### **Y/C IN (4-polig, Mini-DIN)**

Verbinden Sie diesen Anschluss mit dem Ausgang für getrennte Y/C-Signale eines Videorecorders, einer Videokamera oder eines anderen Videogeräts.

#### **Y/C OUT (4-polig, Mini-DIN)**

Durchschleifausgang des Anschlusses Y/C IN. Verbinden Sie diesen Anschluss mit dem Eingang für getrennte Y/C-Signale eines Videorecorders oder eines anderen Monitors.

Wenn Sie hier ein Kabel anschließen, wird der 75-Ohm-Abschlusswiderstand des Eingangs automatisch freigeschaltet und das am Anschluss Y/C IN eingespeiste Signal wird über diesen Anschluss ausgegeben.

#### **VIDEO IN (BNC-Anschluss)**

Verbinden Sie diesen Anschluss mit dem Videoausgang eines Videogeräts, wie z. B. eines Videorecorders oder einer Farbvideokamera. Für eine Durchschleifverbindung schließen Sie hier den Videoausgang eines anderen Monitors an.

#### **VIDEO OUT (BNC-Anschluss)**

Durchschleifausgang des Anschlusses VIDEO IN. Verbinden Sie diesen Anschluss mit dem Videoeingang eines Videorecorders oder anderen Monitors.

Wenn Sie hier ein Kabel anschließen, wird der 75-Ohm-Abschlusswiderstand des Eingangs automatisch freigeschaltet und das am Anschluss VIDEO IN eingespeiste Signal wird über diesen Anschluss ausgegeben.

#### **AUDIO IN (Cinchkuchse)**

Verbinden Sie diesen Anschluss mit dem Audioausgang eines Videorecorders oder über einen geeigneten Mikrofonverstärker mit einem Mikrofon.

Für eine Durchschleifverbindung schließen Sie hier den Audioausgang eines anderen Monitors an.

#### **AUDIO OUT (Cinchkuchse)**

Durchschleifausgang des Anschlusses AUDIO IN. Verbinden Sie diesen Anschluss mit dem Audioeingang eines Videorecorders oder anderen Monitors.

### ④ LINE B-Anschlüsse

Line-Eingänge für FBAS-Signale und Audiosignale sowie entsprechende Durchschleifausgänge.

Wenn das über diese Anschlüsse eingespeiste Signal angezeigt werden soll, drücken Sie die Auswahl-taste LINE B an der Vorderseite.

#### **VIDEO IN (BNC-Anschluss)**

Verbinden Sie diesen Anschluss mit dem Videoausgang eines Videogeräts, wie z. B. eines Videorecorders oder einer Farbvideokamera. Für eine Durchschleifverbindung schließen Sie hier den Videoausgang eines anderen Monitors an.

#### **VIDEO OUT (BNC-Anschluss)**

Durchschleifausgang des Anschlusses VIDEO IN. Verbinden Sie diesen Anschluss mit dem Videoeingang eines Videorecorders oder anderen Monitors.

Wenn Sie hier ein Kabel anschließen, wird der 75-Ohm-Abschlusswiderstand des Eingangs automatisch freigeschaltet und das am Anschluss VIDEO IN eingespeiste Signal wird über diesen Anschluss ausgegeben.

#### **AUDIO IN (Cinchkuchse)**

Verbinden Sie diesen Anschluss mit dem Audioausgang eines Videorecorders oder über einen geeigneten Mikrofonverstärker mit einem Mikrofon.

Für eine Durchschleifverbindung schließen Sie hier den Audioausgang eines anderen Monitors an.

#### **AUDIO OUT (Cinchkuchse)**

Durchschleifausgang des Anschlusses AUDIO IN. Verbinden Sie diesen Anschluss mit dem Audioeingang eines Videorecorders oder anderen Monitors.

## 5 RGB/COMPONENT-Anschlüsse

Ein-/Ausgänge für RGB-Signale bzw. Farbdifferenzsignale (G/Y, B/P<sub>B</sub>, R/P<sub>R</sub>) sowie entsprechende Durchschleifausgänge. Wenn das über diese Anschlüsse eingespeiste Signal angezeigt werden soll, drücken Sie die Auswahl Taste RGB/COMP an der Vorderseite.

### G/Y, B/P<sub>B</sub>, R/P<sub>R</sub> IN (BNC-Anschlüsse)

Wenn die Taste EXT SYNC an der Vorderseite nicht gedrückt wurde (die Anzeige leuchtet grün), arbeitet der Monitor mit dem Synchronisationssignal des G/Y-Signals.

### So lassen Sie ein RGB-Signal anzeigen

Verbinden Sie diese Eingänge mit den analogen RGB-Signalausgängen einer Videokamera usw.

### So lassen Sie ein Farbdifferenzsignal anzeigen

Verbinden Sie diese Eingänge mit den Farbdifferenzsignalausgängen einer Betacam-Videokamera von Sony usw.

### G/Y, B/P<sub>B</sub>, R/P<sub>R</sub> OUT (BNC-Anschlüsse)

Durchschleifausgänge der Anschlüsse G/Y, B/P<sub>B</sub>, R/P<sub>R</sub> IN.

Wenn Sie hier Kabel anschließen, wird der 75-Ohm-Abschlusswiderstand der Eingänge automatisch freigeschaltet und die an den Anschlüssen G/Y, B/P<sub>B</sub>, R/P<sub>R</sub> IN eingespeisten Signale werden über diese Anschlüsse ausgegeben.

### So lassen Sie ein RGB-Signal ausgeben

Verbinden Sie diese Ausgänge mit den analogen RGB-Signaleingängen eines Videodruckers oder eines anderen Monitors.

### So lassen Sie ein Farbdifferenzsignal ausgeben

Verbinden Sie diese Ausgänge mit den Farbdifferenzsignaleingängen eines Betacam-Videorecorders usw.

### AUDIO IN (Cinchbuchse)

Verbinden Sie diesen Eingang mit dem Audioausgang des Videogeräts, wenn ein analoges RGB- oder ein Farbdifferenzsignal eingespeist wird.

### AUDIO OUT (Cinchbuchse)

Durchschleifausgang des Anschlusses AUDIO IN.

## 6 EXT SYNC-Anschlüsse (externe Synchronisation)

Drücken Sie die Taste EXT SYNC an der Vorderseite, so dass die Anzeige gelb leuchtet, wenn Sie das Synchronisationssignal von diesen Anschlüssen verwenden wollen.

### IN (BNC-Anschluss)

Wenn dieser Monitor mit einem externen Synchronisationssignal arbeitet, speisen Sie hier das Referenzsignal von einem Synchronisationsgenerator ein.

### OUT (BNC-Anschluss)

Durchschleifausgang des Anschlusses IN. Verbinden Sie diesen Ausgang mit dem Eingang für ein externes Synchronisationssignal eines Videogeräts, das mit diesem Monitor synchronisiert werden soll.

Wenn Sie hier ein Kabel anschließen, wird der 75-Ohm-Abschlusswiderstand des Eingangs automatisch freigeschaltet und das am Anschluss IN eingespeiste Signal wird über diesen Anschluss ausgegeben.

## 7 Anschluss PARALLEL REMOTE (modularer Anschluss)

Stellt einen Parallelschalter dar und dient zum Steuern des Monitors über ein externes Gerät.

*Einzelheiten zur Stiftbelegung sowie zu den Funktionen, die den Stiften werkseitig zugewiesen sind, finden Sie auf Seite 25 (DE).*

## 8 Eingänge OPTION AUDIO INPUT 1, 2

Wenn im Erweiterungssteckplatz eine Zusatzkarte installiert ist, können Sie das Audiosignal an diesen Anschlüssen einspeisen. Verbinden Sie diese Eingänge mit den Audioausgängen eines Videorecorders oder eines Mikrofonverstärkers. Sie können maximal 2 Systeme anschließen. Wenn die an OPTION AUDIO INPUT 1/2 eingespeisten Audiosignale ausgegeben werden sollen, drücken Sie die Taste OPTION A oder OPTION B.

### Hinweis

Wenn Sie eine Zusatzkarte (z. B. BKM-150CP) mit Audiofunktion verwenden, werden Audiosignale, die an diesem Anschluß eingehen, ignoriert.

## 9 SERIAL REMOTE-Anschlüsse (D-Sub, 9-polig)

### SERIAL REMOTE IN

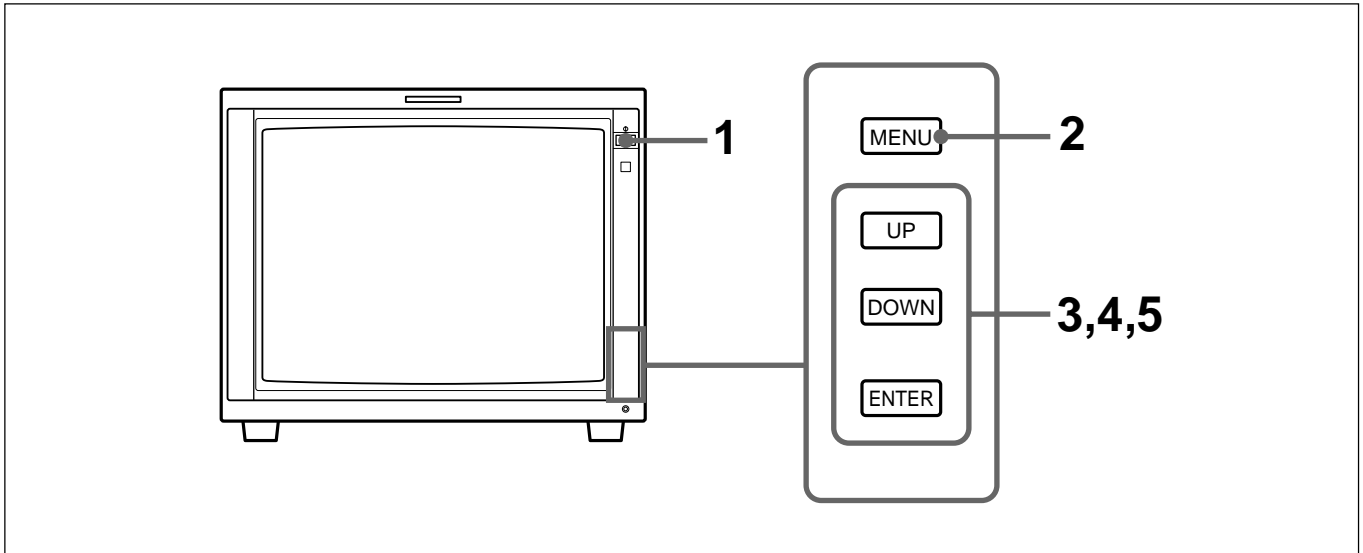
Verbinden Sie diesen Eingang mit dem seriellen Fernbedienungsanschluss eines Geräts der Serie BVM. Über das BVM-Gerät können Sie dann die Bedienfeldfunktionen dieses Geräts steuern, mit Ausnahme des Menüs.

### SERIAL REMOTE OUT

Durchschleifausgang des Anschlusses SERIAL REMOTE IN.

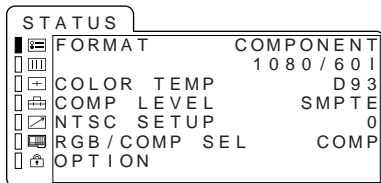
# Auswählen der Sprache für die Menüs

Die Menüs und andere Bildschirmanzeigen können Sie in einer von sechs Sprachenn (Englisch, Deutsch, Französisch, Italienisch, Spanisch, Japanisch) anzeigen lassen.  
Die Standardeinstellung ist ENGLISH (Englisch).

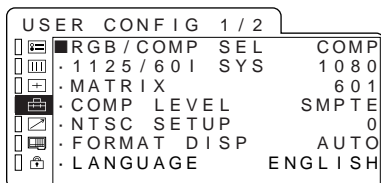


**1** Schalten Sie den Monitor am Netzschalter POWER ein.

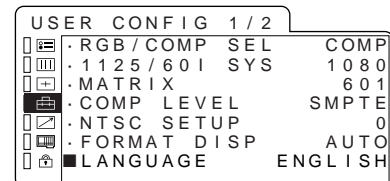
**2** Drücken Sie die Taste MENU.  
Das Menüsystem wird angezeigt.  
Das momentan ausgewählte Menü wird als gelbe Schaltfläche dargestellt.



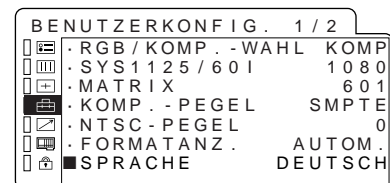
**3** Wählen Sie mit der Taste UP oder DOWN das Menü BENUTZERKONFIG. 1/2 (Benutzerkonfiguration 1/2) aus und drücken Sie die Taste ENTER.  
Die Optionen (Symbole) im ausgewählten Menü werden gelb angezeigt.



**4** Wählen Sie mit der Taste UP oder DOWN die Option "SPRACHE" aus und drücken Sie die Taste ENTER.  
Die ausgewählte Option wird gelb angezeigt.



**5** Wählen Sie mit der Taste UP oder DOWN eine Sprache aus und drücken Sie die Taste ENTER.  
Das Menü erscheint in der ausgewählten Sprache.



## So blenden Sie das Menü aus

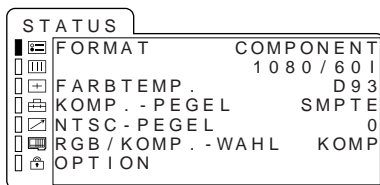
Drücken Sie die Taste MENU.  
Das Menü wird aber auch automatisch ausgeblendet, wenn eine Minute lang keine Taste gedrückt wird.

# Das Menüsystem

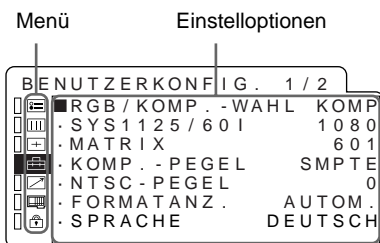
Der Monitor verfügt über Menüs für verschiedene Einstell- und Anpassungsoptionen für Bildqualität, Eingangseinstellung und weitere Einstellungen. Außerdem können Sie einstellen, in welcher Sprache die Menüs auf dem Bildschirm angezeigt werden sollen.

Wenn Sie die Sprache für die Menüs wechseln wollen, schlagen Sie unter "Auswählen der Sprache für die Menüs" auf Seite 13 (DE) nach.

- 1 Drücken Sie die Taste MENU.  
Das Menüsystem wird angezeigt.  
Das momentan ausgewählte Menü wird als gelbe Schaltfläche dargestellt.



- 2 Wählen Sie mit der Taste UP oder DOWN ein Menü aus und drücken Sie die Taste ENTER.  
Das Symbol für das momentan ausgewählte Menü wird gelb angezeigt und die entsprechenden Einstelloptionen sind zu sehen.



- 3 Wählen Sie eine Option.  
Wählen Sie mit der Taste UP oder DOWN eine Option aus und drücken Sie die Taste ENTER.  
Die ausgewählte Einstelloption wird gelb angezeigt.

## Hinweis

Wenn das Menü mehrere Seiten umfasst, rufen Sie die gewünschte Seite mit UP/DOWN auf.

- 4 Stellen Sie die Optionen wie gewünscht ein.

Wenn Sie den eingestellten Wert ändern wollen:  
Zum Erhöhen des Werts drücken Sie die Taste UP.

Zum Verringern des Werts drücken Sie die Taste DOWN.

Zur Bestätigung drücken Sie die Taste ENTER und schalten Sie dann zur ursprünglichen Anzeige zurück.

Wenn Sie die Einstellung ändern wollen:

Zum Ändern der Einstellung drücken Sie die Taste UP oder DOWN.

Bestätigen Sie die Einstellung mit der Taste ENTER.

## Hinweise

- Optionen, die blau angezeigt werden, können nicht verwendet werden. Sie können nur auf solche Optionen zugreifen, die weiß angezeigt werden.
- Wenn die Tastensperre aktiviert ist, werden alle Optionen blau angezeigt. Wenn Sie eine Option einstellen wollen, müssen Sie zunächst die Tastensperre auf AUS setzen.

Einzelheiten zur Tastensperre finden Sie auf Seite 22 (DE).

## So blenden Sie das Menü aus

Drücken Sie die Taste MENU.

Das Menü wird aber auch automatisch ausgeblendet, wenn eine Minute lang keine Taste gedrückt wird.

## Hinweis zum Speichern der Einstellungen

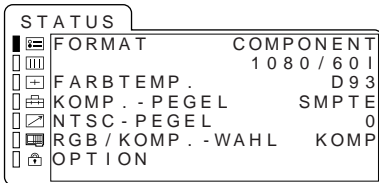
Die Einstellungen werden automatisch im Monitor gespeichert.

## So setzen Sie die Werte eingestellter Optionen wieder zurück

Wenn Sie über die Bedientastenvolumen, CONTRAST, PHASE, CHROMA und BRIGHT Einstellungen vornehmen, können Sie die Einstellungen mit der Taste RESET auf die Standardwerte zurücksetzen. Wenn Sie die Taste RESET drücken, während Sie eine Menüoption einstellen, wird die Menüoption auf den vorherigen Wert zurückgesetzt.

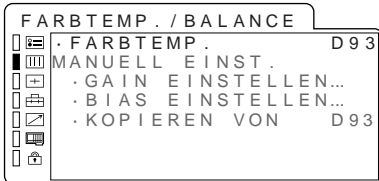
# Übersicht über die Menüoptionen

## Menü STATUS

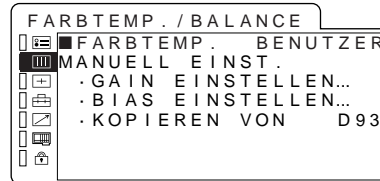


## Menü FARBTEMP./BALANCE

Wenn D65 oder D93 ausgewählt ist (in der Abbildung ist D93 ausgewählt).

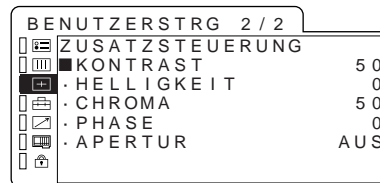
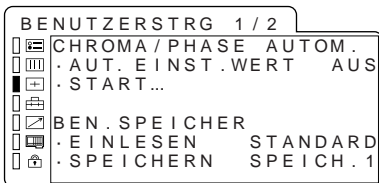


Wenn BENUTZER ausgewählt ist.



## Menü BENUTZERSTRG 1/2, 2/2

(NTSC)



# Übersicht über die Menüoptionen

---

## Menü BENUTZERKONFIG. 1/2, 2/2

(Menü BENUTZERKONFIG. 1/2)

BENUTZERKONFIG. 1 / 2		
	. RGB / KOMP. - WAHL	KOMP
	. SYS 1 1 2 5 / 6 0 1	1 0 8 0
	. MATRIX	6 0 1
	. KOMP. - PEGEL	SMPTE
	. NTSC - PEGEL	0
	. FORMATANZ.	AUTOM.
	. SPRACHE	DEUTSCH

(Menü BENUTZERKONFIG. 2/2)

BENUTZERKONFIG. 2 / 2		
	■ UNTERTITEL	AUS
	. ENTMAG. - VERZÖG.	0
	. PHASENMARKIERUNG	0
	. BREITENMARKIERG.	0

## Menü FERN 1/2 PARALLEL, Menü FERN 2/2 SERIELL

(Menü FERN 1/2 PARALLEL)

FERN 1 / 2 PARALLEL		
	. 1POL.	LINE A
	. 2POL.	LINE B
	. 3POL.	KONTROLLE R
	. 4POL.	KONTROLLE G
	. 6POL.	EXT. SYNC.
	. 7POL.	VERKLEINERUNG
	. 8POL.	1 6 : 9

(Menü FERN 2/2 SERIELL)

FERN 2 / 2 SERIELL		
	■ EINZELADRESSE	0
	. GRUPPENADRESSE	0
	. KONFIG. KA. 1-4	KA. 1
	. EINGANG	LINE A
	. FORMAT	4 : 3
	. ABTASTGR.	NORMAL

## Menü OPTIONSKONFIGURATION

Einzelheiten zu den Menübildschirmen OPTIONSKONFIGURATION finden Sie auf Seite 21 (DE).

## Menü TASTENSPERRE

TASTENSPERRE		
	. TASTENSPERRE	AUS



## Menü STATUS

Im Menü STATUS wird der momentane Status des Monitors angezeigt. Die Anzeige enthält die folgenden Angaben:

- Signalformat
- Farbtemperatur
- Farbdifferenzsignalpegel
- NTSC-Konfiguration
- RGB oder KOMP
- Installierte Zusatzkarte

## Menü FARBTEMP./ BALANCE

Das Menü FARBTEMP./BALANCE dient zum Einstellen des Weißwerts.

Zum Einstellen des Weißwerts benötigen Sie ein entsprechendes Messinstrument.

---

### FARBTEMP.

Wählen Sie als Farbtemperatur die Einstellung D65, D93 oder BENUTZER.

---

### MANUELL EINST.

Wenn Sie für [FARBTEMP.] die Einstellung BENUTZER wählen, wechselt die Option von blau zu weiß und Sie können die Farbtemperatur einstellen.

---

### GAIN EINSTELLEN

Dient zum Einstellen der Farbbalance (GAIN). Wählen Sie [GAIN EINSTELLEN...]. Der Bildschirm [GAIN EINSTELLEN...] erscheint. Stellen Sie den Gain-Wert mit der Taste UP oder DOWN ein.

---

### BIAS EINSTELLEN...

Dient zum Einstellen der Farbbalance (BIAS). Wählen Sie [BIAS EINSTELLEN...]. Der Bildschirm [BIAS EINSTELLEN...] erscheint. Stellen Sie den Bias-Wert mit der Taste UP oder DOWN ein.

---

### KOPIEREN VON

Wenn Sie mit der Taste UP oder DOWN die Einstellung D65 oder D93 wählen, werden die Weißwertdaten der gewählten Farbtemperatur in die benutzerdefinierte Einstellung übernommen.

# Menü BENUTZERSTRG 1/2, 2/2

Das Menü BENUTZERSTRG 1/2, 2/2 dient zum Einstellen der Bildqualität.

Die Optionen, die je nach Eingangssignal nicht eingestellt werden können, werden blau angezeigt.

---

## CHROMA/PHASE AUTOM.

Dient zum Einstellen der Farbintensität (CHROMA) und der Farbtöne (PHASE).

---

## AUT. EINST.WERT

Hiermit können Sie die automatische Einstellung auf EIN oder AUS setzen. Wenn Sie AUS wählen, wird dieser Parameter auf den werkseitigen Wert zurückgesetzt. Wenn Sie EIN wählen, tritt der automatisch eingestellte Wert in Kraft.

---

## START...

Lassen Sie das Farbbalkensignal (100 %/SMPTE/EIA/HD) anzeigen und drücken Sie ENTER. Der Bildschirm AUTOM. EINSTELLEN erscheint. Drücken Sie nach Abschluss des Einstellvorgangs die Taste MENU, um den Bildschirm AUTOM. EINSTELLEN zu schließen. Wenn die Einstellung korrekt vorgenommen wurde, wird der AUT. EINST.WERT automatisch in Kraft gesetzt.

### **Hinweis**

Wenn Sie die Vollfarbbalken ausgewählt haben, geben Sie acht Farbbalken ein.

---

## BEN.SPEICHER

### SPEICHERN

Dient zum Speichern der aktuellen Einstellungen, die Sie mit den Bedientastentasten VOLUME, CONTRAST, PHASE, CHROMA und BRIGHT vorgenommen haben. Zum Speichern der Daten stehen zwei Speicherbereiche, SPEICH.1 und SPEICH.2, zur Verfügung.

## EINLESEN

Wenn Sie, wie oben erläutert, die mit den Bedientastentasten VOLUME, CONTRAST, PHASE, CHROMA und BRIGHT vorgenommenen Einstellungen gespeichert haben, können Sie sie mit dieser Option abrufen. Wenn Sie STANDARD wählen, werden die Einstellungen auf die Standardwerte zurückgesetzt.

---

## ZUSATZSTEUERUNG

Sie können die über die Tasten CONTRAST, PHASE, CHROMA und BRIGHT am rechten Bedienfeld eingestellten Werte feineinstellen.

### KONTRAST

Zum Einstellen des Bildkontrasts. Sie können den Kontrast auf einen Wert zwischen 0 und 100 einstellen.

### HELLIGKEIT

Zum Einstellen der Bildhelligkeit. Sie können die Helligkeit auf einen Wert zwischen -50 und +50 einstellen.

### CHROMA

Zum Einstellen der Farbintensität. Je höher der Wert, desto stärker die Intensität. Je niedriger der Wert, desto schwächer die Intensität. Sie können die Farbintensität auf einen Wert zwischen 0 und 100 einstellen.

### PHASE

Zum Einstellen der Farbtöne. Bei einem hohen Wert werden die Grüntöne betont. Bei einem niedrigen Wert werden die Rottöne betont. Sie können die Farbtöne auf einen Wert zwischen -50 und +50 einstellen.

### APERTUR

Zum Einstellen der Bildschärfe. Je höher der Wert, desto schärfer die Bildkonturen. Sie können die Bildschärfe auf einen Wert zwischen AUS und 100 einstellen.

# Menü BENUTZERKONFIG. 1/2, 2/2

Dieses Menü dient zum Auswählen einer Sprache sowie des RGB- bzw. Farbdifferenzsignals. Die werkseitigen Einstellungen sind in eckigen Klammern [ ] angegeben.

## RGB/KOMP.-WAHL

Wenn das über die RGB/COMPONENT-Anschlüsse eingespeiste Signal angezeigt werden soll, stellen Sie in diesem Menü das Signal RGB oder KOMP (Farbdifferenzsignal) ein. Wählen Sie mit der Taste UP oder DOWN das Signal RGB oder KOMP aus.

[KOMP]

## SYS1125/60I

Zum Auswählen der effektiven Abtastzeilen für das 1125/60I-Eingangssignal. Wählen Sie 1080 oder 1035 Abtastzeilen aus. Wenn ein HD SDI-Signal eingespeist wird, wählt das System den Abtastzeilentyp automatisch aus.

[1080]

## MATRIX

Gilt für normale Bildsignale, 15-K- oder 31-K-Farbdifferenzsignale. Wählen Sie mit der Taste UP oder DOWN die Option 709 oder 601 aus.

[601]

## KOMP.-PEGEL

Wählen Sie den Signalpegel aus den folgenden drei Modi aus.

**N10/SMPTE** für ein 100/0/100/0-Signal  
**BETA 7.5** für ein 100/7.5/75/7.5-Signal  
**BETA 0** für ein 100/0/75/0-Signal

[SMPTE]

## NTSC-PEGEL

Wählen Sie den NTSC-Pegel aus den folgenden zwei Modi aus. Der Pegel 7.5 wird hauptsächlich in Nordamerika verwendet. Der Pegel 0 wird hauptsächlich in Japan verwendet.

[0]

## FORMATANZ.

Wählen Sie als Anzeigemodus für das Signalformat die Option EIN, AUS oder AUTOM. aus.

[AUTO]

## SPRACHE

Sie können als Sprache für die Menüs und anderen Bildschirmanzeigen eine der folgenden sechs Sprachen (Japanisch, Englisch, Deutsch, Französisch, Italienisch, Spanisch) auswählen.

Wählen Sie mit der Taste UP oder DOWN eine Sprache aus und drücken Sie die Taste ENTER. Die ausgewählte Sprache wird angezeigt.

[ENGLISH]

## UNTERTITEL

Wählen Sie als Anzeigemodus für die Untertitel eine der folgenden Optionen aus:  
AUS, UNTERTIT1, UNTERTIT2, TEXT 1, TEXT 2.

[AUS]

## ENTMAG.-VERZÖG.

Stellen Sie für die automatische Entmagnetisierung eine Verzögerungszeit ein. Wenn Sie das Gerät einschalten, beginnt die Entmagnetisierung nach dieser Zeit. Als Verzögerungszeit können Sie einen Wert zwischen 0 und 99 Sekunden einstellen.

[0]

## FARBREINHEIT

Dieses Menü steht nur beim PVM-D20L5J zur Verfügung.

Wenn die Farbe auch dann noch nicht korrekt ist, wenn Sie die Taste DEGAUSS gedrückt haben, können Sie hier die Farbreinheit einstellen, so dass die Farbe auf dem gesamten Bildschirm gleichförmig ist.

[50]

Dazu stehen die beiden folgenden Verfahren zur Verfügung.

### Wenn die horizontalen Bildzeilen eingespeist und angezeigt werden:

Korrigieren Sie die Zeilen auf dem Bildschirm mit den Tasten UP und DOWN so lange, bis sie möglichst perfekt horizontal verlaufen. Die horizontalen Bildzeilen lassen sich auf einen Wert zwischen 0 und 100 einstellen.

### Wenn der weiße Bildschirm angezeigt wird:

Korrigieren Sie den weißen Bildschirm mit den Tasten UP und DOWN so lange, bis das Weiß so gleichmäßig wie möglich erscheint. Der Pegel des weißen Farbsignals lässt sich auf einen Wert zwischen 0 und 100 einstellen.

## PHASENMARKIERUNG

Sie können die Position der 4:3-Markierung auf einen Wert zwischen -10 und +10 einstellen.

[0]

## BREITENMARKIERG.

Sie können die Breite der 4:3-Markierung auf einen Wert zwischen -10 und +10 einstellen.

[0]

# Menü FERN 1/2 PARALLEL

Wählen Sie die Anschlussstifte (PARALLEL, FERN) aus, die Sie mit einer anderen Funktion belegen wollen.

Sie können die Stifte 1 bis 4 und 6 bis 8 mit verschiedenen Funktionen belegen. Im Folgenden sind die Funktionen, die Sie den Stiften zuweisen können, aufgelistet.

- – – (“– –”: Dem Stift ist keine Funktion zugeordnet.)
- LINE A
- LINE B
- RGB/KOMP
- OPTION1
- OPTION2
- KONTROLLE R
- KONTROLLE G
- VERKLEINERUNG
- 16:9
- EXT. SYNC.
- H/V-VERZÖG.
- NUR BLAU
- MONO
- 4:3-MARK.
- ENTMAGNET.

## Hinweis

Wenn Sie die Funktion PARALLEL REMOTE verwenden, müssen Sie entsprechende Kabel anschließen. Einzelheiten dazu finden Sie auf Seite 25 (DE).

# Menü FERN 2/2 SERIELL

Wenn Sie dieses Gerät über ein Gerät der Serie BVM im seriellen Fernbedienungsmodus steuern wollen, legen Sie in diesem Menü die Monitoreinzel- und -gruppenadresse oder die Kanalnummer fest, die Sie dem Gerät zuweisen wollen.

## EINZELADRESSE

Es folgt eine Liste der Funktionen, die über einen seriellen Fernbedienungsbeefehl von einem Gerät der Serie BVM aus ausgeführt werden können:

- Einstellung CONTRAST
- Einstellung BRIGHT
- Einstellung CHROMA
- Einstellung PHASE
- Numerische Taste 1
- Numerische Taste 2
- Numerische Taste 3
- Numerische Taste 4
- Verkleinerungstaste
- Horizontalverzögerungstaste\*
- Vertikalverzögerungstaste\*
- Monochromtaste
- Aperturtaste
- Taste 16:9
- Taste SYNC
- Nur-Blau-Taste
- Sicherheitsbereichstaste
- Entmagnetisierungstaste
- \*Hierbei arbeitet das Gerät im Modus H/V-VERZÖG.

## GRUPPENADRESSE

Legen Sie hier die Gruppenadresse (Nummer) für den Monitor fest. Sie können eine Nummer zwischen 0 und 99 einstellen.

## KONFIG.KA.1-4

Legen Sie die Kanalnummern (1 bis 4) fest, die den Direkttasten des Geräts der Serie BVM zugeordnet wurden.

Sie können KA.1, KA.2, KA.3 oder KA.4 auswählen. Sie können den Kanal für EINGANG, FORMAT und ABTASTGR. einstellen.

## EINGANG

Legt als Eingang den ausgewählten Kanal fest. Sie können LINE A, LINE B, RGB/KOMP, OPTION A oder OPTION B auswählen.

## FORMAT

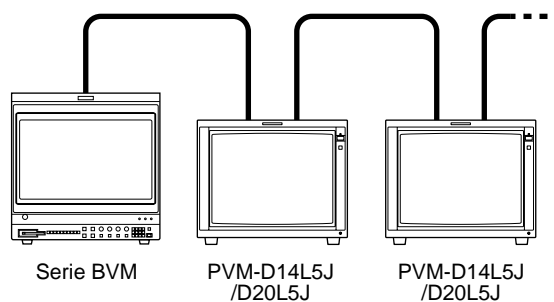
Zum Einstellen des Bildformats.

Wählen Sie 16:9 oder 4:3.

## ABTASTGR.

Legt die Größe des Bildes fest, das durch die Abtastung des Eingangssignals angezeigt wird.

Wählen Sie KLEINER oder NORMAL.



Konfigurationsbeispiel für serielle Fernbedienung

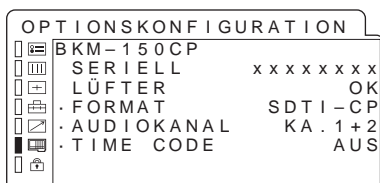
## Hinweis

Wenn Sie im seriellen Modus mehrmals direkt hintereinander eine einzelne Steuerfunktion ausführen, wird der Fernbedienungsstatus unter Umständen deaktiviert. Führen Sie in einem solchen Fall den gleichen Steuerbefehl mehrmals aus, bis der Fernbedienungsstatus wiederhergestellt ist.

# Menü OPTIONSKONFIGURATION

Dieses Menü dient zum Konfigurieren der Zusatzkarten, die an der Rückseite des Monitors installiert sind. Je nachdem, welche Karte installiert ist, wird ein anderer Bildschirm angezeigt. Ist keine Karte installiert, werden die Einstelloptionen nicht angezeigt. Stellen Sie nach dem Zuordnen eines Eingangssignals CHROMA/PHASE AUTOM. für den Monitor ein.

## Wenn die Zusatzkarte BKM-150CP installiert ist:



### FORMAT

Legt den Signaltyp fest.  
Wählen Sie SDTI-CP oder SDI.

### AUDIOKANAL

Legt den Audiokanal fest.

#### D1-SDI:

Wählen Sie eine der Optionen KA.1+KA.2 bis KA.15+KA.16 oder KA.1 bis KA.16 aus.

#### SDTI-CP:

Wählen Sie eine der Optionen KA.1+KA.2 bis KA.7+KA.8 oder KA.1 bis KA.8 aus.

Audiosignale, die an OPTION AUDIO INPUT 1/2 eingehen, werden ignoriert.

### TIME CODE

Dient zum Auswählen der Zeitcodeanzeige.

#### D1-SDI:

Wählen Sie VITC, RP188 oder AUS.

#### SDTI-CP:

Wählen Sie VITC, CP-TC1, CP-TC2, ES-TC1, ES-TC2 oder AUS.

Im Folgenden finden Sie eine Liste der Abkürzungen im Menü zusammen mit den vollständigen Bezeichnungen:

CP-TC1: SMPTE 331M System Item USER DATE/TIME STAMP

CP-TC2: SMPTE331M System Item CREATION DATE/TIME STAMP

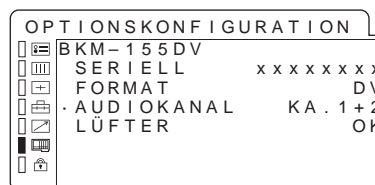
ES-TC1: SMPTE 328M MPEG ES Editing Information TIME CODE1

ES-TC2: SMPTE 328M MPEG ES Editing Information TIME CODE2

PR188: SMPTE RP188 Time Code

VITC: SMPTE 12M VITC, SMPTE 266M D-VITC

## Wenn die Zusatzkarte BKM-155DV installiert ist:



### AUDIOKANAL

Legt den Audiokanal fest.

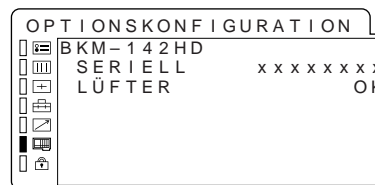
Wählen Sie eine der Optionen KA.1+KA.2, KA.3+KA.4, KA.1/3, KA.2/4, KA.1/3+KA.2/4, oder KA.1 bis KA.4 aus.

Audiosignale, die an OPTION AUDIO INPUT 1/2 eingehen, werden ignoriert.

## Wenn die Zusatzkarte BKM-120D installiert ist:



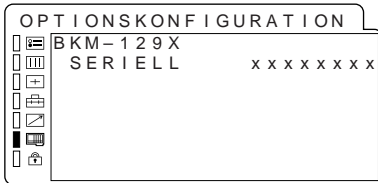
## Wenn die Zusatzkarte BKM-142HD installiert ist:



(Fortsetzung)

## Menü OPTIONSKONFIGURATION

Wenn die Zusatzkarte BKM-129X installiert ist:



Wenn der Ventilator der Karte BKM-142HD, BKM-150CP oder BKM-155DV gestoppt wird, erscheint auf dem Bildschirm die Meldung "BKM-xxxxx LÜFTERFEHLER" in Rot. In diesem Fall können Sie Option A oder Option B nicht auswählen.

## Menü TASTENSPERRE

Über dieses Menü können Sie die Einstellungen sperren, so dass diese nicht von einem unberechtigten Benutzer geändert werden können.

Wählen Sie AUS oder EIN.

Wenn Sie EIN wählen, werden alle Einstellungen blau angezeigt. Dies bedeutet, dass die Einstellungen gesperrt sind.

## Störungsbehebung

Sie können die Ursache eines Problems gegebenenfalls anhand dieses Abschnitts erkennen und beheben, ohne dass Sie sich an den Kundendienst wenden müssen.

- **Das Bild erscheint grün oder rot** → Wählen Sie mit einer der Tasten für die Eingangswahl den richtigen Eingang aus.
- **Das Gerät lässt sich nicht bedienen** → Die Tastensperre ist aktiviert. Setzen Sie im Menü TASTENSPERRE die Option TASTENSPERRE auf AUS.
- **Die Karte BKM-142HD, BKM-150CP oder die BKM-155DV ist installiert. Die Fehlermeldung "BKM-xxxxx LÜFTERFEHLER" wird angezeigt. Option A bzw. Option B kann nicht ausgewählt werden.** → Reparieren Sie die BKM-xxxxx.

## Allgemeines

### System

System	Zeilen pro Vollbild insgesamt	Aktive Zeilen pro Vollbild	Bildrate (Hz)	Abtastformat	Bildseitenverhältnis	Standard
575/50I (PAL)	625	575	25	2:1 Interlace	16:9/4:3	ITU 601
480/60I (NTSC)	525	483	30	2:1 Interlace	16:9/4:3	ITU 601
576/50P	625	576	50	Progressiv	16:9/4:3	—
480/60P	525	483	60	Progressiv	16:9/4:3	SMPTE 293M
1080/50I	1125	1080	25	2:1 Interlace	16:9	SMPTE 294M
1035/60I	1125	1035	30	2:1 Interlace	16:9	BTA S-001B
1080/60I	1125	1080	30	2:1 Interlace	16:9	SMPTE 274M/BTA S-001B
720/60P	750	720	60	Progressiv	16:9	SMPTE 296M

### PVM-D14L5J

Kathodenstrahlröhre:

HR-Trinitron, Leuchtmaterial nach EBU-Standard

Betriebsspannung:

100 bis 240 V Wechselstrom, 50/60 Hz

Leistungsaufnahme:

max. 120 W, 1,2 bis 0,6 A (wenn die zusätzlich erhältliche Karte BKM-150CP installiert ist)  
Standard: 110 W, 1,1 bis 0,5 A (ohne zusätzlich erhältliche Karte, 720/60P-Eingang)

Abmessungen (max.):

ca. 346 × 280 × 424 mm (B/H/T)

Gewicht:

ca. 17 kg

Abmessungen (max.):

ca. 452 × 414 × 500 mm (B/H/T)

Gewicht:

ca. 31 kg

## Ein-/Ausgänge

Eingänge

Eingangsanschlüsse LINE A

Y/C-Eingang

4-polig, Mini-DIN (1)  
(siehe Stiftbelegung)

Eingang VIDEO

BNC-Anschluss (1), 1 V<sub>p-p</sub> ± 6 dB, negative Synchronisation

Eingang AUDIO

Stiftbuchse (1), -5 dBu, 47 kΩ oder mehr

Eingangsanschlüsse LINE B

Eingang VIDEO

BNC-Anschluss (1), 1 V<sub>p-p</sub> ± 6 dB, negative Synchronisation

Eingang AUDIO

Stiftbuchse (1), -5 dBu, 47 kΩ oder mehr

RGB-Eingang/Farbdifferenzsignaleingang

BNC-Anschluss (3)

RGB-Eingang, 0,7 V<sub>p-p</sub> ± 6 dB (Grünsignal mit Synchronisation, 0,3 V<sub>p-p</sub>, negative Synchronisation)

### PVM-D20L5J

Kathodenstrahlröhre:

HR-Trinitron, Leuchtmaterial nach EBU-Standard

Betriebsspannung:

100 bis 240 V Wechselstrom, 50/60 Hz

Leistungsaufnahme:

max. 140 W, 1,4 bis 0,7 A (wenn die zusätzlich erhältliche Karte BKM-150CP installiert ist)  
Standard: 130 W, 1,3 bis 0,6 A (ohne zusätzlich erhältliche Karte, 720/60P-Eingang)

## Technische Daten

---

Farbdifferenzsignaleingang, 0,7 V<sub>p-p</sub> ±6 dB  
(75 % Chrominanz,  
Standardfarbbalkensignal)

Eingang AUDIO  
Stiftbuchse (1), -5 dBu, 47 kΩ oder  
mehr

Extern synchronisierter Eingang  
BNC-Anschluss (1), 0,3 bis 8 V<sub>p-p</sub>  
± bipolar ternär oder negativ  
polar binär

Optionaler Eingang AUDIO  
Stiftbuchse (2), -5 dBu, 47 kΩ oder  
mehr

Fernbedienungseingang  
Serieller Fernbedienungseingang  
D-Sub, 9-polig (1)  
Paralleler Fernbedienungseingang  
Modularer Anschluss, 8-polig (1)

### Ausgänge

#### Ausgangsanschlüsse LINE A

Y/C-Ausgang  
4-polig, Mini-DIN (1),  
Durchschleifanschluss mit  
automatischem  
Abschlusswiderstand (75 Ω)

Ausgang VIDEO  
BNC-Anschluss (1),  
Durchschleifanschluss mit  
automatischem  
Abschlusswiderstand (75 Ω)

Ausgang AUDIO  
Stiftbuchse (1),  
Durchschleifanschluss

#### Ausgangsanschlüsse LINE B

Ausgang VIDEO  
BNC-Anschluss (1),  
Durchschleifanschluss mit  
automatischem  
Abschlusswiderstand (75 Ω)

Ausgang AUDIO  
Stiftbuchse (1),  
Durchschleifanschluss

RGB-Ausgang/Farbdifferenzsignalausgang  
BNC-Anschluss (3), RGB-/  
Farbdifferenzsignalausgang  
Durchschleifanschluss mit  
automatischem  
Abschlusswiderstand (75 Ω)

Ausgang AUDIO  
Stiftbuchse (1),  
Durchschleifanschluss

Extern synchronisierter Ausgang  
BNC-Anschluss (1), Durchschleifanschluss mit  
automatischem  
Abschlusswiderstand (75 Ω)

Fernbedienungsausgang  
Serieller Fernbedienungsausgang  
D-Sub, 9-polig (1),  
Durchschleifanschluss

Leistungsabgabe des eingebauten Lautsprechers  
0,8 W (monaural)

---

### Videosignal

Frequenzgang  
Farbdifferenzeingangssignale  
575/50I, 480/60I  
50 Hz bis 10 MHz (0 dB/-3 dB)  
Andere Modelle oder RGB-  
Eingangssignale  
48 Hz bis 24 MHz (0 dB/-3 dB)

Aperturkompensation<sup>1)</sup>  
AUS: 0 dB  
EIN: 2 dB bis 6 dB  
Eingangssignale  
575/50I, 480/60I: 5 MHz  
Andere Eingangssignale: 16 MHz

---

### Bildleistung

Normale Abtastung  
7 % Vergrößerung des effektiven  
Anzeigebereichs der Kathodenstrahlröhre  
Verkleinerung  
5 % Verkleinerung des effektiven  
Anzeigebereichs der  
Kathodenstrahlröhre

---

1) Bei RGB-Eingangssignalen ist eine Aperturkompensation nicht möglich.



Linearität	PVM-D14L5J
	H: höchstens 4% V: höchstens 4%
Farbtemperatur	PVM-D20L5J
	H: höchstens 5% V: höchstens 5%
Konvergenzfehler	D65, D93/BENUTZER
	(Einstellbereich der Farbtemperatur: 5000 K bis 10000 K)
Rastergrößenstabilität	PVM-D14L5J
	Mitte: höchstens 0,4 mm Randbereich: höchstens 0,5 mm
Auflösung (Bildschirmmitte)	PVM-D20L5J
	Mitte: höchstens 0,5 mm Randbereich: höchstens 0,7 mm
Temperatur	0 °C bis 35 °C
	Luftfeuchtigkeit 30 bis 85 % (nicht kondensierend)
Druck	700 bis 1060 hpa

## Betriebsbedingungen

Temperatur	0 °C bis 35 °C
Luftfeuchtigkeit	30 bis 85 % (nicht kondensierend)
Druck	700 bis 1060 hpa

## Bedingungen bei Lagerung und Transport

Temperatur	-10 °C bis 40 °C
Luftfeuchtigkeit	0 bis 90 %
Druck	700 bis 1060 hpa

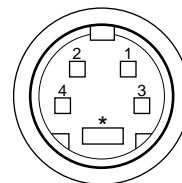
## Mitgeliefertes Zubehör

- Netzkabel (1)
- Netzsteckerhalter (1)
- Bedienungsanleitung (1)

Änderungen, die dem technischen Fortschritt dienen, bleiben vorbehalten.

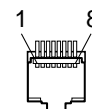
## Stiftbelegung

Anschluss Y/C IN (4-polig, Mini-DIN)



Stift Nr.	Signal	Beschreibung
1	Y-Eingang	1 Vp-p, sync-negativ, 75 Ohm
2	CHROMA-Eingang Eingang Hilfsträger	286 mVp-p (NTSC)/ 300 mVp-p (PAL) , Burst Verzögerung zwischen Y und C: innerhalb 0 ±100 ns, 75 Ohm
3	MASSE für Y-Eingang	MASSE
4	MASSE für CHROMA-Eingang	MASSE

Anschluss PARALLEL REMOTE  
Modularer Anschluss  
(8-polig)



Stift Nr.	Funktionen
1	Setzt Eingangssignal auf LINE A
2	Setzt Eingangssignal auf LINE B
3	Schaltet rote Kontrollanzeige ein oder aus
4	Schaltet grüne Kontrollanzeige ein oder aus
5	MASSE
6	Wählt EXT. Sync.
7	Wählt Verkleinerung
8	Wählt Bildseitenverhältnis 16:9

Im Menü für die Fernbedienung können Sie den Stiften 1 bis 4 bzw. 1 bis 8 Funktionen zuweisen.

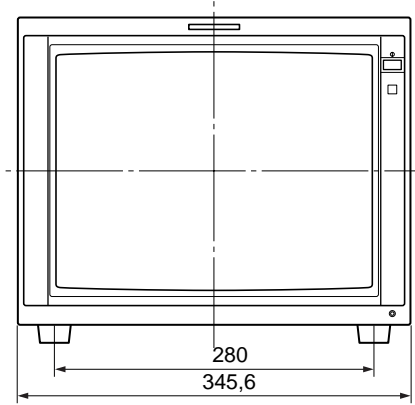
Für die Fernbedienung erforderliche Verdrahtung Verbinden Sie die Funktion, die über die Fernbedienung zur Verfügung stehen soll, mit der Masse (Stift 5).

# Technische Daten

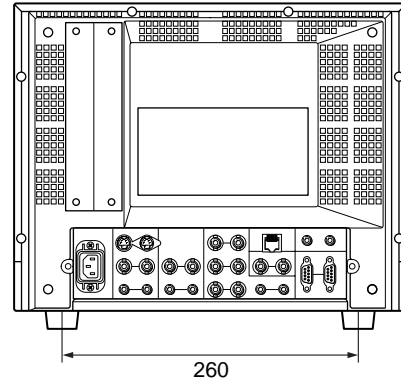
## Abmessungen

PVM-D14L5J

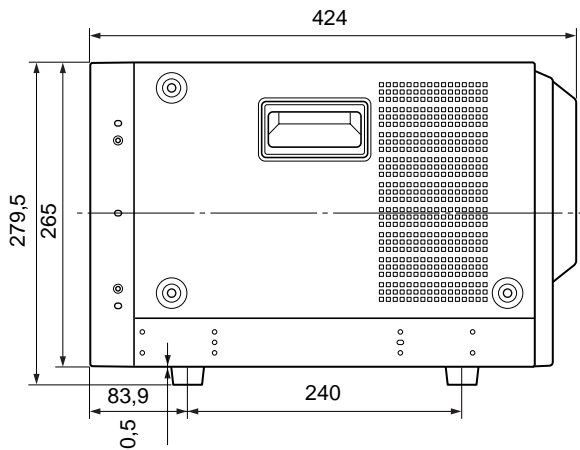
Vorderseite



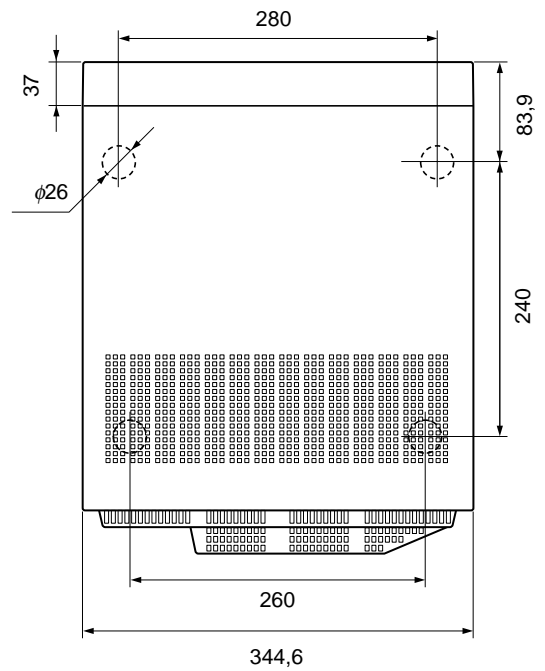
Rückseite



Seitenansicht



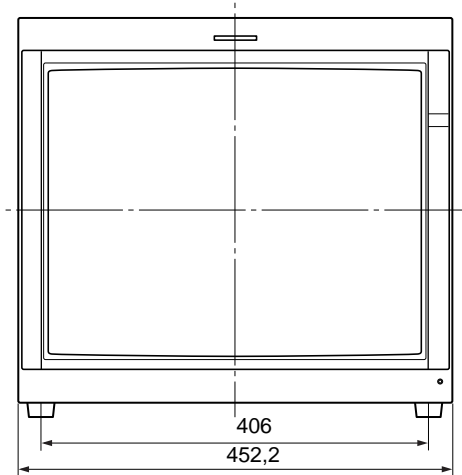
Draufsicht



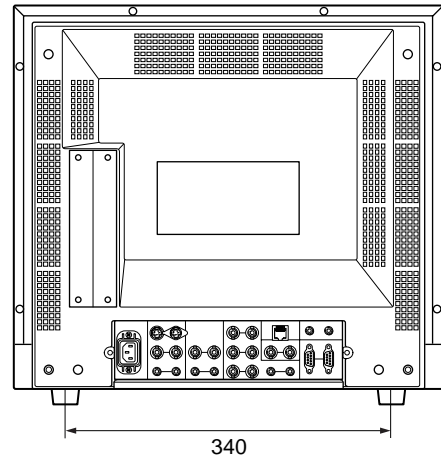
Einheit: mm

# PVM-D20L5J

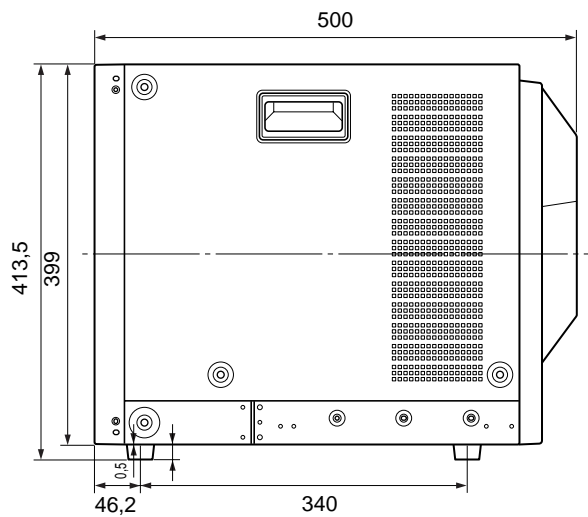
## Vorderseite



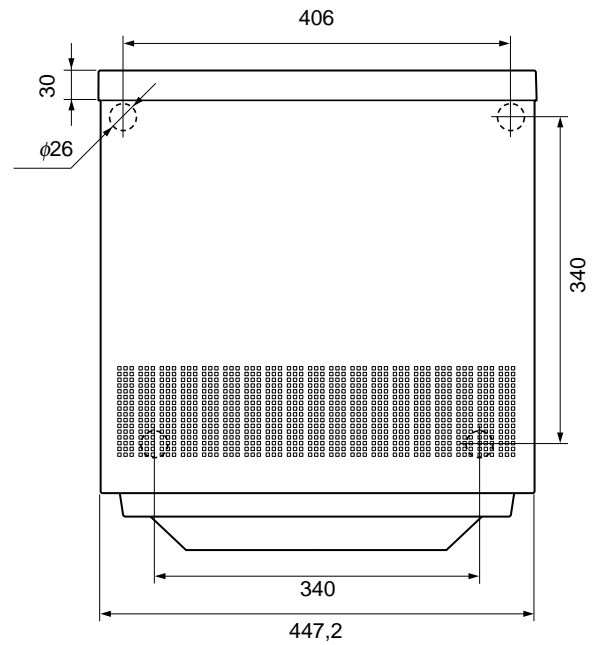
## Rückseite



## Seitenansicht



## Draufsicht



Einheit: mm

## 警告

为防止火灾或电击的危险，切勿让本机受到雨淋或受潮。

机内有危险的高压电。

请勿擅自打开机壳。维修工作仅请委托专业人员进行。

在发生故障或需要维修时，请与经授权的 SONY 经销商联系。

注意—本产品安装在机架内时：

### a) 工作环境温度升高

如果将本装置安装在密闭或内置式框架内，框架的工作环境温度可能会比室内温度高。因此，应注意将本装置安装在符合厂家规定的最大额定环境温度（0℃~35℃）的场所。

### b) 通风不良

将本机安装在机架内时，必须保持本装置安全工作所需的良好通风状态。

### c) 机械性负载

将本装置安装在机架内时，必须避免处于因不均匀的机械性负载而造成的危险状态。

### d) 电路过载

对本装置与电路的连接以及电路过载可能给过电流保护和电源线造成的影响，必须多加注意。

### e) 可靠接地

安装在机架内的装置应可靠接地。特别注意非直接连接至支电路的电源连接。

### f) 保持间隙

安装在机架内的装置的上部和下部间隙应保持在 44 mm 以上。

# 使用前须知事项

---

## 有关安全的说明

- 本机仅可在“规格”章节中指定的电源下使用。
- 标有使用电压、功率消耗等的铭牌位于本机后部。
- 万一有异物或液体掉入机内，请拔下本机的电源插头，并请有资格的专业人员检查之后再继续使用。
- 请勿让重物掉落或压在电源线上。如果电源线受损，请立即关掉电源。在电源线受损的情况下使用本机是危险的。
- 如果数日或更长时间不使用本机，请将电源插头从墙上插座拔下。
- 从交流电源插座拔取电源线时，请拿住插头拔取，不可拉扯电线。
- 电源插座应靠近装置放置且应便于使用。

---

## 有关安装的说明

- 保证有适当的空气流动以防止机内温度上升。请勿将本机安放在会堵塞通风孔的表面（如地毯、毛毯等）上或物品（如窗帘、帷幕等）附近。
- 请勿将本机安放在散热器或暖气管等热源附近，或受阳光直射、极度多尘、机械振动或冲击之处。

---

## 清洁 CRT 表面

- CRT 表面经过可选的 PET 覆膜处理。  
请用以下方法清洁 CRT 表面以免损坏表面。
- 请用软布清洁 CRT。  
当 CRT 被油手或指印弄脏时，请用沾上中性洗涤剂的软布清洁。
- 切勿使用研磨粉、碱性肥皂、酒精、稀释剂或汽油等烈性溶剂，否则会损坏表面。
- 切勿用硬物摩擦或碰撞 CRT 表面。

---

## 有关清洁的说明

为使本机常新，请定期用中性洗涤剂进行清扫。切勿使用稀释剂、挥发性汽油等强性溶剂或研磨粉，否则会损坏机壳。为保证安全，请在清扫本机前拔下电源插头。

---

## 关于重新装箱的说明

请勿扔掉纸箱和包装材料。它们是搬运本机时的理想包装物。要把本机发送到外地时，请按纸箱上的图示重新装箱。

若对本机有任何疑问，请与当地经授权的 SONY 经销商联系。

使用前须知事项 .....	3 (CS)
特点 .....	5 (CS)
连接 .....	7 (CS)
如何连接交流电源线 .....	7 (CS)
如何将电缆连接至 BNC 连接器 .....	7 (CS)
各部件及控制器的位置和功能 .....	8 (CS)
控制面板 .....	8 (CS)
后面板 .....	10 (CS)
选择项目单语言 .....	13 (CS)
使用项目单 .....	14 (CS)
显示清单 .....	15 (CS)
STATUS 项目单 .....	17 (CS)
COLOR TEMP/BAL 项目单 .....	17 (CS)
USER CONTROL 1/2、2/2 项目单 .....	18 (CS)
USER CONFIG 1/2、2/2 项目单 .....	19 (CS)
REMOTE 1/2 PARALLEL 项目单 .....	20 (CS)
REMOTE 2/2 SERIAL 项目单 .....	20 (CS)
OPTION CONFIG 项目单 .....	21 (CS)
KEY PROTECT 项目单 .....	22 (CS)
故障排除 .....	22 (CS)
规格 .....	23 (CS)

除另有注释外，本手册中的说明均适用于下列机型。

机型间的差异将在本手册中清楚地标出。

- PVM-D14L5J (14 英寸监视器)
- PVM-D20L5J (20 英寸监视器)

视频监视器的图示对应于 PVM-D14L5J。

# 特点

PVM-D14L5J/PVM-D20L5J 是专业应用的 Trinitron（单枪三束）彩色视频监视器。

---

## 图像

### PVM-D14L5J 和 PVM-D20L5J 用 HR（高清晰度）Trinitron<sup>1)</sup> 彩色显象管

HR Trinitron 显象管提供了高清晰度图像。图像中心的水平清晰度超过 800 电视扫描行。

### 梳形滤波器

接收 NTSC 视频信号时，梳形滤波器会启动以提高 Y/C 分离的精度。这可减少清晰度下降、串色及交叉亮度的现象。

### 电子束电流反馈电路

内藏的电子束电流反馈电路保证稳定的白平衡。

### 两种彩色制式兼容

本监视器可显示 NTSC 和 PAL 信号，可自动选择适当的彩色制式。

### 自动色度相位功能

利用自动色度相位功能可自动调整解码器的色度和相位。

### 全蓝方式

在全蓝方式下，通过三个全部由一个蓝色信号驱动的 R/G/B 阴极来获得一种表观单色的显示。这将有助于彩色饱和、相位调整以及对录像机噪音的观测。

---

## 输入

### 模拟 RGB/分量输入连接器

来自视频装置的模拟 RGB/分量（Y、R-Y 和 B-Y）信号可以通过这些连接器输入。用 RGB/COMP 输入开关按钮选择两种信号之一。

### Y/C 输入连接器（S 输入连接器）

视频信号，被分离为亮度信号（Y）和色度信号（C），可通过此连接器输入，并消除了复合视信号中容易产生的两种信号间的干扰，保证了视频质量。

### 可扩展输入功能

只需在监视器后部的输入选择插槽中安装输入适配器（未提供），便可扩展输入功能。

### 外部同步信号输入

EXT SYNC 选择开关处于打开位置时，监视器可以基于外部同步信号发生器提供的同步信号进行工作。

### 自动终端负载（仅限于带有 标记的连接器）

没有电缆接在环通输出连接器上时，输入连接器将自动接上 75  $\Omega$  内部终端负载。有电缆接在输出连接器上时，75  $\Omega$  终端负载自动解除，并且输入至输入连接器的信号将输出至输出连接器（环通）。

---

## 功能

### 多格式

本监视器除支持常规的 NTSC 和 PAL 彩色制式之外，还支持主要的数字广播格式（480I/480P/720P/1080I）— 行频在 15 kHz 至 45 kHz 之间的各类信号。

---

1) “Trinitron” 是 SONY 公司的注册商标。

# 特点

---

## 欠扫描方式

通常在屏幕外扫描的信号可以在欠扫描方式下进行监视。

### 注意

监视器处于欠扫描方式时，暗色的 RGB 扫描线可能出现在屏幕的上边缘。这是由内部测试信号而不是由输入信号引起的。

## 水平/垂直延迟方式

水平和垂直同步信号可以在 H/V 延迟方式下同时检测。

## 内部字幕显示（关闭式字幕）解码器

当输入带字幕显示信号的图像信号时，英文字幕将叠加显示在屏幕上。您可以在项目单中选择字幕打开/关闭及其类型。

## 自动/手动去磁

电源接通时 CRT 可自动进行去磁。也可按 DEGAUSS 按钮手动进行 CRT 去磁。

您可以在项目单中设定接通电源后开始自动去磁的时间。

### 注意

当屏幕项目单正在显示时，DEGAUSS 按钮无效。

要手动对 CRT 进行去磁，请按 MENU 按钮退出屏幕项目单。

## 屏幕显示项目单

色温、CHROMA 设定及其它设定可以用屏幕显示项目单进行设定。

## 配备 EIA 19 英寸机架安装架

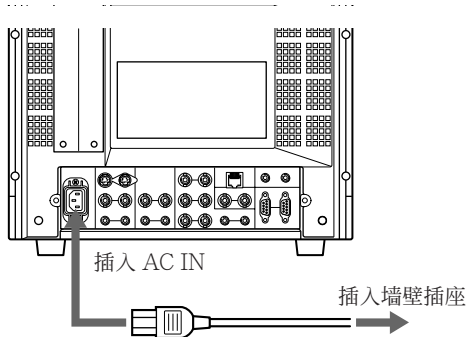
使用选购的安装架 MB-521（适用于 PVM-D14L5J）或滑轨 SLR-104（适用于 PVM-D20L5J），可将本监视器安装于 EIA 标准的 19 英寸机架上。

关于将监视器安装在机架上的详情，请参见安装架或滑轨的使用说明书。



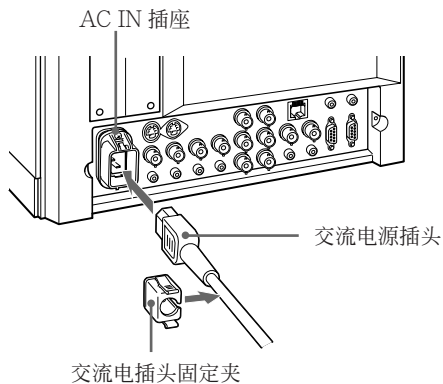
## 如何连接交流电源线

将交流电源线（附带）一头插入后面板的 AC IN 插座，另一头插入墙壁插座。

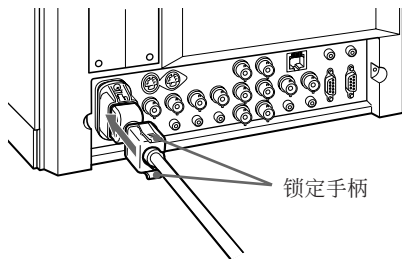


## 用交流电插头固定夹牢固地连接交流电源线

- 1 将电源线插头插入 AC IN 插座。然后，将交流电插头固定夹（附带）套在交流电源线上。



- 2 将交流电插头固定夹沿电源线滑动，直至其锁定。

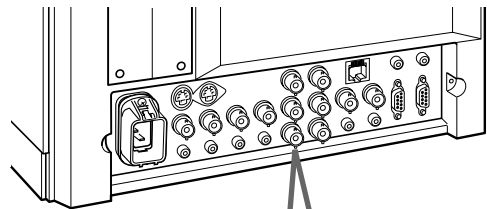


## 要拔下交流电源线

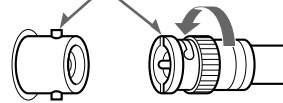
在按住锁定手柄的同时拔下交流电插头固定夹。

## 如何将电缆连接至 BNC 连接器

如图所示，将带 BNC 插头的同轴电缆连接至后面板上的 BNC 连接器。

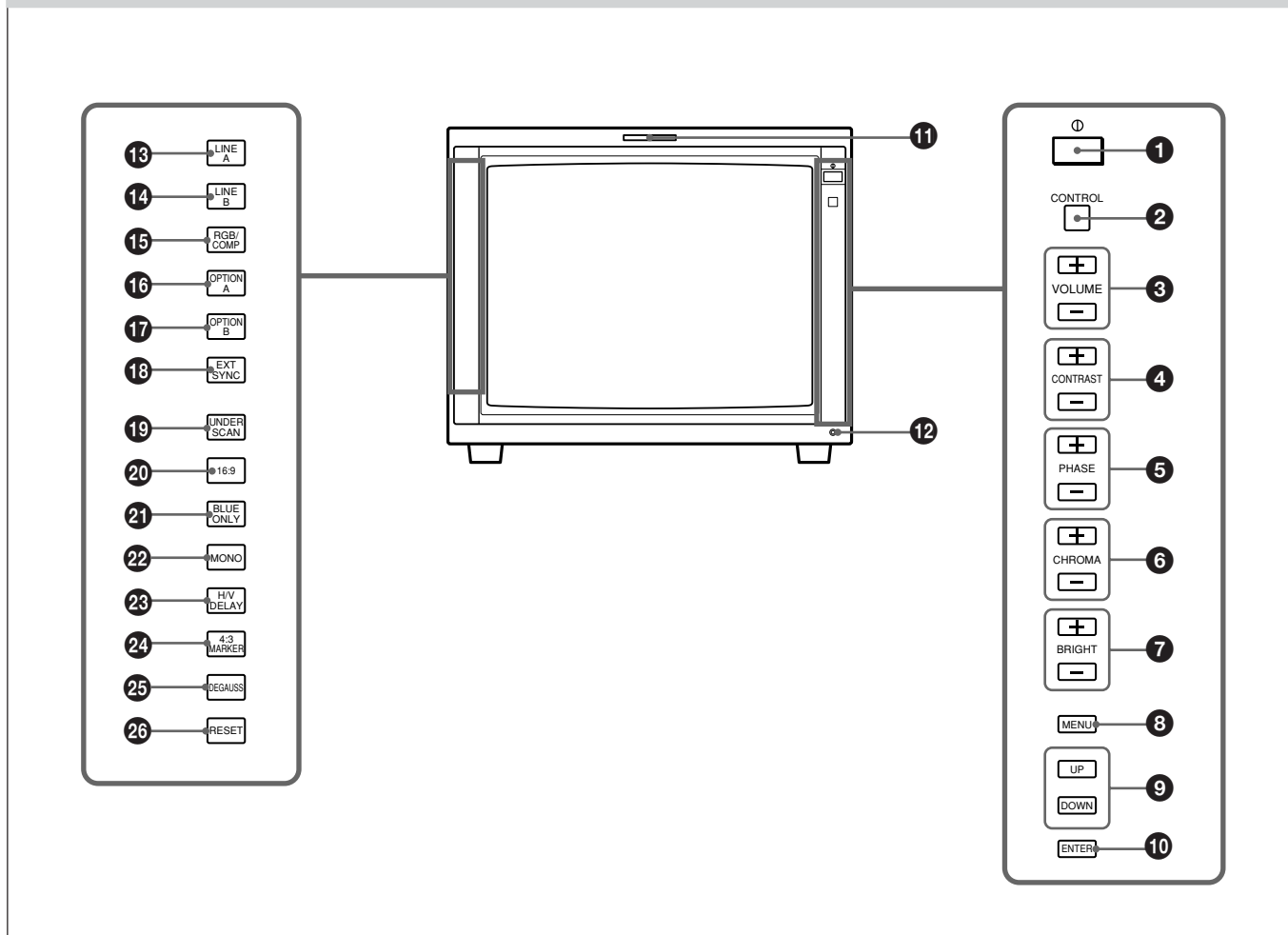


将 BNC 插头插入后面板上的连接器，插芯与槽口应对准，然后顺时针旋转 BNC 插头将其锁定。



# 各部件及控制器的位置和功能

## 控制面板



### ❶ POWER (电源) 开关 (Ⓛ)

按该开关打开电源。本机两侧的操作按钮打开。再按该开关关闭电源。

### ❷ CONTROL (控制) 按钮

按该按钮打开并启动操作按钮。再按该按钮关闭并停用操作按钮。

您可以用 UP 或 DOWN 按钮调整操作按钮的亮度。

### ❸ VOLUME (音量) 控制按钮

按 + 按钮增大音量, 按 - 按钮减小音量。

### ❹ CONTRAST (对比度) 控制按钮

按 + 按钮增大对比度, 按 - 按钮减小对比度。

### ❺ PHASE (相位) 控制按钮

按 + 按钮使皮肤色调偏绿, 按 - 按钮使皮肤色调偏紫。

### ❻ CHROMA (色度) 控制按钮

按 + 按钮增大色彩浓度, 按 - 按钮减小色彩浓度。

### ❼ BRIGHT (亮度) 控制按钮

按 + 按钮增大亮度, 按 - 按钮减小亮度。

#### 注意

- PHASE (❺) 和 CHROMA (❻) 控制按钮对 RGB 信号的图像不起作用。
- PHASE (❺) 控制按钮对 PAL 信号和分量信号的图像不起作用。

### ❽ MENU (项目单) 按钮

按该按钮显示或退出主项目单。

## 9 UP (向上) 按钮

### DOWN (向下) 按钮

用这些按钮在项目单中选择项目或调整值。在项目单没有显示的情况下，您可以用这些按钮调整控制面板的亮度，亮度共有 5 级调整值。

## 10 ENTER (输入) 按钮

按该按钮确认项目单中的已选项目。

## 11 演播指示灯

当选择了与本监视器相连的摄像机时该指示灯亮起，表示正在录像。

关于如何打开演播指示灯的详情，请参见第 25 页 (CS)。

## 12 POWER (电源) 指示灯

按 POWER 开关，该指示灯呈绿色亮起。

## 13 LINE A (输入 A) 选择按钮

按该按钮监视输入自 LINE A 连接器的信号。

## 14 LINE B (输入 B) 选择按钮

按该按钮监视输入自 LINE B 连接器的信号。

## 15 RGB/COMP (分量) 选择按钮

按该按钮监视输入自 RGB/COMPONENT 连接器的信号。

您可以在项目单画面中设定 RGB / COMPONENT。详情请参见第 19 页 (CS)。

## 16 OPTION A (选择 A) 按钮

在监视器后部的选择插槽中安装有选择卡时可使用该按钮。按该按钮监视来自选择卡输入 1 的图像/音频信号。

## 17 OPTION B (选择 B) 按钮

在监视器后部的选择插槽中安装有选择卡时可使用该按钮。按该按钮监视来自选择卡输入 2 的图像/音频信号。

(在使用 BKM-129X 或 BKM-155DV 时，该按钮无效。)

## 18 EXT SYNC (外部同步) 按钮

按该按钮使监视器基于来自 EXT SYNC IN 连接器的外部同步信号进行工作。

## 19 UNDER SCAN (欠扫描) 按钮

按该按钮 (指示灯亮) 进行欠扫描。显示尺寸缩小约 5%，使光栅的四角均可看到。

## 20 16:9 按钮

按该按钮监视 16:9 图像信号。

### 注意

在输入的信号不是 4:3 格式时，纵横比将定为 16:9。

## 21 BLUE ONLY (全蓝) 按钮

按该按钮消除红色和绿色信号。仅蓝色信号作为表现单色图像显示在屏幕上。这有助于“色度”和“相位”调整和对录像机噪音的监视。

## 22 MONO (单色) 按钮

按该按钮显示单色图像。  
再按该按钮，监视器自动切换至彩色模式。

## 23 H/V DELAY (水平/垂直延迟) 按钮

按该按钮同时监视水平和垂直同步信号。  
水平同步信号显示于屏幕的左侧；垂直同步信号显示于屏幕中央附近。

## 24 4:3 MARKER 标记按钮

按该按钮后，显示 4:3 标记，可检查 4:3 纵横比的区域。

### 注意

当监视到 4:3 纵横比的信号或监视器处于 H/V 延迟模式时，4:3 标记不显示。

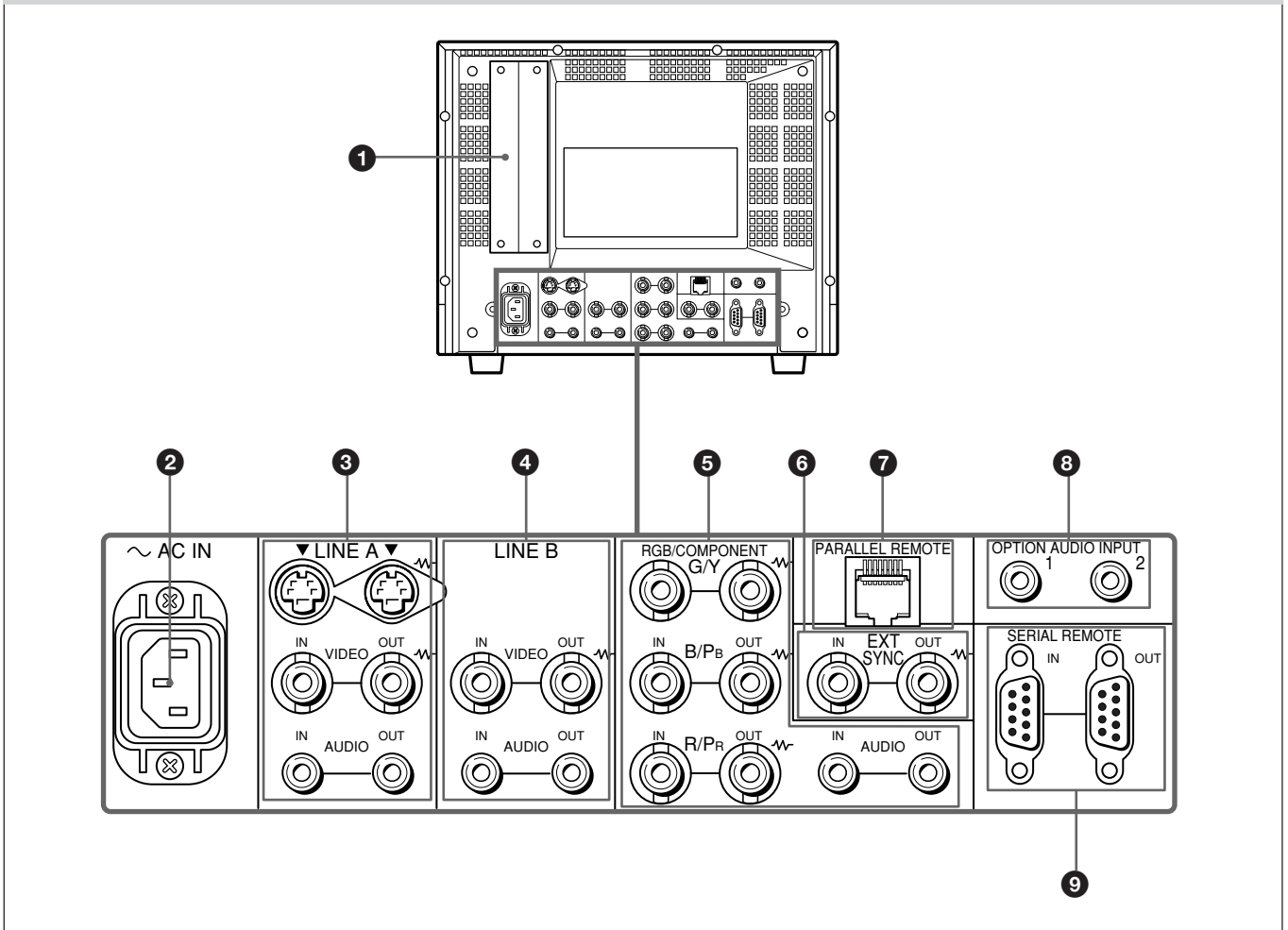
## 25 DEGAUSS (去磁) 按钮

快速按该按钮。屏幕即被去磁。在再次使用该按钮之前，必须等 10 分钟以上。

## 26 RESET (复原) 按钮

在变更项目单设定时按该按钮可使项目单复原至原先的设定。在改变 VOLUME、PHASE、CHROMA 或 BRIGHT 时按该按钮可使相应的设定复原至预先设定。

## 后面板



### ❶ 选择插槽

您可以将选择卡插入选择插槽。要使用该插槽，拧下插槽盖板上的螺丝，将盖板卸下。

仅可安装一张选择卡。关于安装选择卡的详情，请参见选择卡的使用说明书。

### ❷ AC IN (交流电源输入) 插座

在此插座和墙上插座之间连接附带的交流电源线。

### ❸ LINE A (线路 A) 连接器

用于录像机的 Y/C 分离输入/输出端、复合视频和音频信号及其环通输出连接器的线路输入连接器。

要监视通过这些连接器输入的信号时，按前面板上的 LINE A 选择按钮。如果您同时连接 Y/C 输入端和视频输入端，则先选择 Y/C 输入端。

#### Y/C IN (Y/C 输出-4 芯微型 DIN)

连接摄像机、录像机及其它视频装置的 Y/C 分离输出端。

#### Y/C OUT (Y/C 输出-4 芯微型 DIN)

Y/C IN 连接器的环通输出端。

连接录像机或另一台监视器的 Y/C 分离输入端。

此连接器上接有电缆时，输入端的 75  $\Omega$  终端负载自动解除，输入至 Y/C IN 连接器的信号由此连接器输出。

#### VIDEO IN ( 视频输入—BNC 型 )

连接录像机或彩色摄像机等视频装置的视频输出端。

进行环通连接时，连接另一台监视器的视频输出端。

#### VIDEO OUT ( 视频输出—BNC 型 )

VIDEO IN 连接器的环通输出端。

连接录像机或另一台监视器的视频输入端。

此连接器上接有电缆时，输入端的  $75\Omega$  终端负载自动解除，输入至 VIDEO IN 连接器的信号由此连接器输出。

#### AUDIO IN ( 音频输入—音频插孔 )

连接录像机的音频输出端或通过适当的麦克风放大器连接麦克风。进行环通连接时，则连接至另一台监视器的音频输出端。

#### AUDIO OUT ( 音频输出—音频插孔 )

AUDIO IN 连接器的环通输出端。连接录像机或另一台监视器的音频输入端。

### 4 LINE B ( 线路 B ) 连接器

用于复合视频和音频信号及其环通输出连接器的线路输入连接器。

要监视通过这些连接器输入的信号时，按前面板上的 LINE B 选择按钮。

#### VIDEO IN ( 视频输入—BNC 型 )

连接录像机或彩色摄像机等视频装置的视频输出端。

进行环通连接时，连接另一台监视器的视频输出端。

#### VIDEO OUT ( 视频输出—BNC 型 )

VIDEO IN 连接器的环通输出端。

连接录像机或另一台监视器的视频输入端。

此连接器上接有电缆时，输入端的  $75\Omega$  终端负载自动解除，输入至 VIDEO IN 连接器的信号由此连接器输出。

#### AUDIO IN ( 音频输入—音频插孔 )

连接录像机的音频输出端或通过合适的麦克风放大器连接麦克风。进行环通连接时，则连接至另一台监视器的音频输出端。

#### AUDIO OUT ( 音频输出—音频插孔 )

AUDIO IN 连接器的环通输出端。连接录像机或另一台监视器的音频输入端。

### 5 RGB/COMPONENT ( 分量 ) 连接器

RGB 信号或分量 (G/Y、B/P<sub>B</sub>、R/P<sub>R</sub>) 信号的输入/输出连接器及其环通输出连接器。

要监视通过这些连接器输入的信号时，按前面板上的 RGB/COMP 选择按钮。

#### G/Y、B/P<sub>B</sub>、R/P<sub>R</sub> IN ( G/Y、B/P<sub>B</sub>、R/P<sub>R</sub> 输入—BNC 型 )

在没有按前面板上的 EXT SYNC 按钮时 (指示灯呈绿色亮起)，监视器将基于 G/Y 信号中的同步信号进行工作。

##### 要监视 RGB 信号时

连接摄像机等模拟 RGB 信号输出端。

##### 要监视分量信号时

连接 SONY 牌 Betacam 摄像机等分量信号输出端。

#### G/Y、B/P<sub>B</sub>、R/P<sub>R</sub> OUT ( G/Y、B/P<sub>B</sub>、R/P<sub>R</sub> 输出—BNC 型 )

G/Y、B/P<sub>B</sub>、R/P<sub>R</sub> IN 连接器的环通输出端。

这些连接器上接有电缆时，输入端的  $75\Omega$  终端负载自动解除，输入至 G/Y、B/P<sub>B</sub>、R/P<sub>R</sub> IN 连接器的信号由这些连接器输出。

##### 要输出 RGB 信号时

连接视频打印机或另一台监视器的模拟 RGB 信号输入端。

##### 要输出分量信号时

连接 Betacam 录像机等分量信号输入端。

## 各部件及控制器的位置和功能

### AUDIO IN (音频输入—音频插孔)

输入模拟 RGB 或分量信号时，连接视频装置的音频输出。

### AUDIO OUT (音频输出—音频插孔)

AUDIO IN 连接器的环通输出端。

## ⑥ EXT SYNC (外部同步) 连接器

按前面板上的 EXT SYNC 按钮 (指示灯呈淡棕色亮起)，以使用从此连接器输入的同步信号。

### IN (输入—BNC 型)

本监视器工作于外部同步信号时，用此连接器连接来自同步信号发生器的参考信号。

### OUT (输出—BNC 型)

IN 连接器的环通输出端。连接要与本监视器同步的视频装置的外部同步输入端。

此连接器上接有电缆时，输入端的 75Ω 终端负载自动解除，输入至 IN 连接器的信号由此连接器输出。

## ⑦ PARALLEL REMOTE (并行遥控) 端子 (组合式连接器)

构成并行开关，以便从外部控制监视器。

关于插芯分配及出厂设定的各插芯配置功能的详情，请参见第 25 页 (CS)。

## ⑧ OPTION AUDIO INPUT 1、2 (选择卡音频输入 1、2) 输入连接器

如果在选择插槽中安装有选择卡，则音频将输入这些连接器。连接至录像机的音频输出端或麦克风放大器。您最多可以连接 2 套系统。要监视从 OPTION AUDIO INPUT 1/2 输入的音频信号，按 OPTION A 或 OPTION B 按钮。

### 注意

如果使用带音频能力的选择卡 (如 BKM-150CP)，则忽视输入至此连接器的音频信号。

## ⑨ SERIAL REMOTE (串行遥控) 连接器 (D-sub 9 芯)

### SERIAL REMOTE IN (串行遥控输入)

将此连接器连接至 BVM 系列机型的串行遥控连接器。

您可以从 BVM 控制除本机控制面板内项目单以外的功能。

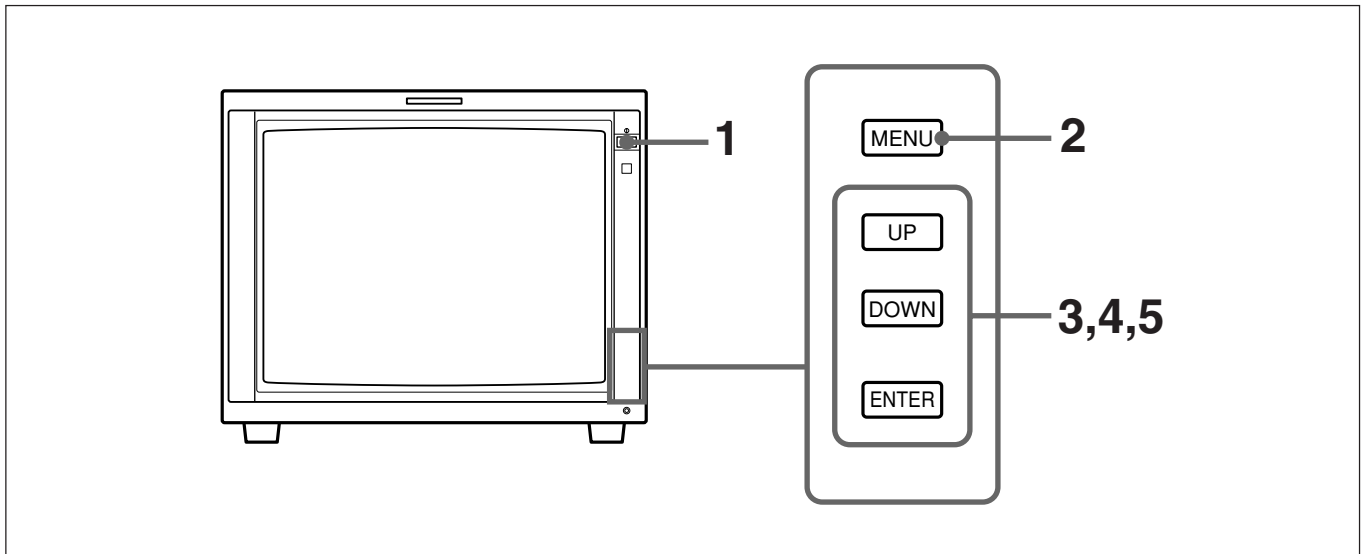
### SERIAL REMOTE OUT (串行遥控输出)

SERIAL REMOTE IN 连接器的环通输出端。

# 选择项目单语言

您可以选择六种语言（英语、德语、法语、意大利语、西班牙语、日语）之一来显示项目单和其他在屏显示内容。

出厂设定是 ENGLISH（英语）。

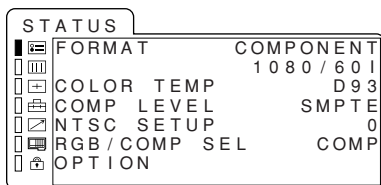


**1** 按 POWER 开关打开监视器。

**2** 按 MENU 按钮。

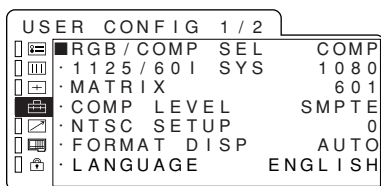
项目单出现。

当前选中的项目单显示为黄色按钮。



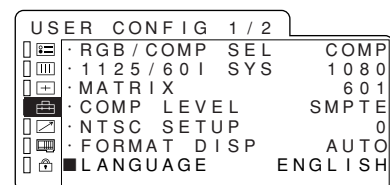
**3** 按 UP 或 DOWN 按钮选择 USER CONFIG 1/2（用户设定 1/2）项目单，然后按 ENTER 按钮。

所选项目单中的设定项目（图标）呈黄色显示。



**4** 按 UP 或 DOWN 按钮选择“LANGUAGE”（语言），然后按 ENTER 按钮。

所选的项目呈黄色显示。



**5** 按 UP 或 DOWN 按钮选择一种语言，然后按 ENTER 按钮。

项目单变换为所选的语言。

## 取消项目单

按 MENU 按钮。

如果在一分钟时间内没有按按钮，则项目单自动消失。



# 使用项目单

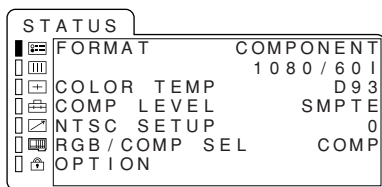
本监视器配备屏幕显示项目单，以便进行多种调节和设定，如图像控制、输入设定、预定设置更改等。您也可以更改屏幕显示项目单中显示的语言。

要更改项目单语言，请参见第 13 页 (CS) “选择项目单语言”。

## 1 按 MENU 按钮。

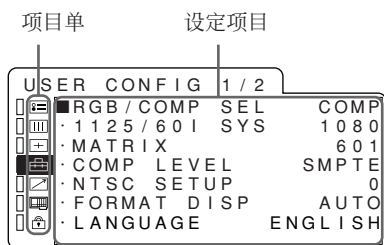
项目单出现。

当前选中的项目单显示为黄色按钮。



## 2 按 UP 或 DOWN 按钮选择项目单，然后按 ENTER 按钮。

当前选中的项目单图标呈黄色显示，设定项目显示出来。



## 3 选择项目。

按 UP 或 DOWN 按钮选择项目，然后按 ENTER 按钮。

要更改的项目呈黄色显示。

### 注意

如果项目单包含多页，按 UP 或 DOWN 按钮可进入所要的项目单页面。

## 4 对项目进行设定或调整。

更改调整等级时：

要增大数字，按 UP 按钮。

要减小数字，按 DOWN 按钮。

按 ENTER 按钮确认数字，然后恢复原始屏幕。

更改设定时：

按 UP 或 DOWN 按钮更改设定。

按 ENTER 按钮确认设定。

### 注意

- 呈蓝色显示的项目不能进入。您可以进入呈白色显示的项目。
- 如果启动了密码保护，所有项目均呈蓝色显示。要更改任何一个项目，请首先将密码保护设定为 OFF。

关于密码保护的详情，请参见第 22 页 (CS)。

## 取消项目单

按 MENU 按钮。

如果在一分钟时间内没有按按钮，则项目单自动消失。

## 关于设定存储

设定被自动存储于监视器的存储器中。

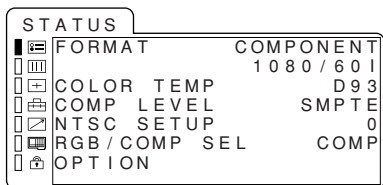
## 要复原已调整的项目

在调整控制面板上的 VOLUME、CONTRAST、PHASE、CHROMA 或 BRIGHT 按钮时按 RESET 按钮，可使调整值恢复为标准值。在调整任何一个项目单项目时，按 RESET 按钮可使该项目恢复为先前的设定。



# 显示清单

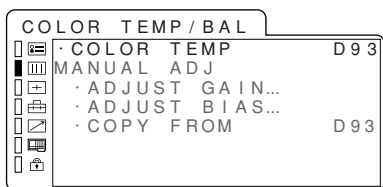
## STATUS ( 状态 ) 项目单



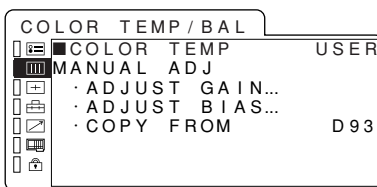
## COLOR TEMP/BAL ( 色温/白平衡 ) 项目单

选择 D65 或 D93 时。

( 图示为选择 D93。 )

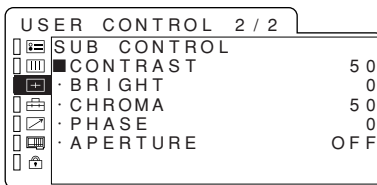
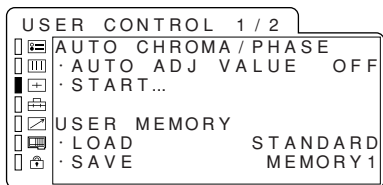


选择 USER ( 用户 ) 时。



## USER CONTROL 1/2、2/2 ( 用户控制 1/2、2/2 ) 项目单

(NTSC)



## USER CONFIG 1/2、2/2 ( 用户设定 1/2、2/2 ) 项目单

(USER CONFIG 1/2 项目单)

USER CONFIG 1/2		
	· RGB/COMP SEL	COMP
	· 1125/601 SYS	1080
	· MATRIX	601
	· COMP LEVEL	SMPTE
	· NTSC SETUP	0
	· FORMAT DISP	AUTO
	· LANGUAGE	ENGLISH

(USER CONFIG 2/2 项目单)

USER CONFIG 2/2		
	· CAPTION	OFF
	· DEGAUSS DELAY	0
	· MARKER PHASE	0
	· MARKER WIDTH	0

## REMOTE 1/2 PARALLEL ( 遥控 1/2 并行 ) 项目单、2/2 SERIAL ( 2/2 串行 ) 项目单

(REMOTE 1/2 PARALLEL 项目单)

REMOTE 1/2 PARALLEL		
	· 1PIN	LINE A
	· 2PIN	LINE B
	· 3PIN	TALLY R
	· 4PIN	TALLY G
	· 6PIN	EXT SYNC
	· 7PIN	UNDERSCAN
	· 8PIN	16:9

(REMOTE 2/2 SERIAL 项目单)

REMOTE 2/2 SERIAL		
	· SINGLE ADDRESS	0
	· GROUP ADDRESS	0
	· CH(1-4) CONFIG	CH1
	· INPUT	LINE A
	· ASPECT	4:3
	· SCAN SIZE	NORMAL

## OPTION CONFIG ( 选择卡设定 ) 项目单

关于 OPTION CONFIG 项目单画面的详情，请参见第 21 页 (CS)。

## KEY PROTECT ( 密码保护 ) 项目单

KEY PROTECT		
	· KEY PROTECT	OFF

## STATUS 项目单

STATUS 项目单用于显示监视器的当前状态。  
下列为显示项目：

- 信号格式
- 色温
- 分量电平
- NTSC 设定
- RGB/COMP (分量) 选择
- 选择

## COLOR TEMP/BAL 项目单

COLOR TEMP/BAL 项目单用于调整图像  
的白平衡。

您需要利用测量仪表来调整白平衡。

---

### COLOR TEMP (色温)

从 D65、D93 和 USER (用户) 设定中选择色温。

---

### MANUAL ADJ (手动调整)

如果将 [COLOR TEMP] 设置为 USER 设定，  
则所显示的项目将从蓝色变为白色，也就是说您可以调整色温。

---

### ADJUST GAIN... (调整增益)

调整彩色平衡 (GAIN)。

选择 [ADJUST GAIN...]。[ADJUST GAIN...] 画面出现。按 UP 或 DOWN 按钮来调整增益。

---

### ADJUST BIAS... (调整偏置)

调整彩色平衡 (BIAS)。

选择 [ADJUST BIAS...]。[ADJUST BIAS...] 画面出现。按 UP 或 DOWN 按钮来调整偏置。

---

### COPY FROM (复制)

如果按 UP 或 DOWN 按钮选择 D65 或 D93，  
则所选的色温白平衡数据将复制到用户设定中。

# USER CONTROL 1/2、2/2 项目单

USER CONTROL 1/2、2/2 项目单用于调整图像。

因输入信号而无法进行调整的项目将呈蓝色显示。

---

## AUTO CHROMA/PHASE (自动色度/相位)

调节色彩浓度 (CHROMA) 和色调 (PHASE)。

---

## AUTO ADJ VALUE (自动调整值)

选择自动调整 ON 或 OFF。当设定为 OFF 时，该参数复原为出厂设定。当设定为 ON 时，启用自动调整值。

---

## START... (开始)

屏幕中显示彩条信号 (Full/SMPTE/EIA/HD)，然后按 ENTER。AUTO ADJUSTMENT (自动调整) 画面出现。调整结束后，按 MENU 按钮退出 AUTO ADJUSTMENT 画面。调整正确完成后，AUTO ADJ VALUE 自动启用。

### 注意

若已选择全彩条，则输入八个彩条。

---

## USER MEMORY (用户存储)

### SAVE (保存)

将控制面板当前的 VOLUME、CONTRAST、PHASE、CHROMA 或 BRIGHT 设定保存下来。您可以选择在 MEMORY1 或 MEMORY 2 区域保存数据。

### LOAD (载入)

从上述存储器保存的设定中载入控制面板的 VOLUME、CONTRAST、PHASE、CHROMA 或 BRIGHT 设定。如果您选择标准，则设定复原为标准值。

---

## SUB CONTROL (副控制)

您可以对前面板右侧按钮的调整范围进行精确调整，包括 CONTRAST、PHASE、CHROMA 和 BRIGHT 按钮。

### CONTRAST (对比度)

调整图像的对比度。调整范围在 0 至 100 之间。

### BRIGHT (亮度)

调整图像的亮度。调整范围在 -50 至 +50 之间。

### CHROMA (色度)

调整色彩浓度。设定值越大，浓度越大。  
设定值越低，浓度越低。调整范围在 0 至 100 之间。

### PHASE (相位)

调整色调。设定值越大，皮肤色调越偏绿。  
设定值越低，图像越偏紫。调整范围在 -50 至 +50 之间。

### APERTURE (光圈)

调整图像的鲜明度。设定值越大，图像越鲜明。调整范围在 OFF 至 100 之间。

# USER CONFIG 1/2、2/2 项目单

您可以选择语言、RGB 和分量。  
括号 [ ] 内的设定为出厂设定。

---

## RGB/COMP SEL ( RGB/分量选择 )

要监视从 RGB/COMPONENT 连接器输入的信号，则将该项目单中设定 RGB 或 COMP (分量) 信号。按 UP 或 DOWN 按钮选择 RGB 或 COMP 信号。

[COMP]

---

## 1125/60I SYS ( 1125/60I 系统 )

为 1125/60I 信号输入选择有效的扫描行。选择 1080 或 1035 扫描行。如果输入 HD SDI，则系统自动选择扫描行类型。

[1080]

---

## MATRIX ( 矩阵 )

应用于普通图像信号、15K 或 31K 分量信号。  
按 UP 或 DOWN 按钮选择 709 或 601。

[601]

---

## COMP LEVEL ( 分量电平 )

从三种模式中选择分量电平。

N10/SMPTE	用于100/0/100/0 信号
BETA 7.5	用于100/7.5/75/7.5 信号
BETA 0	用于100/0/75/0 信号

[SMPTE]

---

## NTSC SETUP ( NTSC 设定 )

从两种模式中选择 NTSC 设定电平。

7.5 设定电平主要用于北美。0 设定电平主要用于日本。

[0]

---

## FORMAT DISP ( 格式显示 )

从 ON、OFF 和 AUTO 中选择信号格式的显示模式。

[AUTO]

---

## LANGUAGE ( 语言 )

您可以从六种语言 (日语、英语、德语、法语、意大利语、西班牙语) 中选择项目单或信息语言。

按 UP 或 DOWN 按钮选择一种语言，然后按 ENTER 按钮。所选的语言将显示。

[ENGLISH]

---

## CAPTION ( 字幕 )

从下列项目中选择字幕显示模式：

OFF、CAPTION 1、CAPTION 2、TEXT 1 和 TEXT 2。

[OFF]

---

## DEGAUSS DELAY ( 去磁延迟 )

设定接通电源后自动去磁开始工作的延迟时间。延迟时间设定范围在 0 至 99 秒之间。

---

## LANDING ( 降落 )

该项目单仅为 PVM-D20L5J 提供。

如果在按下 DEGAUSS 按钮后色彩仍不均匀，您可以调整降落，在该屏幕中获得均匀色彩。

[50]

下列两种方法可用于降落调整。

### 水平行信号输入显示时：

按 UP 或 DOWN 按钮使屏幕上所显示的行线尽可能水平。其调整范围在 0 至 100 之间。

### 白色信号输入显示时：

按 UP 或 DOWN 按钮使屏幕上的白色尽可能均匀。其调整范围在 0 至 100 之间。

---

## MARKER PHASE ( 标记相位 )

您可以在 -10 至 +10 的范围内调整 4:3 标记的位置。

[0]

(续)

### MARKER WIDTH ( 标记宽度 )

您可以在 -10 至 +10 的范围内调整 4:3 标记的宽度。

[0]

## REMOTE 1/2 PARALLEL 项目单

选择需要改变功能的 PARALLEL REMOTE 连接器插芯。

您可以向 1 至 4 插芯和 6 至 8 插芯分配多种功能。下面列出可向插芯分配的功能。

- -- ( “--” : 没有分配功能。 )
- LINE A ( 线路 A )
- LINE B ( 线路 B )
- RGB/COMP ( RGB/分量 )
- OPTION A ( 选择 A )
- OPTION B ( 选择 B )
- TALLY RED ( 红色演播指示灯 )
- TALLY GREEN ( 绿色演播指示灯 )
- UNDERSCAN ( 欠扫描 )
- 16:9
- EXT SYNC ( 外部同步 )
- H/V DELAY ( H/V 延迟 )
- BLUE ONLY ( 全蓝 )
- MONO ( 单色 )
- 4:3 MARKER ( 4:3 标记 )
- DEGAUSS ( 去磁 )

#### 注意

若使用 PARALLEL REMOTE 功能，则需要连接电缆。有关详情，请参阅第 25 页 (CS)。

当您通过 BVM 系列机型使用串行遥控方式来控制本机时，请根据需要在该项目单中设置本机的单地址和组地址，或频道号码。

### SINGLE ADDRESS ( 单地址 )

以下列出通过来自 BVM 系列机型的串行遥控命令能够执行的功能：

- CONTRAST 调节
- BRIGHT 调节
- CHROMA 调节
- PHASE 调节
- 数字键区 1 键
- 数字键区 2 键
- 数字键区 3 键
- 数字键区 4 键
- 欠扫描键
- 水平延迟键\*
- 垂直延迟键\*
- 单色键
- 光圈键
- 16:9 键
- SYNC 键
- 全蓝键
- 安全区键
- 去磁键

\* 本机的系统在 H/V DELAY 模式下工作。

### GROUP ADDRESS ( 组地址 )

设置监视器的组地址号码。设置范围为 0 至 99。

### CH (1-4) CONFIG [ 频道 ( 1-4 ) 设定 ]

设置 BVM 系列机型的直接键所配置的频道号码 (1 至 4)。

从 CH1、CH2、CH3 和 CH4 中进行选择。  
可以设定用于 INPUT、ASPECT 和 SCAN SIZE 的频道。

## INPUT (输入)

将输入系统设置为所选的频道。

从 LINE A、LINE B、RGB/COMP、OPTION A 和 OPTION B 中进行选择。

## ASPECT (纵横比)

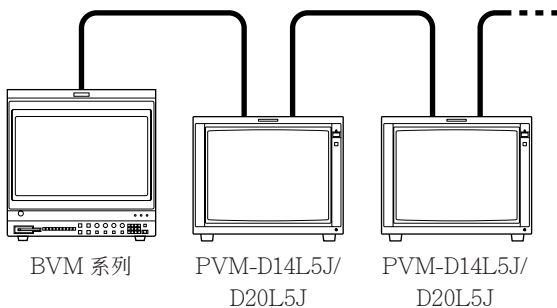
设置画面的纵横比。

选择 16:9 或 4:3。

## SCAN SIZE (扫描尺寸)

通过扫描输入信号设置显示的画面尺寸。

选择 UNDER (欠扫描) 或 NORMAL (正常扫描)。



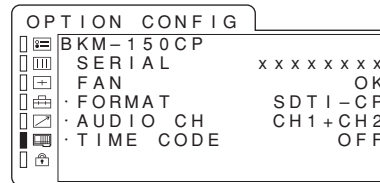
系列遥控器配置示例

### 注

若在系列模式下连续多次进行单台控制，则遥控状态可能会失效。遇此情况时，请执行相同的控制命令数次，直至遥控状态恢复。

设置安装于本机后部的选择卡。显示画面依所安装的选择卡而异。如果没有安装选择卡，则不显示设置项目。输入信号分配完毕后，调整监视器的 AUTO CHROMA/PHASE。

## 安装选择卡 BKM-150CP 时:



## FORMAT (格式)

设置信号类型。

选择 SDTI-CP 或 SDI。

## AUDIO (音频)

选择音频声道。

D1-SDI:

在 CH1+CH2 至 CH15+CH16，或 CH1 至 CH16 中进行选择。

SDTI-CP:

在 CH1+CH2 至 CH7+CH8，或 CH1 至 CH8 中进行选择。

输入到 OPTION AUDIO INPUT 1/2 插孔的音频信号将被忽略。

## TIME CODE (时间代码)

选择时间代码显示

D1-SDI:

选择 VITC、RP188 或 OFF。

SDTI-CP:

选择 VITC、CP-TC1、CP-TC2、ES-TC1、ES-TC2 或 OFF。

下面列出项目单中的缩写及其全称:

CP-TC1: SMPTE 331M 系统项目 USER DATE/TIME STAMP (用户日期/时间标记)

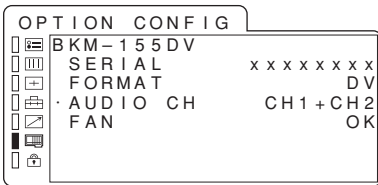
CP-TC2: SMPTE 331M 系统项目 CREATION DATE/TIME STAMP (创建日期/时间标记)

(续)

## OPTION CONFIG 项目单

ES-TC1: SMPTE 328M MPEG ES 编辑信息  
TIME CODE1 (时间代码 1)  
ES-TC2: SMPTE 328M MPEG ES 编辑信息  
TIME CODE2 (时间代码 2)  
PR188: SMPTE RP188 时间代码  
VITC: SMPTE 12M VITC, SMPTE 266M D-  
VITC

### 安装选择卡 BKM-155DV 时:

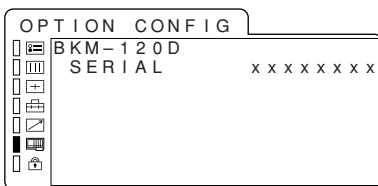


### AUDIO (音频)

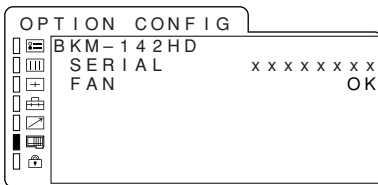
选择音频声道。

在 CH1+CH2, CH3+CH4, CH1/3, CH2/4,  
CH1/3+CH2/4, 或 CH1 至 CH4 中进行选择。  
输入到 OPTION AUDIO INPUT 1/2 插孔的音  
频信号将被忽略。

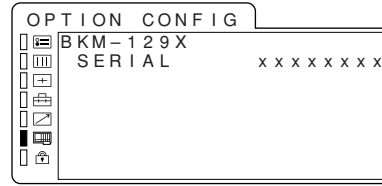
### 安装选择卡 BKM-120D 时:



### 安装选择卡 BKM-142HD 时:



### 安装选择卡 BKM-129X 时:



如果 BKM-142HD, BKM-150CP 或 BKM-155DV 装置的冷却风扇停机, 则屏幕以红色显示下列信息 “BKM-xxxxx FAN ERROR” (BKM-xxxxx 风扇故障)。此时, 您不能选择 Option A 或 Option B。

## KEY PROTECT 项目单

您可以锁定设置, 使未授权用户不能进行更改。

选择 OFF 或 ON。

如果设定为 ON, 则所有项目呈蓝色显示, 表示项目已锁定。

## 故障排除

本小节帮助您识别问题的起因及结果, 以免除联系技术支持人员的麻烦。

- 显示器呈绿色或紫色 → 按与输入相关的按钮之一, 以选择正确的输入。
- 本机不能操作 → 密码保护功能启动。在 KEY PROTECT 项目单中将 KEY PROTECT 设置为 OFF。
- 已安装 BKM-142HD, BKM-150CP, BKM-155DV。显示故障信息 “BKM-xxxxx FAN ERROR” (BKM-xxxxx 风扇故障), 并且您无法选择 Option A 或 Option B。→ 修理 BKM-xxxxx。



# 规格

## 一般

### 系统

系统	每帧总行数	每帧有效行数	帧频 (Hz)	扫描格式	纵横比	标准
575/50I (PAL)	625	575	25	2:1 隔行扫描	16:9/4:3	ITU 601
480/60I (NTSC)	525	483	30	2:1 隔行扫描	16:9/4:3	ITU 601
576/50P	625	576	50	逐行扫描	16:9/4:3	—
480/60P	525	483	60	逐行扫描	16:9/4:3	SMPTE 293M
1080/50I	1125	1080	25	2:1 隔行扫描	16:9	SMPTE 294M
1035/60I	1125	1035	30	2:1 隔行扫描	16:9	BTA S-001B
1080/60I	1125	1080	30	2:1 隔行扫描	16:9	SMPTE 274M/BTA S-001B
720/60P	750	720	60	逐行扫描	16:9	SMPTE 296M

### PVM-D14L5J

CRT: HR Trinitron, EBU 标准荧光材料

电源: 交流电源 100 至 240 V, 50/60 Hz

功耗: 最大 120 W, 1.2 至 0.6 A (安装选择卡 BKM-150CP 时)  
标准: 110 W, 1.1 至 0.5 A (未安装选择板, 720/60P 输入)

尺寸 (最大): 约 346 × 280 × 424 mm (宽/高/深)

重量: 约 17 kg

### PVM-D20L5J

CRT: HR Trinitron, EBU 标准荧光材料

电源: 交流电源 100 至 240 V, 50/60 Hz

功耗: 最大 140 W, 1.4 至 0.7 A (安装选择卡 BKM-150CP 时)  
标准: 130 W, 1.3 至 0.6 A (未安装选择板, 720/60P 输入)

尺寸 (最大): 约 452 × 414 × 500 mm (宽/高/深)

重量: 约 31 kg

## 输入/输出连接器

### 输入

#### LINE A 输入连接器

Y/C 输入 4 芯微型 DIN (1)  
参见插芯配置

#### VIDEO 输入

BNC 型 (1) 1 V<sub>p-p</sub> ± 6 dB  
同步负极

#### AUDIO 输入

插芯插孔 (1) -5 dBu 47 kΩ 以上

#### LINE B 输入连接器

#### VIDEO 输入

BNC 型 (1) 1 V<sub>p-p</sub> ± 6dB  
同步负极

#### AUDIO 输入

插芯插孔 (1) -5 dBu 47 kΩ 以上

#### RGB/分量输入连接器

BNC 型 (3)

RGB 输入 0.7V<sub>p-p</sub> ± 6dB (绿色同步, 0.3 V<sub>p-p</sub> 负同步)

分量输入 0.7 V<sub>p-p</sub> ± 6dB (75% 色度的标准彩条信号)

#### AUDIO 输入

插芯插孔 (1) -5 dBu 47 kΩ 以上

# 规格

外部同步输入	BNC 型 (1) 0.3–8V <sub>p-p</sub> ±三元双极性或二元负极	<b>视频信号</b>	
选择 AUDIO 输入	插芯插孔 (2) -5dBu 47 k $\Omega$ 以上	频率响应	575/50I、480/60I 分量输入 50 Hz 至 10 MHz (0 dB/-3 dB) 非上述型号或 RGB 输入 48 Hz 至 24 MHz (0dB/-3dB)
遥控输入		光圈补偿 <sup>1)</sup>	OFF: 0 dB ON: 2 dB 至 6 dB 575/50I、480/60I 输入: 5 MHz 非上述输入: 16 MHz
串行遥控	D-Sub 9 芯 (1)		
并行遥控	组合式连接器 8 芯 (1)		
输出			
LINE A 输出连接器			
Y/C 输出	4 芯微型 DIN (1) 环通, 带 75 $\Omega$ 终端负载自动解除功能	<b>图像性能</b>	
VIDEO 输出	BNC 型 (1) 环通, 带 75 $\Omega$ 终端负载自动解除功能	正常扫描	CRT 有效屏幕区域的 7 % 过扫描
AUDIO 输出	插芯插孔 (1) 环通	欠扫描	CRT 有效屏幕区域的 5 % 欠扫描
LINE B 输出连接器		线性	PVM-D14L5J H: 小于 4 % V: 小于 4 % PVM-D20L5J H: 小于 5 % V: 小于 5 %
VIDEO 输出	BNC 型 (1) 环通, 带 75 $\Omega$ 终端负载自动解除功能	色温	D65、D93/USER (可调整色温: 5000 K 至 10000 K)
AUDIO 输出	插芯插孔 (1) 环通	会聚误差	PVM-D14L5J 中心区域: 小于 0.4 mm 外围区域: 小于 0.5 mm PVM-D20L5J 中心区域: 小于 0.5 mm 外围区域: 小于 0.7 mm
RGB/分量输出连接器		光栅尺寸稳定性	水平: 1.0 % 垂直: 1.0 %
BNC 型 (3) RGB/分量环通输出, 带 75 $\Omega$ 终端负载自动解除功能			
AUDIO 输出	插芯插孔 (1) 环通		
外部同步输出	BNC 型 (1) 环通, 带 75 $\Omega$ 终端负载自动解除功能		
遥控输出			
串行遥控	D-Sub 9 芯 (1) 环通		
内置扬声器输出	0.8 W (非立体声)		

1) 对于 RGB 输入信号无法进行光圈补偿。

## 分辨率（屏幕中央）

600 电视扫描行（16:9）

800 电视扫描行（4:3）

## 工作条件

温度 0 °C 至 35 °C

(32 °F 至 95 °F)

湿度 30 % 至 85 % (无结露)

气压 700 hPa 至 1060 hPa

## 存储与运输条件

温度 -10 °C 至 40 °C

(14 °F 至 104 °F)

湿度 0 % 至 90 %

气压 700 hPa 至 1060 hPa

## 附件

交流电源线 (1)

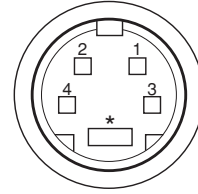
交流电插头固定夹 (1)

使用说明书 (1)

设计和规格若有变更，恕不另行通知。

## 插芯配置

Y/C IN 连接器（4 芯微型 DIN）

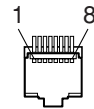


芯号	信号	说明
1	Y 输入	1 V <sub>p-p</sub> , 同步负极, 75 Ω
2	CHROMA 输入 副载波输入	286 mV <sub>p-p</sub> (NTSC) / 300mV <sub>p-p</sub> (PAL), 色同步信号 Y 和 C 之间的延迟时间: 在 0±100 ns 内, 75 Ω
3	Y 输入用 GND	GND
4	CHROMA 输入 用 GND	GND

PARALLEL REMOTE 端子

组合式连接器

(8 芯)



芯号	功能
1	设置输入信号 LINE A
2	设置输入信号 LINE B
3	设置红色演播指示灯的开或关
4	设置绿色演播指示灯的开或关
5	GND
6	选择 EXT 同步
7	选择欠扫描
8	选择纵横比 16:9

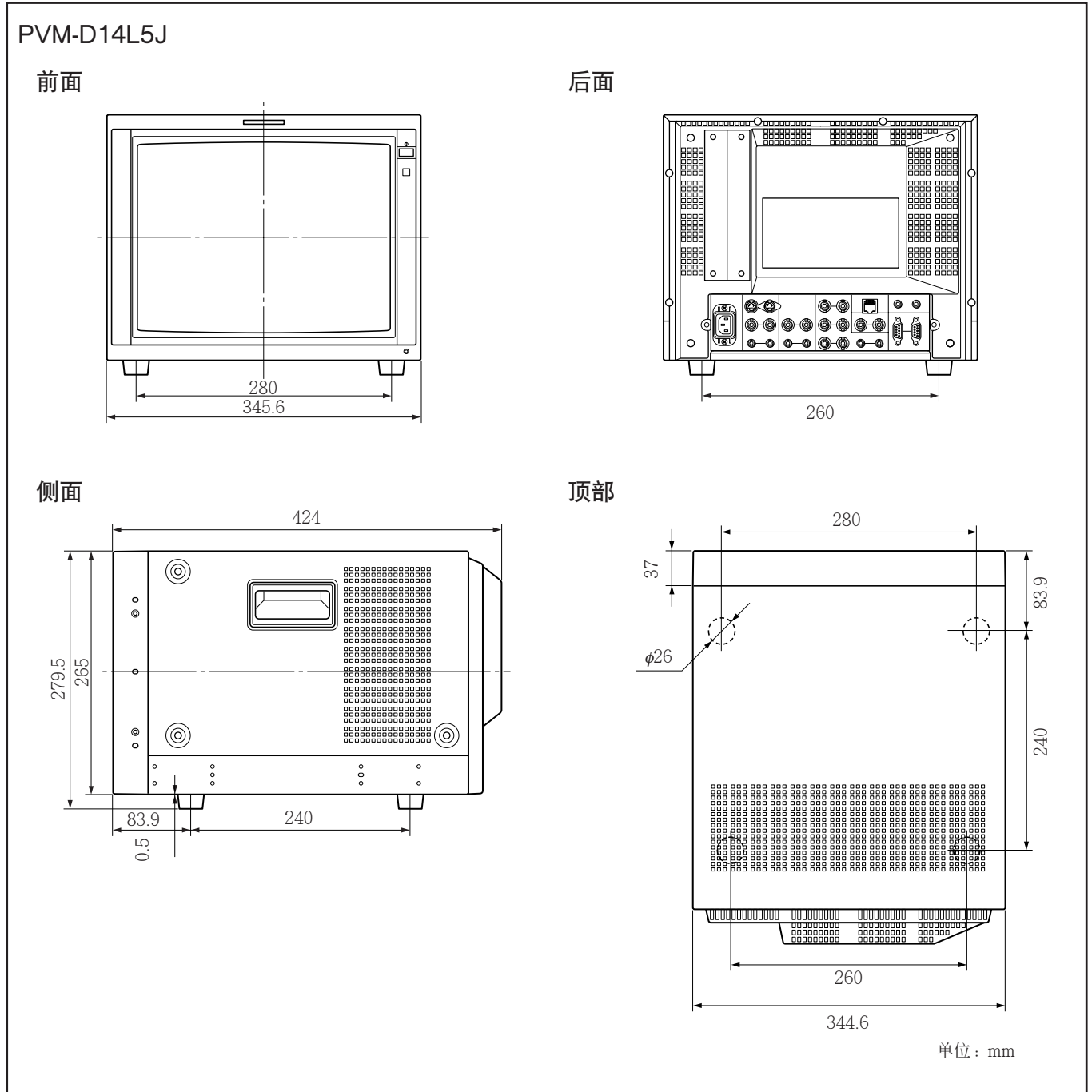
您可以在遥控项目单中将功能分配给 1 至 4 插芯或 1 至 8 插芯。

使用遥控功能需要接线

将您需要遥控使用的功能接地（插芯 5）。

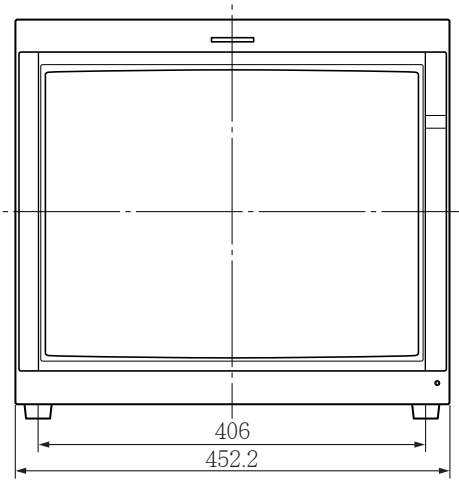
# 规格

## 尺寸

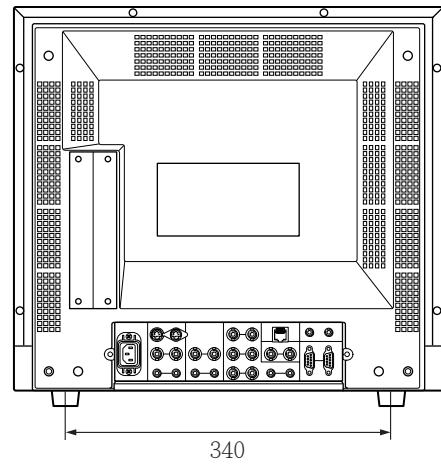


PVM-D20L5J

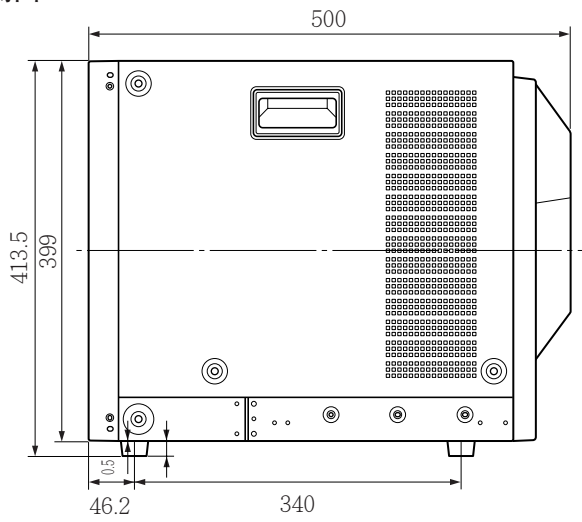
前面



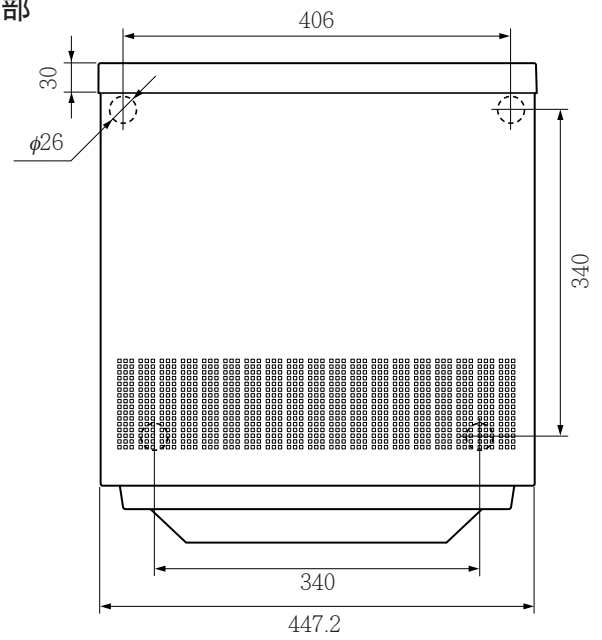
后面



侧面



顶部



单位：mm





お問い合わせは  
「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川16-7-35

<http://www.sony.net/>

この説明書は再生紙を使用しています。

Printed on recycled paper

Printed in Japan